

Canon



普通紙ホームファクス

ファクスホン CF-VL20

取扱説明書



Ni-Cd

この製品には、ニカド電池を使用しています。
電池のリサイクルにご協力ください。

CF-VL20をお買い上げいただきありがとうございました。
正しくお使いいただくために、本機をお使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後も、保証書とともに大切に保管してください。

各説明書のご紹介

セットアップシート

簡単に準備することができるシートです。最初に必ずこのシートをご覧ください、準備をしてください。

取扱説明書（本書）

電話や留守番電話、ファクス、コピー、ハンドスキャナ、ドアホンなど、本機で使用できる機能について説明しています。

別冊取扱説明書＜電話サービス編＞

次のサービスについて説明しています。

- かけてきた相手の電話番号や名前を表示することができるナンバー・ディスプレイ。
- 便利なLモードサイト（番組）やインターネットのホームページを見たり、メールの送受信ができるLモード。
- ファクス専用の電話番号や子機専用の電話番号を設定できるモデムダイヤルイン。
- ファクスをより便利に活用できるファクシミリ通信網（Fネット）。
- ファクスをEメールとして送信できるiFAX。

プリンタドライバインストールガイド

本機をプリンタとして使用するための準備方法について説明しています。プリンタドライバをインストールするときは必ずこのガイドをご覧ください。

本書 もくじ

△ 安全にお使いいただくために	6
使用上のご注意	9

1章 準備

商品の構成	1-2
各部のなまえとはたらき	1-3
親機 正面	1-3
親機 背面	1-3
親機 操作パネル部	1-4
子機 操作パネル部	1-6
子機 背面	1-7
子機充電台	1-7
メニュー項目一覧	1-8
親機	1-8
子機	1-10
親機を回線に接続する	1-11
電話回線の種類を手動で設定する	1-12
BJカートリッジを準備する	1-13
BJカートリッジをセットする	1-15
インクタンクおよびBJカートリッジの交換について	1-16
インクタンクを交換する	1-17
使用済みBJカートリッジ回収のお願い	1-18
BJカートリッジを交換する	1-19
記録用紙を準備する	1-20
記録用紙について	1-20
記録用紙カバーユニットを取り付ける	1-21
記録用紙をセットする	1-21
原稿について	1-22
子機を準備する	1-23
子機を充電する	1-23
子機を設置する	1-23
子機のバッテリーについて	1-24
子機のバッテリーを交換する	1-24
音量を調節する	1-25
親機を調節する	1-25
子機を調節する	1-26
呼出音量を調節するには	1-26
受話音量を調節するには	1-26
とりあえず受信してみよう!	1-27
文字入力について	1-28
親機で入力する	1-28
入力モードの切り替え	1-29
ひらがな入力と漢字入力をするには	1-30
カタカナ入力をするには	1-31
英字入力・数字入力をするには	1-31
記号入力をするには	1-32
区点コードで入力するには	1-33
定型文入力をするには	1-34
定型文を自分で作るには (自作定型文)	1-34
子機で入力する	1-36
入力モードの切り替え	1-37
ひらがな入力と漢字入力をするには	1-38
カタカナ入力・英字入力・数字入力をするには	1-39
記号入力をするには	1-39
日付と時刻を合わせる	1-40
親機を合わせる	1-40
子機を合わせる	1-41
待機画面を切り替える	1-42
あなたの名前と電話番号を登録する	1-43
カレンダーをプリントする	1-44

2章 電話

電話をかける	2-2
親機でかける	2-2
子機でかける	2-2
電話を受ける	2-3
親機で受ける	2-3
子機で受ける	2-3
親機にかける・子機にかける (内線通話)	2-4
親機から呼び出す	2-4
子機から呼び出す	2-4
電話をかけ直す (リダイヤル)	2-5
親機でかけ直す	2-5
子機でかけ直す	2-5
話している相手をお待たせする (保留)	2-6
親機で保留にする	2-6
子機で保留にする	2-6
キャッチホンを受ける	2-6
親機で受ける	2-6
子機で受ける	2-6
子機を持たずに話をする (スピーカホン)	2-7
電話をかける	2-7
電話を受ける	2-7
優先呼出を設定する	2-7
電話帳に登録する	2-8
親機に登録する	2-8
子機に登録する	2-11
電話帳ダイヤルで電話をかける	2-13
親機でかける	2-13
子機でかける	2-13
親機や子機に転送する (保留転送)	2-14
親機から転送する	2-14
子機から転送する	2-14
呼出音を設定する	2-15
親機を設定する	2-15
子機を設定する	2-15
子機の着信メロディを自分で作る	2-16
メロディの入力例 --- 「きらきら星」を入力して みましよう	2-18
モーニングコールを使う	2-19
モーニングコールの時刻を設定する	2-19
モーニングコールをセットする	2-19
クイック通話を設定する	2-20

3章 留守番電話

留守モードを使う	3-2
留守モードをセットする	3-2
留守モードを解除する	3-3
用件を再生する	3-4
おやすみモードを使う	3-5
おやすみモードをセットする	3-5
おやすみモードを解除する	3-5
おやすみタイマーを設定する	3-5
自作応答メッセージを録音する	3-6
外出先から操作する (外線リモート操作)	3-7
外線リモート操作でできること	3-7
子機から操作する (内線リモート操作)	3-8
留守モードをセット/解除する	3-8
用件を再生する	3-8
リモート暗証番号を登録する	3-8

本書 もくじ (つづき)

留守録転送を使う	3-9
留守録転送を設定する	3-9
転送先から用件を聞く	3-9
トールセーバーを設定する	3-10
留守録保存を設定する	3-10

4章 ファクス

ファクスを送信する	4-2
ファクスを受信する	4-4
親機で受信する	4-4
子機で受信する	4-5
ファクスの受信モードについて	4-6
TELモードを選ぶ	4-6
自動 (TEL/FAX) モードを選ぶ	4-6
メモリに記憶されている受信ファクスについて	4-7
メモリに記憶されているファクスをディスプレイで確認/プリントする	4-7
メモリに記憶されているファクスを消去する	4-8
ファクス受信同時プリントを設定する	4-9
らくらくファクス機能を設定する	4-9
ファクス情報サービスを利用する	4-10

5章 コピー

コピーをする	5-2
コピー範囲を設定する	5-4

6章 ハンドスキャナ

ハンドスキャナを使う	6-2
ハンドスキャナを取り外す	6-2
ハンドスキャナを本体に戻す	6-2
原稿を読み取る	6-3
ハンドスキャナについて	6-4
読み取った原稿をファクスで送信する	6-5
読み取った原稿をコピーする	6-6

7章 ドアホン

ドアホンを接続する	7-2
ドアホンの呼び出しに応答する	7-3
親機で応答する	7-3
子機で応答する	7-3

8章 設定

本機の基本的な動作を設定する (ライフサポート設定)	8-2
黒インク節約機能を設定する	8-3
ディスプレイコントラストを設定する	8-3
親機を設定する	8-3
子機を設定する	8-3
画面表示の明るさを設定する	8-4
待機画面の表示を設定する	8-4
さまざまなリストをプリントする	8-5
子機に使う人の名前を表示する (使用者表示)	8-7
使う人の名前を登録する	8-7
登録した名前を消去する	8-7
メモリに記憶されている内容を一括消去する (全消去)	8-8

9章 こんなときは

白紙が出るときは	9-2
画像が汚ないときは	9-3
BJカートリッジの状態を確認する	9-4
ノズルチェックパターンをプリントする	9-4
黒インクの残量を確認する	9-4
ヘッドクリーニングを行う	9-5
ヘッドリフレッシュを行う	9-5
ノズルチェックの結果、インクタンクを交換する場合	9-6
ノズルチェックの結果、BJカートリッジを交換する場合	9-6
用紙が詰まったときは	9-7
詰まった原稿を取り除くには	9-7
詰まった記録用紙を取り除くには	9-7
性能を維持するために	9-8
停電になったときは	9-9
故障かな?と思ったら	9-10
親機のトラブル	9-10
親機のディスプレイのメッセージ	9-12
子機のトラブル	9-14
子機のディスプレイのメッセージ	9-15
各部のお手入れ	9-16
親機外部と子機	9-16
充電端子	9-16
親機内部	9-16

10章 参考

主な仕様	10-2
消耗品/別売品について	10-3
区点コード表-JIS漢字 第一水準漢字	10-4
区点コード表-JIS漢字 第二水準漢字	10-7
保証とアフターサービス	10-10
保証書と保証期間	10-10
アフターサービス	10-10
外出先からのリモート操作早見表	10-13
索引	10-15
お客様ご相談窓口一覧	10-19

1章 本機をお使いになる前に確認していただきたいこと、親機や子機の準備や登録について説明しています。

準備

2章 電話をかけたり、受けるなど、電話に関する操作について説明しています。

電話

3章 本機を留守番電話としてお使いになる操作について説明しています。

留守番電話

4章 ファクスを送信したり、受信するなど、ファクスに関する操作について説明しています。

ファクス

5章 コピーの操作について説明しています。

コピー

6章 ハンドスキャナを使ったコピーやファクス送信の操作について説明しています。

ハンドスキャナ

7章 本機をドアホンと接続してお使いになる方法について説明しています。

ドアホン

8章 本機全体の設定やその他の設定について説明しています。

設定

9章 困ったときの対処方法や本機のお手入れ方法などについて説明しています。

こんなときは

10章 本機の仕様や消耗品、別売品など本機をお使いになるうえで、ご参考になることを記載しています。

参考

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への被害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。製品をお使いになる前に必ずお読みになり、内容をよく理解してから、製品をお使いになってください。

⚠危険 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの危険事項をお守りください。

⚠警告 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある内容が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

⚠注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある内容が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

📌お願い 操作上守らなければならない重要事項や禁止事項が書かれています。本機の故障を防ぐために必ずお読みください。

📖メモ 操作上参考になることや補足説明が書かれています。

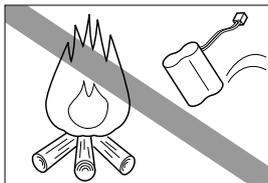
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしがって正しい取り扱いをしてください。

●本文中に記載の社名や製品名は、該当各社の商標または登録商標です。

⚠️ 安全にお使いいただくために

⚠️ 危険

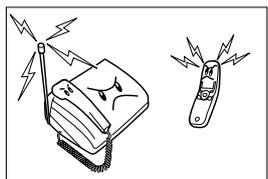
取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの危険事項をお守りください。



使用済みのバッテリーは火中に投げ入れないでください。爆発して、火災や火傷の原因となることがあります。

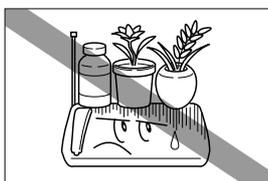
⚠️ 警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある内容が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



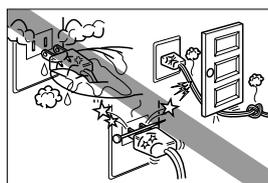
心臓ペースメーカーをご使用の方へ

本機からは微弱な電磁波が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本機から離れてください。そして、医師にご相談ください。



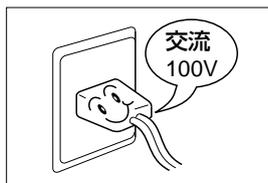
本機の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などが入った容器、または小さな金属物を置かないでください。

こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因となることがあります。



電源プラグやコードを扱うときは、次のことを必ずお守りください。火災や感電の原因となります。

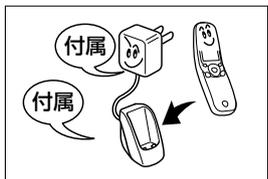
- 濡れた手で電源プラグやACアダプタを抜き差ししないでください。
- 電源プラグやACアダプタは電源コンセントに確実に差し込んでください。
- 電源コードを傷つけたり加工したりしないでください。
- 電源コードに重いものをのせたり、加熱したり、引っばらないでください。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。
- ほこり、湿気の多いところでは、電源プラグを長時間差したままにしないでください。ショートの原因になりますので、ときどきプラグを掃除してください。



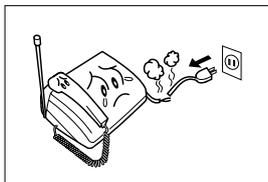
家庭用電源電圧(交流100V)以外の電圧で使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。また、万一漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。

アース線が取り付けられるところは次の部分です。

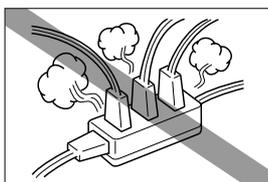
- 電源コンセントのアース端子
 - 接地工事(D種)が行われている接地端子
- 次のようなところには、絶対にアース線を取り付けしないでください。
- ガス管 ● 電話専用アース端子 ● 避雷針 ● 水道管や蛇口



子機を充電するときは、付属のACアダプタや充電台以外は使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。



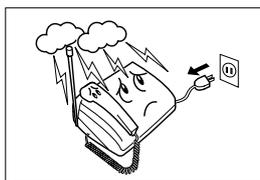
芯線の露出や断線など、電源コードが傷んだ場合は、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



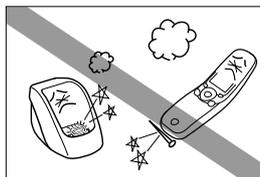
タコ足配線はしないでください。火災や過熱の原因となります。

警告

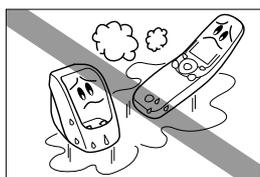
取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある内容が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



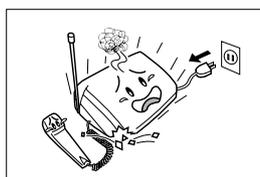
近くに雷が発生したときは、電源プラグを電源コンセントから、電話機コードを電話線コンセントから抜いてご使用をお控えください。
火災や感電、故障の原因となります。



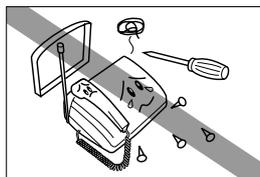
充電台や子機の充電端子をショートさせないでください。
火災や故障の原因となります。



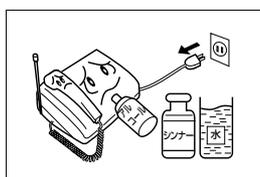
充電台や子機の充電端子に水滴がついたまま充電しないでください。
火災や故障の原因となります。



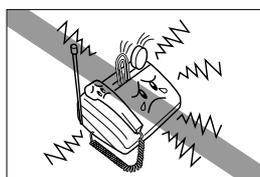
万一、本機を落としたり破損した場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。



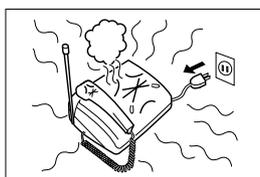
本機を分解したり改造しないでください。
火災や感電、故障の原因となります。
内部の点検や修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。



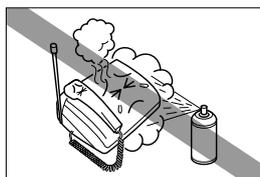
本機に水やアルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤を入れたり、濡らさないようにしてください。
万一、これらの液体が内部に入った場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。
特に雨天、降雪中、海岸、水辺などでお使いの場合はご注意ください。



開口部から内部に金属類を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
万一、異物が本機の内部に入った場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。
特にお子様がいるご家庭ではご注意ください。



万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。
すぐに電源プラグを電源コンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してお買い上げの販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。



本機の近くでは可燃性のスプレーを使用しないでください。
スプレーのガスが本機内部の電気部品などに接触すると火災や感電の原因となります。



清掃のときは、水を含ませ固くしぼった布で汚れを落とした後、乾拭きしてください。
アルコールやベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。
引火性溶剤が本体内部の電気部品に接触したり、揮発ガスが内部に充満すると火災や感電の原因となります。

⚠️ 安全にお使いいただくために (つづき)

⚠️ 注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある内容が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

- 次のようなところには置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。
 - 湿気やほこりの多いところ
 - 湿度の高いところ
 - 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所
 - 雨や雪の降りかかるようなところ
 - 直射日光の当たるところ
- 高精度の制御や微弱な信号を取り扱うような電子機器の近くでは使用しないでください。本機は VCCI クラス B に適合していますが、微弱な電磁波が発生します。その影響で電子機器や医療機器に影響をおよぼし、誤動作の原因となることがあります。
- 毛足の長いじゅうたんやカーペットなどの上には設置しないでください。繊維が本機の内部に入り込んで火災の原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には置かないでください。また、振動や衝撃の多い場所には置かないでください。落ちたり倒れたりして、ケガの原因となることがあります。
- 操作パネルを閉めるときは、指などをはさまないようにご注意ください。ケガの原因となることがあります。
- 子機を壁掛け用に取り付ける場合は、子機の重みで落下しないようにしっかりと取り付けてください。また、子機の落下には十分にご注意ください。ケガの原因となることがあります。
- 電源プラグや AC アダプタを抜くときは、必ずプラグ部分または AC アダプタを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。
- 移動する場合は、電源プラグを電源コンセントから抜き、電話回線のケーブルを外したことを確認のうえ行ってください。電源コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。
- カートリッジホルダが見える状態でプリントしないでください。プリント中はホルダが動いているため、ケガの原因となります。
- 本機のアンテナを誤って目にささないようにご注意ください。
- 紙ぶまりの処理などで内部を点検するときは、ネックレスやプレスレットなどの金属物が機械内部に触れないようご注意ください。火傷や感電の原因となることがあります。
- お手入れするときは、次のようなことにご注意ください。
 - 安全のため、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - 本機に水滴がついた場合は、乾いた布で拭きとってください。
 - 原稿読み取り部分を清掃するときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。
 - プリント部分を清掃するときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。
- 記録用紙を補給するときおよびつまった原稿や記録用紙を取り除くときは、原稿や記録用紙の端で手を切ったりしないように注意してください。
- BJカートリッジを落としたり、振ったり、プリントヘッドにさわったりしないでください。インクが漏れて周囲のものや手、衣服を汚すことがあります。衣服にインクが付くと洗濯しても落ちません。
- 安全のため、BJカートリッジはお子様の手の届かないところへ保管してください。誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、直ちに医師にご相談ください。
- 印刷後、BJカートリッジの金属部分にはさわらないでください。熱くなっているため、火傷の原因となることがあります。
- ハンドスキャナを落としたり、固いものにぶついたりしないでください。故障の原因となります。また、ガラス部分を破損するとケガの原因となることがあります。

使用上のご注意

準
備

電
話

留守番電話

ファクス

コピー

ハンズスキャナ

ドアホン

設定

こんなときは

参考

レンタル電話機について

本機をお使いになるにあたり、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は不要となります。詳しくは、局番なしの116番（無料）へお問い合わせください。

ただし、本機は停電時にお使いになることはできませんので、必要であればそのままレンタル電話機をお借りになるか、停電時に利用できる電話機をご用意いただくことをおすすめします。

置き場所について

- ラジオやテレビ、こたつ、その他家電製品のそばなど、磁気を帯びている場所には設置しないでください。雑音や受信障害の原因となります。
- 暑すぎる（32.5℃以上）場所や寒すぎる（10℃以下）場所には設置しないでください。
- 直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- 親機と子機を同じ場所に設置するときは、約1m以上離して設置してください。

ナンバー・ディスプレイご利用上のご注意

ナンバー・ディスプレイの「着信拒否機能」をご利用の方で特定の電話に対して着信を受けないように設定したときは、相手が緊急な用件で電話をかけてきたときでも電話を受けることはできません。着信拒否する番号は慎重に登録してください。

コピーについて

原稿をコピーする場合、法律によって単にそのコピーを所有するだけで罰せられるものがあります。次のものは法律でコピーが禁止されているものです。ご注意ください。

■ 法律で禁止されているもの

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券をコピーすることは禁止されています。たとえ、見本の印が押しあっても、コピーすることはできません。
- 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピーも禁止されています。
- 政府の許可をとらない限り、未使用郵便切手、官製はがきの類をコピーすることは禁止されています。

■ 注意を要するもの

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導により注意を呼びかけられています。
- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も許可なしにコピーしないでください。

[関係法律]

刑法、通貨及証券類模造取締法、外国ニ於テ流通スル通貨紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律、郵便法、郵便切手類模造等取締法、印紙犯罪処罰法、印紙等模造取締法

■ 著作権の目的となっているもの

書類、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真などの著作物は、個人的に、または家庭内、その他これに準ずる限られた範囲で使用する以外はコピーが禁じられています。

コードレス子機について

■ 利用できる範囲を確かめておきましょう

子機から親機に電波が届く範囲は、周囲の環境によっても異なりますが、直線見通し距離で、通話は半径約100m、メール操作はそれ以下になる場合があります。通話またはメール操作ができる範囲を、あらかじめお確かめください。

■ 親機のアンテナは立てておきましょう

電波の届く距離が短かったり、雑音が入る場合がありますので、親機のアンテナを必ず立てて伸ばしてください。

■ 親機のアンテナにコードを巻きつけないでください

親機の電源コードや電話機コード、子機の充電台用ACアダプタコードをアンテナに巻きつけないでください。電話着信時に子機の呼出音が鳴らなくなったり、通話時に雑音が入る場合があります。

■ 子機はいつも充電台に戻しておきましょう

充電のし過ぎにより、不具合になることはありません。充電が正常に行われるように、子機を充電台に確実に戻してください。

■ 親機との間に障害物のある場所では電波が届きにくくなります

親機と子機の間鉄筋コンクリートや金属、アルミサッシなどがある場合は電波が届きにくくなります。なるべく障害物のないところでご使用ください。

■ 雑音が入ることがあります

自動車やオートバイが近くを通ったときや、蛍光灯のスイッチを入/切したときなど、雑音が入ることがあります。

■ 傍受にご注意ください

コードレス子機を使つての通話は、電波を利用している関係上、第三者が故意または偶然に受信することが考えられます。秘密を要する通話は親機をご使用ください。

■ 取り扱いについて

ご近所でコードレス電話機を使用している場合は、正しく動作しないことがあります。このような場合は、一時的に親機をお使いください。

■ 濡れた手で子機を操作したり、子機に水をかけたりしないでください

本機の子機には防水機能がありません。水がかかる場所で使用したり、お風呂場で使用したりすると、故障の原因となります。

1 章 準備



商品の構成	1-2
各部のなまえとはたらき	1-3
メニュー項目一覧	1-8
親機を回線に接続する	1-11
BJカートリッジを準備する	1-13
記録用紙を準備する	1-20
原稿について	1-22
子機を準備する	1-23
音量を調節する	1-25
とりあえず受信してみよう!	1-27
文字入力について	1-28
日付と時刻を合わせる	1-40
待機画面を切り替える	1-42
あなたの名前と電話番号を登録する	1-43
カレンダーをプリントする	1-44

商品の構成

お買い上げ後、はじめてお使いになる前に、次のものがそろっているかご確認ください。もしも足りない場合や、違うものが入っている場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。消耗品のご購入に関しては「消耗品／別売品について」（10-3 ページ）をご覧ください。

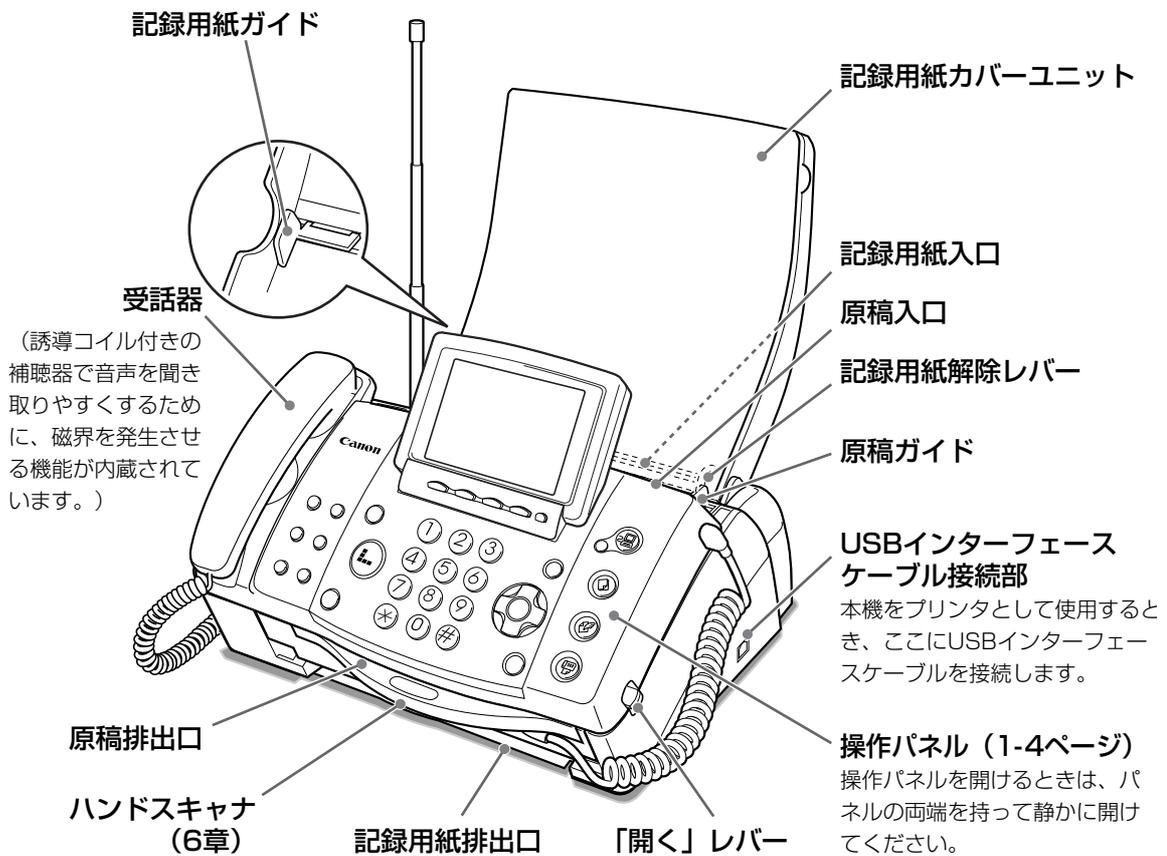
- 親機（1 台）
- 電話機コード（1 本）
- 受話器（1 台）
- 記録用紙カバーユニット（1 個）
- ブラック BJ カートリッジ BC-10（1 個）
- カラー BJ カートリッジ BC-11e（1 個）
- カートリッジ保管箱（1 個）
- クリーニングブレード（1 個）
クリーニングブレードは、ローラークリーニング専用です。それ以外の用途では使用しないでください。
- コードレス子機（1 台）
- コードレス子機用バッテリーカバー（1 個）
- 子機充電台（1 台）
- AC アダプタ（1 個）
- 子機用バッテリー（1 個）
- プリンタドライバ CD-ROM（1 式）

- セットアップシート（1 部）
- 取扱説明書（本書－1 冊）
- 別冊取扱説明書＜電話サービス編＞（1 冊）
- プリンタドライバインストールガイド（1 部）
- 子機壁掛け用ねじ（2 本）
- 記録用紙（5 枚）
- 保証書（1 部）
- アンケート用紙（1 枚）
- 各種サービス関連資料（1 式）

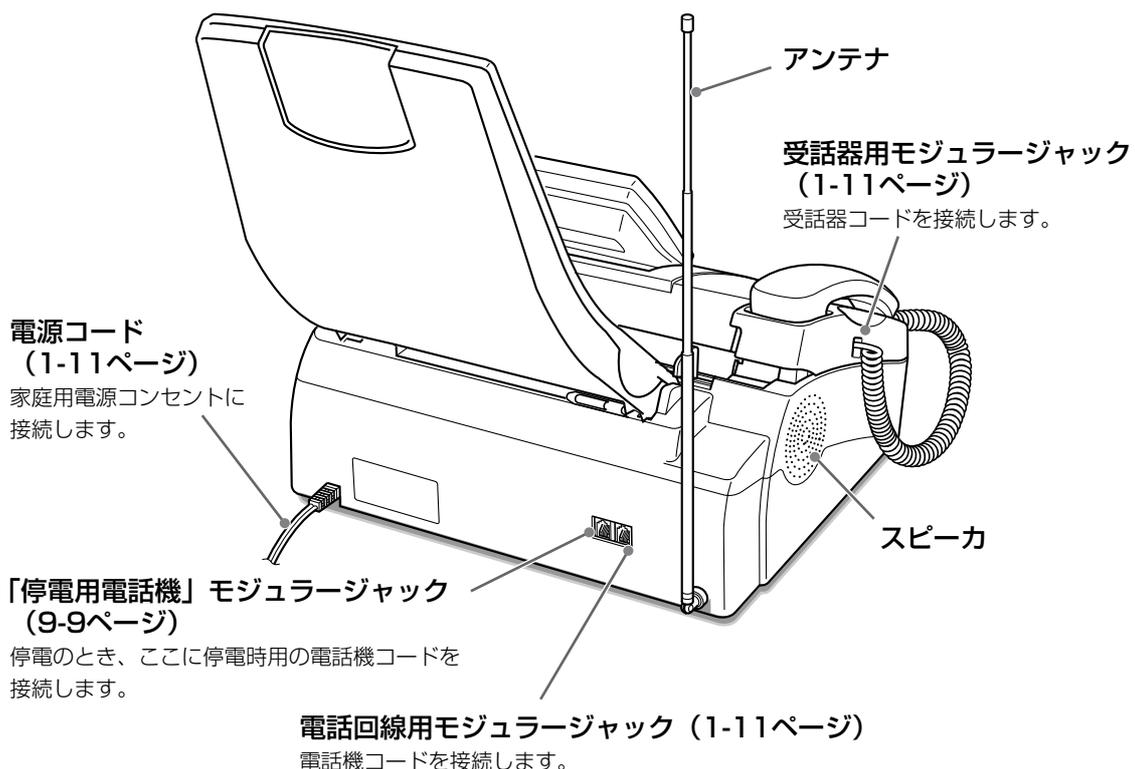
各部のなまえとはたらき

() のページに詳しい説明があります。

親機 正面



親機 背面



準
備

電
話

留守番電話

ファクス

コピー

ハンドスキャナ

ドアホン

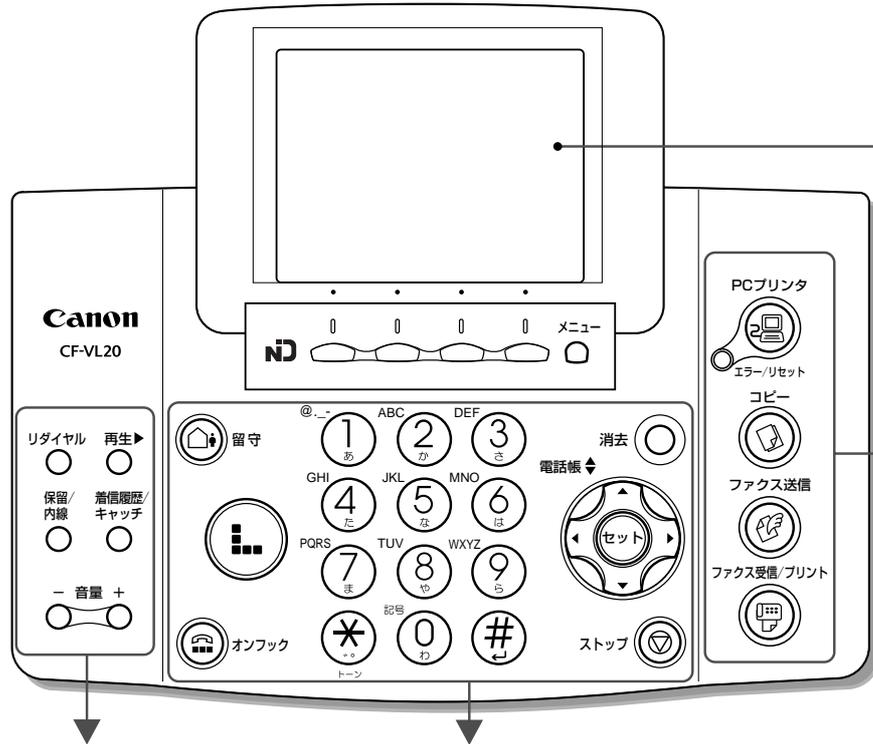
設定

こんなときは

参考

各部のなまえとはたらき (つづき)

親機 操作パネル部



リダイヤル 最後に電話をかけた相手にもう一度かけるときに使用します。(2-5ページ)

再生▶ 用件を聞くときに使用します。(3-4ページ)

保留/内線 通話中に相手に待ってもらったとき(保留)(2-6ページ)や、子機を呼び出すときに使用します。(2-4ページ)

着信履歴/キャッチ

- かかってきた電話の着信日時や相手の電話番号などを確認するときに使用します。(2-3ページ、別冊取扱説明書<電話サービス編>)
- キャッチホンを受けるときに使用します。(2-6ページ、別冊取扱説明書<電話サービス編>)

- 音量 + 音量を調節するときに使用します。(1-25ページ)

留守 留守モードをセット/解除するときに使用します。(3-2、3-3ページ)

Lモードサイト Lモードサイト(番組)を見るときやメールを送受信するときに使用します。(別冊取扱説明書<電話サービス編>)

オンフック 受話器を置いたまま電話をかけるときに使用します。(2-2ページ)

記号 WXYZ **0** わ ~ **9** ら
*** トーン** **#** **ダイヤル** ダイヤルするときや文字を入力するときに使用します。

消去

- 入力した文字や番号を消去するときに使用します。
- 電話帳や用件、ファクス、受信メールをメモリから消去するときに使用します。(2-10、3-4、8-8ページ)
- Lモード操作時に使用します。(別冊取扱説明書<電話サービス編>)

電話帳

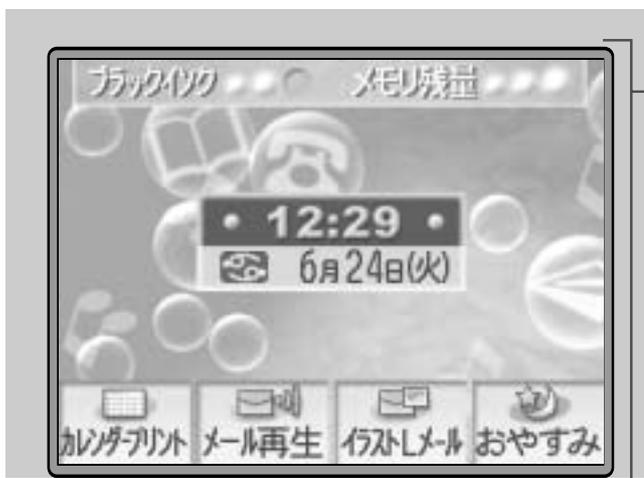
- 電話帳で検索するときに使用します。(2-13ページ)
- メニュー項目などの選択や文字を入力するときに使用します。

セット

- 電話帳で検索した電話番号にダイヤルするときに使用します。
- ボタンで選んだ項目や文字を確定するときに使用します。

ストップ ファクスの送受信、コピー、再生、設定などを中止したり、操作を途中でやめるときに使用します。

ディスプレイの表示について

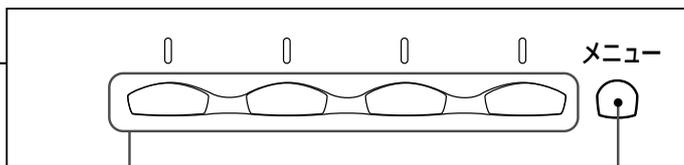


ディスプレイ

お買い上げ時は、「時計」を表示しています。
待機中に表示される背景を切り替えることもできます。
(1-42ページ)

※スクリーンセーバ表示について

待機画面は約60秒間何も操作しないと、スクリーンセーバ表示に切り替わります。ストップ(⏸)を押すと、元の待機画面の表示に戻ります。また、待機画面の表示をすべて消すこともできます。(8-4ページ)



マルチボタン

さまざまなはたらきをするボタンです。状況によって機能が変わります。現在の機能はディスプレイ下部に表示されます。

メニューボタン

設定や登録を始めるときに使います。

PCプリンタ



本機をプリンタとして使用するときに使います。プリンタモードのセット(点灯)／解除ができます。PCプリンタ機能を使用するには、プリンタドライバが必要です。本機同梱の「プリンタドライバインストールガイド」に記載されている手順にしたがって、お使いのコンピュータにセットアップしてください。本機をプリンタとしてお使いいただく場合の操作については、同梱のCD-ROMに収録されている「操作ガイド」をご覧ください。

エラー/リセット

プリンタモードでエラーが発生したときに使います。



コピーをするときに使います。(5-2ページ)

ファクス送信



ファクスを送信するときに使います。(4-2ページ)

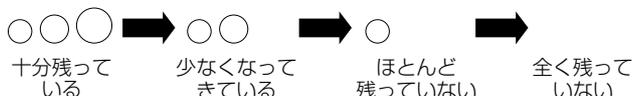
ファクス受信/プリント



ファクスを受信するとき(4-4ページ)や、プリントするとき(4-7ページ)に使います。

黒インク残量表示について

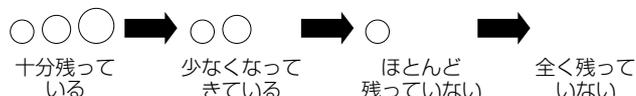
4段階で黒インク残量を示しています。



※インクの残量表示がされるのは、ブラックBJカートリッジをセットしている場合のみです。カラーBJカートリッジをセットしている場合は、「**カラー**」と表示されるだけで残量表示されません。

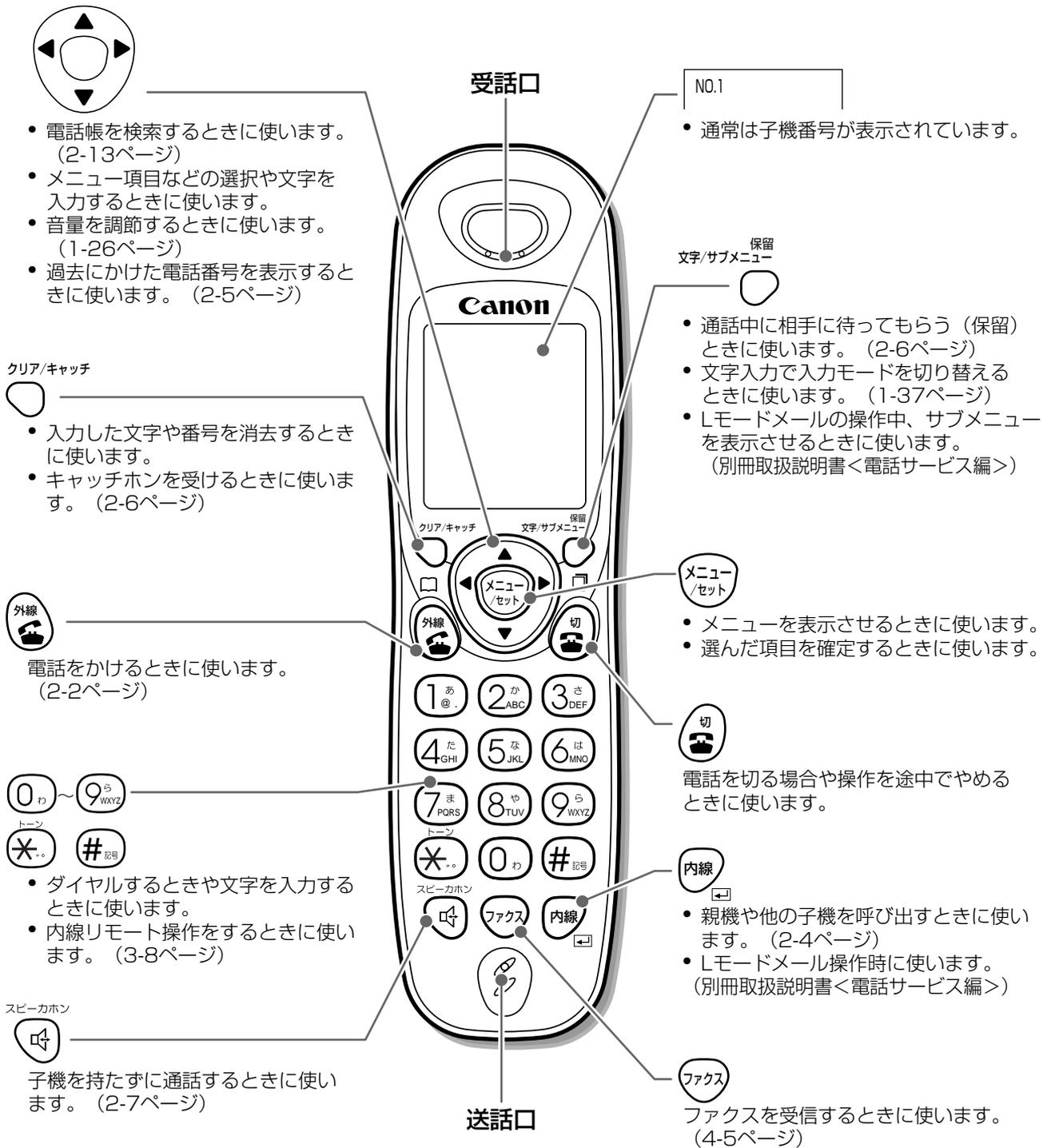
メモリ残量表示について

4段階でメモリ残量の目安を示しています。



各部のなまえとはたらき (つづき)

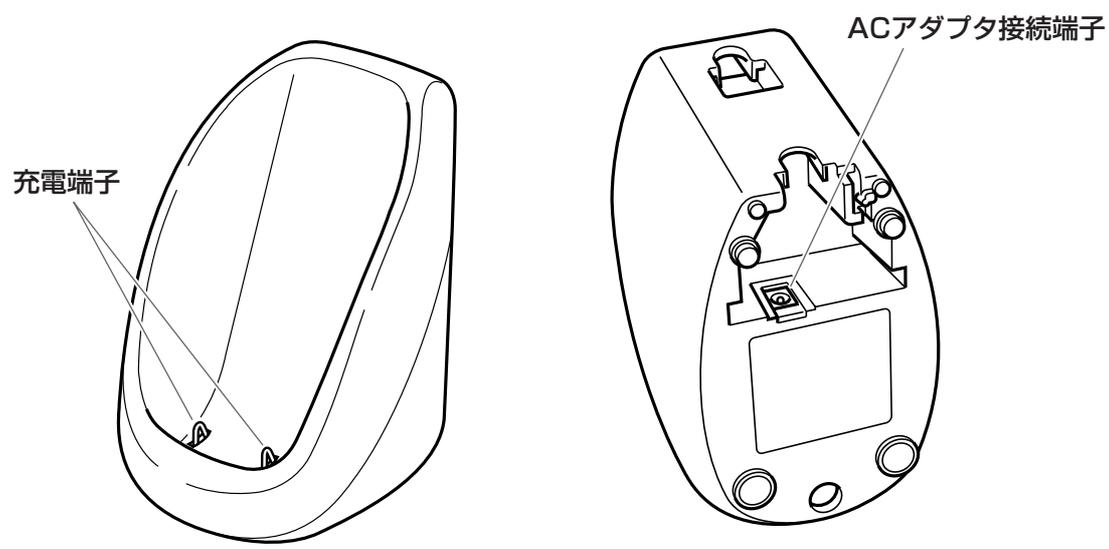
子機 操作パネル部



子機 背面



子機充電台



メニュー項目一覧

親機

 を押したときに選ぶことができるメニュー項目です。

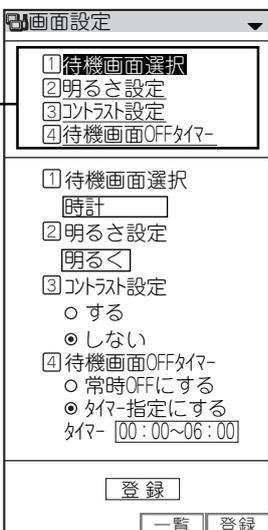
メニュー



*ナンバー・ディスプレイを「する」に設定している場合に表示されます。

親機メニューの使いかた

例：「画面設定」の場合



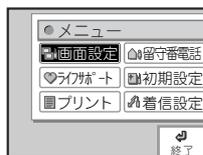
表示部分について

大項目を選ぶと項目一覧が表示されます。画面には項目一覧の一部が表示されています。各項目の先頭にある番号(①~④)を押すと、設定したい項目画面にすぐ切り替えることができます。方向キーを押して表示画面を上下にスクロールし、設定したい項目を選ぶこともできます。

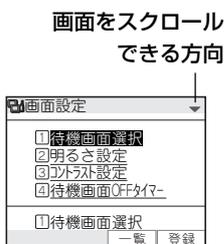
「一覧」を押すと、一番上にある項目一覧画面に戻ります。

「登録」を押すと、設定が登録されます。方向キーを押して設定項目の一番下中央にある「登録」を選び、「セット」を押して登録することもできます。

1 を押す
メニューが表示されます。



2 を押し、設定したい大項目を選び、「セット」を押す
項目一覧が表示されます。



3 設定したい項目の先頭(左端)の番号を押す

を押して表示画面を上下にスクロールし、設定したい項目を選ぶこともできます。

文字を入力するときは

4 を押す
文字入力の画面になります。

5 文字を入力し、「確定」を押す
文字の入力のしかたは1-28ページをご覧ください。

6 を押す
設定が登録されます。

ラジオボタン^{*1}のついた項目を選ぶときは

4 を押し、項目を選び、「セット」を押す
選んだ項目に黒丸がつかます。



5 を押す
設定が登録されます。

チェックボックスにチェックマークをつけるときは

4 を押し、項目を選び、「セット」を押す
チェックマークがつかます。もう一度「セット」を押すとチェックマークが消えます。



5 他の項目にもチェックマークをつける場合は、手順4を繰り返す

6 を押す
設定が登録されます。

プルダウンメニュー^{*2}から項目を選ぶときは

4 を押す
プルダウンメニューが表示されます。

5 を押し、項目を選び、「セット」を押す
選んだ項目が反転表示されます。

6 を押す
設定が登録されます。

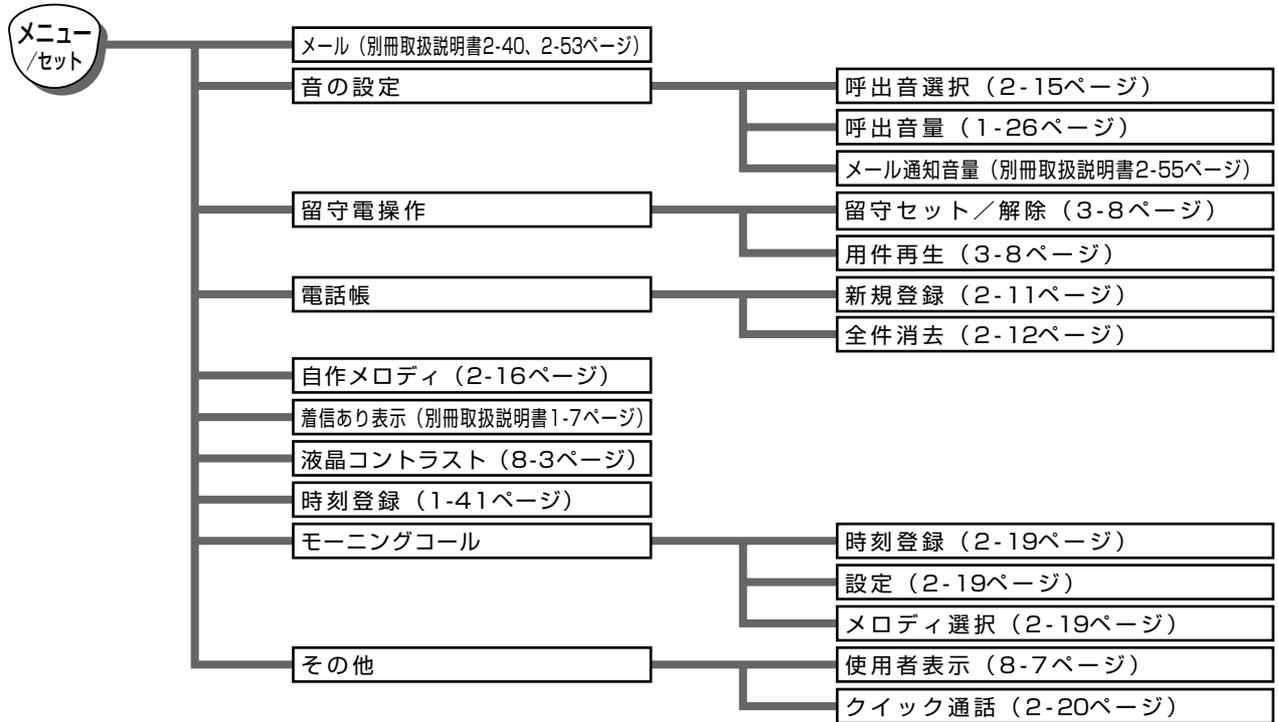
*1 ラジオボタンとは、選択肢の中から1つだけ選ぶことができる項目名の前についているボタンです。

*2 プルダウンメニューとは、選択肢が隠れている状態で表示されるメニューです。隠れている複数の項目の中から1つだけ選ぶことができます。

メニュー項目一覧 (つづき)

子機

 を押したときに選ぶことができるメニュー項目です。



子機メニューの使いかた

1  を押す

メニューが表示されます。

メインメニュー

メール
音の設定
留守電操作

2  を押し、設定したい項目を選び、 を押す

メニュー項目の中にメニューがある場合は、さらにメニューが表示されます。同様の手順で設定したい項目を選びます。

音の設定

呼出音選択
呼出音量
メール通知音量

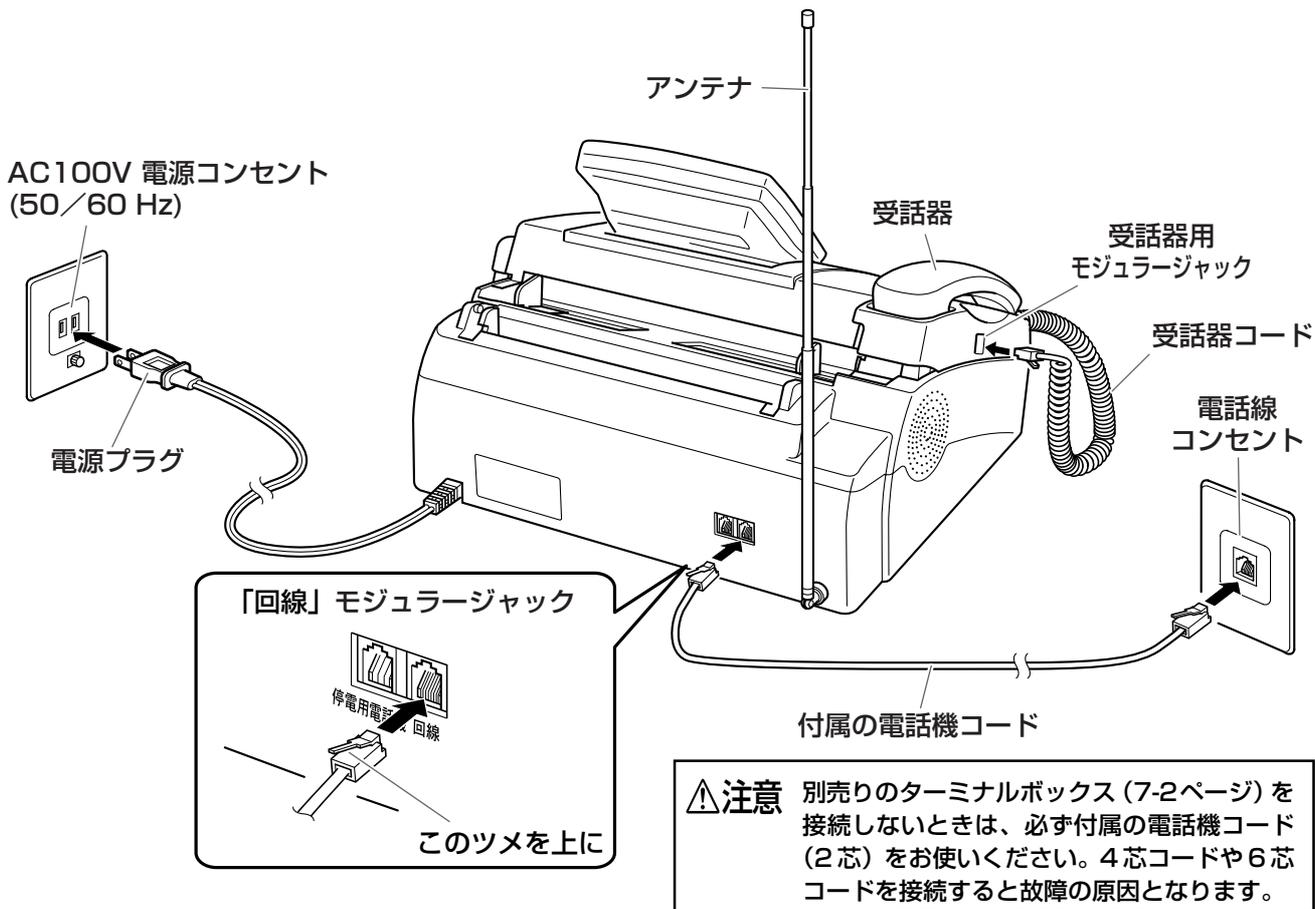
例：「音の設定」を選んだ場合

3  を押し、設定値を選び、 を押す

設定を選ぶだけの場合は、これで設定が終わります。項目によっては、この後の操作手順が異なりますので、それぞれの項目の説明ページをご覧ください。

親機を回線に接続する

「セットアップシート」では、梱包材を取り除く作業から子機の充電までの手順をわかりやすく説明しています。まず最初に必ず「セットアップシート」をご覧ください、準備をしてください。



お願い

今お使いの電話機／ホームテレホン、ビジネスホンなどをブランチ式（並列）接続しないでください。正常に動作しなくなります。

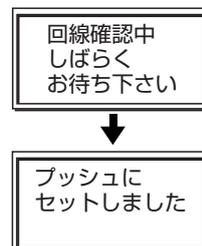
メモ

- 本機を構内交換機 (PBX) やISDNターミナルアダプタ (TA)、ADSL モデムに接続すると、正常に動作しないことがあります。ISDN回線やADSL回線でナンバー・ディスプレイやLモード (別冊取扱説明書〈電話サービス編〉) を利用するときは、各サービスに対応したターミナルアダプタやモデムをお使いください。
- 接続は必ず手順どおりに行ってください。電話回線に接続する前に電源に接続してしまうと、本機は販売用デモンストレーションに入ります。回線を接続してから受話器をいったん取り、元に戻すと、販売用デモンストレーションは解除されます。

「回線を接続して下さい」と表示されたときは「電話回線の種類を手動で設定する」(1-12ページ)の手順にしたがって設定してください。

- 1 アンテナを立てて伸ばす
- 2 受話器コードを親機の受話器用モジュラージャックに接続する
「カチッ」と音がするまで差し込みます。受話器は親機の受話器台にセットしてください。
- 3 電話機コードの一方を親機の「回線」モジュラージャックに、もう一方を壁の電話線コンセントに差し込む
「カチッ」と音がするまで差し込みます。壁側の電話線コンセントの形状によって、接続のしかたが異なります。(1-12ページ)
- 4 電源プラグを電源コンセントに差し込む

「しばらくお待ち下さい」と表示された後、電話回線の自動識別を始めます。ディスプレイに「カートリッジをセット」と表示されたら、続いてBJカートリッジをセットしてください。(1-13ページ)

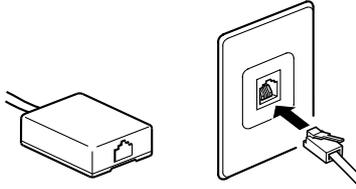


例：ブッシュに自動識別した場合

親機を回線に接続する (つづき)

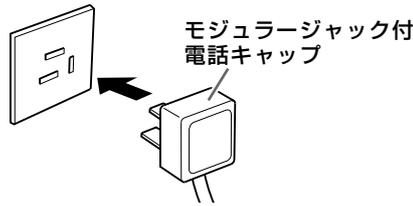
電話線コンセントのタイプについて

■ モジュラー式コンセントの場合



そのまま使えます。

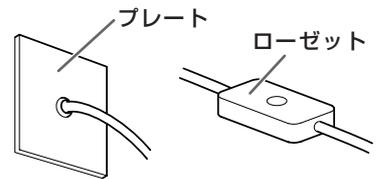
■ 3ピンプラグ式コンセントの場合



市販のモジュラージャック付の電話キャップをお買い求めください。

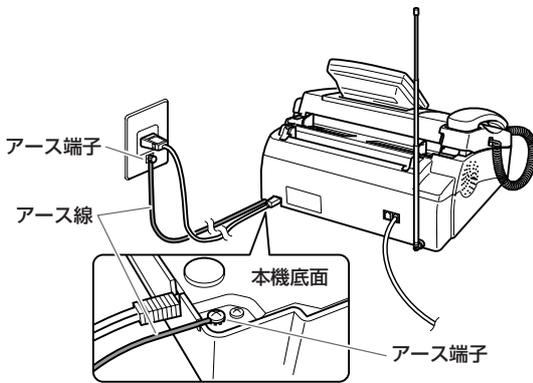
■ 直接配線の場合

(ローゼット/プレート)



モジュラー式コンセントに変える必要があります。最寄りのNTTの支店や営業所にご相談ください。

アース線を接続するときは

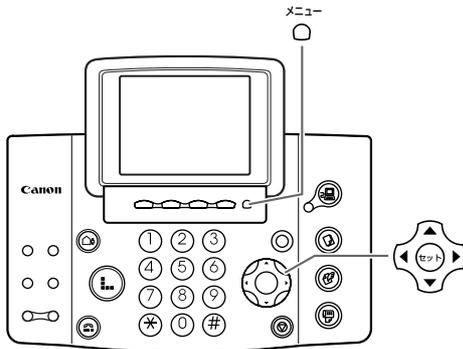


本機の底面にはアース端子があります。万一漏電した場合の感電事故防止のため、電源コンセントのアース端子などにアース線を使って接続してください。

- ⚠ 警告** 次のようなところへは絶対にアース線を取り付けないでください。
- ガス管
 - 電話専用アース端子
 - 避雷針
 - 水道管や蛇口

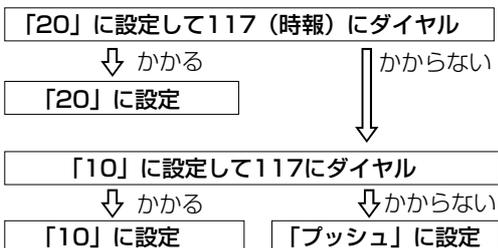
電話回線の種類を手動で設定する

電話回線の種類を自動識別できなかった場合は、次の手順で手動設定してください。



回線の種類がわからないときは

次の手順で調べてください。わからないときは、最寄りのNTTの支店や営業所にお問い合わせください。



- 1 **メニュー** を押す
- 2 **方向キー** を押し、「初期設定」を選び、**セット** を押す
- 3 **DEF 3** を押し、「回線種別」を選び、**セット** を押す
- 4 **方向キー** を押し、回線の種類を選び、**セット** を押す

自動
プッシュ
10
20

自動	自動識別します。
プッシュ	プッシュ (トーン) 回線
10	ダイヤル回線 (速度: 10PPS)
20	ダイヤル回線 (速度: 20PPS)

- 5 **登録** を押す

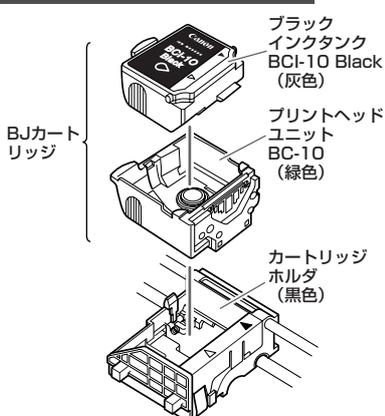
BJカートリッジを準備する

BJカートリッジは、インクの入ったインクタンクと、ノズルのついたプリントヘッドユニットで構成されています。本機にはブラックBJカートリッジBC-10とカラーBJカートリッジBC-11eをセットすることができます。通常のファクスのプリントやコピーをするときは、ブラックBJカートリッジBC-10をお使いいただくことをおすすめします。Lモードの画面をカラーでプリントするときや、カラーコピーをするときは、カラーBJカートリッジBC-11eをお使いください。

- 注意**
- 安全のため、BJカートリッジはお子様の手が届かないところへ保管してください。誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、直ちに医師にご相談ください。
 - BJカートリッジを落としたり、振ったり、プリントヘッドにさわったりしないでください。インクが漏れて周囲のものや手、衣服を汚すことがあります。衣服にインクが付くと洗濯しても落ちません。

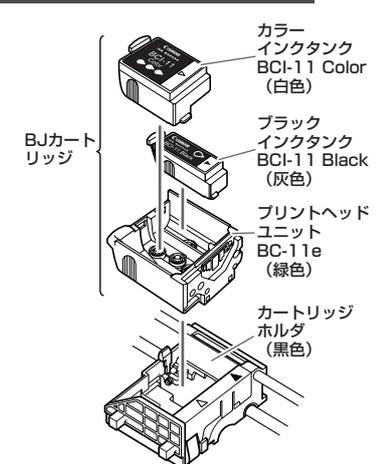
BJカートリッジとカートリッジホルダの構成

ブラックBJカートリッジ BC-10



- ブラックインクタンク (BCI-10 Black)**
ブラックBJカートリッジBC-10をお買い上げいただくと、このインクタンクが付属しています。
- BCI-10 Black**
- 大容量インクタンク (BCI-17 Black - 別売品)**
ブラックBJカートリッジBC-10のプリントヘッドユニットにセットして使います。BCI-10 Blackより大容量です。単品でお買い求めください。
- BCI-17 Black**
- プリントヘッドユニット (ブラックBJカートリッジ用)**
白黒プリント専用のインク噴き出しノズルです。単独ではお買い求めになれません。

カラーBJカートリッジ BC-11e



- カラーインクタンク (BCI-11 Color)**
シアン (澄んだ青緑)、マゼンタ (明るい赤紫)、イエロー (黄) の3色のインクが入っています。1色ごとの交換はできません。
- BCI-11 Color**
- ブラックインクタンク (BCI-11 Black)**
カラーインクと合わせて使う黒インクです。ブラックBJカートリッジに比べ容量が少ないので、黒を大量に使うプリントには向いていません。
- BCI-11 Black**
- プリントヘッドユニット (カラーBJカートリッジ用)**
カラー専用のインク噴き出しノズルです。必ず上記2つのインクタンクと組み合わせて使います。単独ではお買い求めになれません。

※フォトBJカートリッジBC-12eフォト (別売品) は、本機のPCプリンタ機能を使うときのみご使用になれます。

BJカートリッジを準備する (つづき)

BJカートリッジをセットするときのお願い

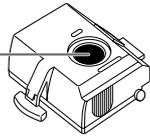
操作パネルを開け、カートリッジ交換ボタン（水色）を押した後は、故障を防ぐため、次の点に注意してください。

- フィルムケーブルを引っばらないでください。
- 図の  で示した部分には触れないでください。
- 図の  で示した部分は押さないでください。

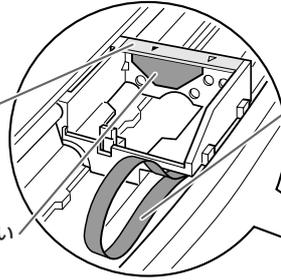
⚠注意 押さないでください。
故障の原因となります。

インクタンク裏側のフェルトの部分には触れないでください。
手がインクで汚れたり、きれいにプリントできなくなることがあります。

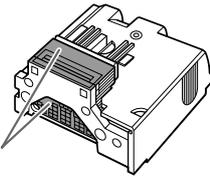
この部分には触れないでください



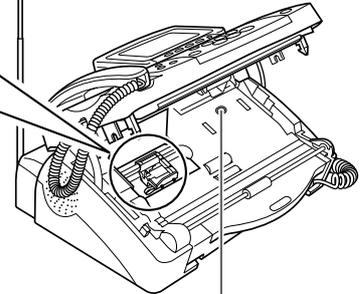
触れないでください



フィルムケーブル
触れたり引っばったりしないでください



触れないでください



カートリッジ交換ボタン（水色）

BJカートリッジおよびインクタンクをセットする／取り外すとき

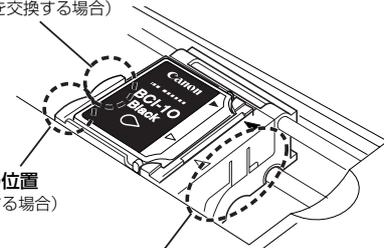
セットするとき：▷マークと◁マークを合わせて斜めに差し込み、カートリッジホルダを押さえながら、プリントヘッドユニットやインクタンクのツメを、「カチッ」と音がするまで、下に押し込みます。

取り外すとき：カートリッジホルダを押さえながら、プリントヘッドユニットやインクタンクのツメを持ち上げます。

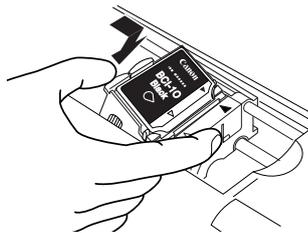
インクタンクのツメの位置
(インクタンクのみを交換する場合)

BJカートリッジのツメの位置
(BJカートリッジごと交換する場合)

カートリッジホルダ



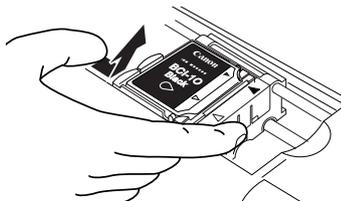
● BJカートリッジをセットする



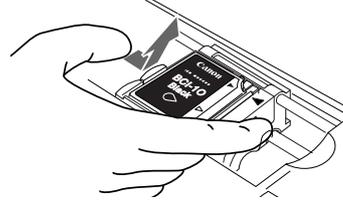
●インクタンクをセットする



● BJカートリッジを取り外す



●インクタンクを取り外す



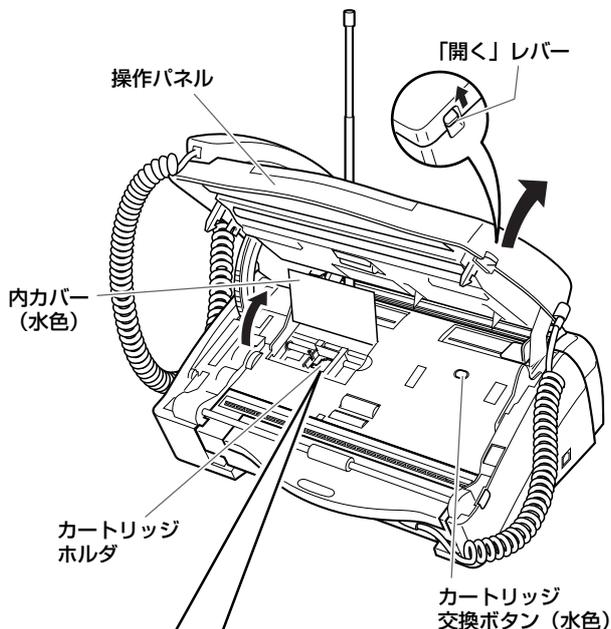
メモ

本機はプリント品質を常に高品位に保つため、プリント動作前に装置内の自動タイマーによりクリーニングを行っています。その際、インクタンクのインクを微量に消費しています。

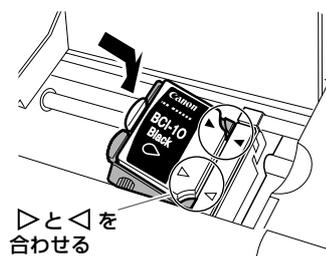
BJカートリッジをセットする

セットする前に、電源プラグが電源コンセントに差し込まれていることを確認してください。

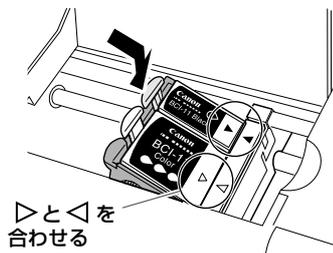
ブラックBJカートリッジBC-10とカラーBJカートリッジBC-11eのセットのしかたは同じです。



● ブラックBJカートリッジBC-10の場合



● カラーBJカートリッジBC-11eの場合

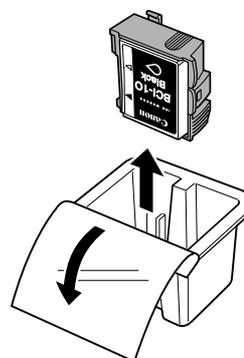


1 「開く」レバーを押し上げながら、ロックがかかるまで操作パネルを開ける

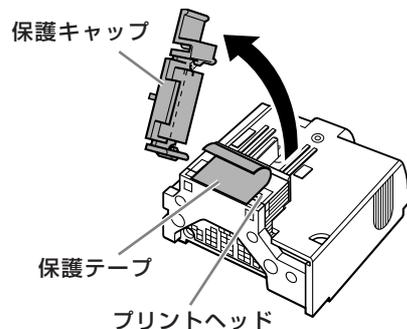
2 内カバー（水色）を開ける

3 カートリッジ交換ボタン（水色）を押す
カートリッジホルダが右端の位置から左側へ移動してきます。

4 BJカートリッジをケースから取り出す



5 オレンジ色のプリントヘッド保護キャップと保護テープを取り外す



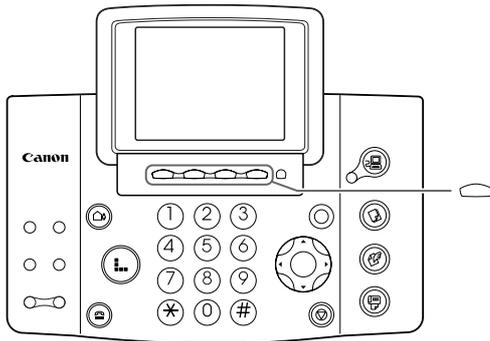
6 BJカートリッジを本体のカートリッジホルダにセットする（1-14 ページ）

▷マークと◁マークを合わせ、斜めに差し込み、「カチッ」と音がするまでBJカートリッジを下に押し込みます。

7 内カバー（水色）を閉める

8 カートリッジ交換ボタン（水色）を押す
カートリッジホルダが右端の位置（ホームポジション）に戻ります。

BJカートリッジを準備する (つづき)



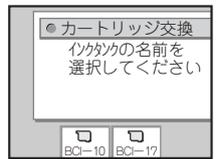
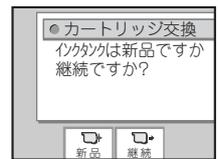
9 操作パネルを「カチッ」と音がするまで閉める
操作パネルの手前まん中 (矢印部分) をロックがかかるまで押します。

BJカートリッジのヘッドクリーニングが始まります。クリーニングが終わるまで約 60 秒かかります。

カラーBJカートリッジ BC-11e をセットした場合は、これで終了です。

ブラックBJカートリッジBC-10をセットした場合

10 右の表示がされたら、 を押す



11  を押す

お願い

BJカートリッジのセットは、カートリッジ交換ボタン (水色) を押してから 5 分以内に行ってください。5 分経過すると、カートリッジホルダは元の位置に戻ります。この場合はもう一度カートリッジ交換ボタン (水色) を押してください。

BJカートリッジは使う直前までケースから出さないでください。開封したBJカートリッジはすぐに本体にセットしてください。ケースから出したまま放置しておく、プリントヘッドが乾燥してプリントできなくなることがあります。保管する場合は、付属のカートリッジ保管箱に入れてください。

BJカートリッジを机などの上に置くときは、プリントヘッドを上に向けて置いてください。プリントヘッドを下に向けて置くと、ヘッドに傷がつき、きれいにプリントできなくなることがあります。

BJカートリッジの分解やインクの補充などはしないでください。故障の原因となります。

インクタンクは、品質を維持するため、購入後 1 年を目安に使い切るようにしてください。また、本体にセットしたら 6 ヶ月を目安に使い切ってください。

初めてお使いのとき、白紙で印刷されたり、きれいに印刷できない場合があります。そのときはヘッドリフレッシングを 1~2 回行ってください。プリント品質が回復します。(9-5 ページ) (プリントヘッドユニットの保護キャップ、保護テープ、両方を外していることもご確認ください。)

メモ

- 手順 8 の操作を行わずに、手順 9 を行くと、「カートリッジをセットし、交換終了を押して下さい」と表示されます。 を押し、ブラックBJカートリッジ BC-10 をセットした場合は、手順 10 に進んでください。
- BJカートリッジをセットした後に、プリントがかすれるなどプリント品質がよくないときは、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。(9-5 ページ)
- カラープリントをした場合、十分に表現できない色もあります。

インクタンクおよびBJカートリッジの交換について

ノズルチェックパターンをプリントしてプリントヘッドの状態を確認することができます。(9-4 ページ)

「BJカートリッジ」は、記録用紙にインクを吹き付けるノズルがついた「プリントヘッドユニット」と、インクが入っている「インクタンク」で構成されています。交換するときは、「インクタンク」のみ交換する場合 (1-17 ページ) と「BJカートリッジ」と交換する場合 (1-19 ページ) があります。

インクタンクを交換する

ファクスやコピーのプリントが全体的にかすれてきたときは、インクタンクを交換します。

1 「開く」レバーを押し上げながら、ロックがかかるまで操作パネルを開ける

2 内カバー（水色）を開ける

3 カートリッジ交換ボタン（水色）を押す
カートリッジホルダが右端の位置から左側へ移動してきます。

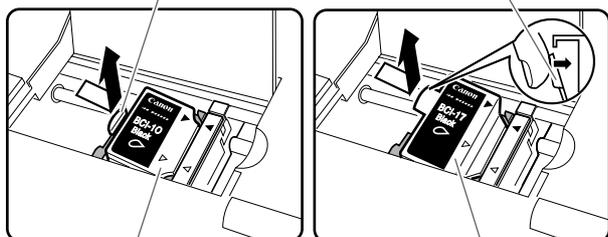
4 古いインクタンクを取り外す
灰色のツメを内側に押しながら、上方向に持ち上げて取り外します（下図）。

●BCI-10 Black の場合

灰色のツメを押しながら持ち上げる

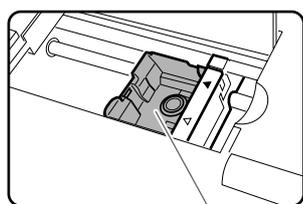
●BCI-17 Black の場合

内側にある灰色のツメを押しながら持ち上げる



インクタンク

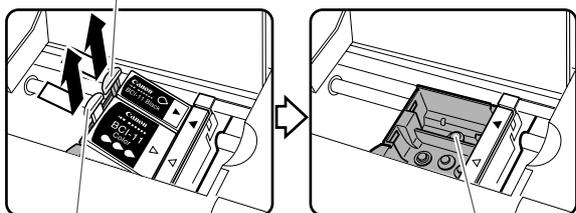
インクタンク



インクタンクを取り外すと、緑色のプリントヘッドユニットが残る

●ブラックインクタンク BCI-11 Black またはカラーインクタンク BCI-11 Color の場合

ブラックインクタンク：
灰色のツメを押しながら持ち上げる



カラーインクタンク：
白のツメを押しながら持ち上げる

緑色のプリントヘッドユニットが残る

5 新しいインクタンクを袋から取り出し、オレンジ色の保護キャップを取り外す

保護キャップは捨てないでください。インクタンクを保管するときは、保護キャップを再び装着してください。

BCI-10 Black

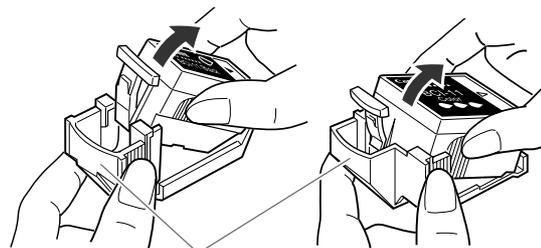
BCI-17 Black



保護キャップ

BCI-11 Black

BCI-11 Color



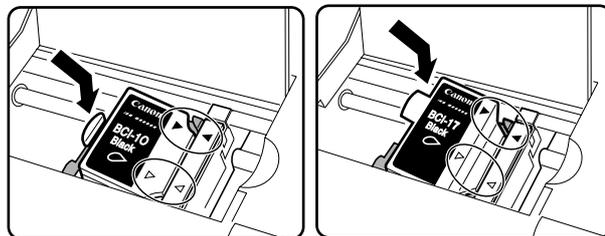
保護キャップ

6 インクタンクをプリントヘッドユニットにセットする

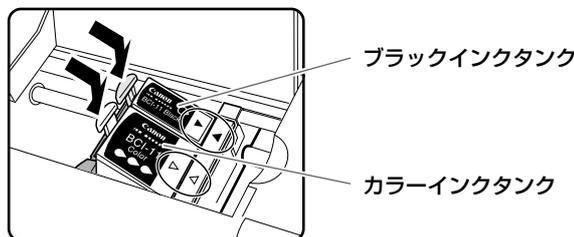
インクタンクのラベルを上に向けて、▷マークと◁マークを合わせ、斜めに差し込み、「カチッ」と音がするまでインクタンクの左端を上から押します（下図）。

●BCI-10 Black の場合

●BCI-17 Black の場合



●ブラックインクタンク BCI-11 Black およびカラーインクタンク BCI-11 Color の場合



ブラックインクタンク

カラーインクタンク

BJカートリッジを準備する(つづき)

7 内カバー(水色)を閉める

8 カートリッジ交換ボタン(水色)を押す
カートリッジホルダが右端の位置(ホームポジション)に戻ります。

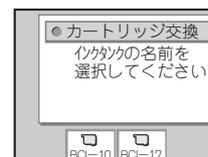
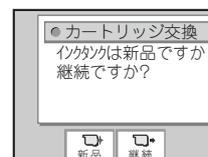
9 操作パネルを「カチッ」と音がするまで閉める
操作パネルの手前まん中をロックがかかるまで押します。
BJカートリッジのヘッドクリーニングが始まります。
クリーニングが終わるまで約60秒かかります。

ブラックインクタンク BCI-11 Black またはカラーインクタンク BCI-11 Color をセットした場合は、これで終了です。

BCI-10 Black または BCI-17 Black をセットした場合

10 右の表示がされたら、 を押す

古いインクタンクを再び使う場合は  を押します。これで手順は終了です。



11  または  を押す

BCI-10 Black に交換した場合は、 を押します。
BCI-17 Black に交換した場合は、 を押します。



メモ

手順8の操作を行わずに、手順9を行うと、「カートリッジをセットし、交換終了を押して下さい」と表示されます。 を押し、BCI-10 Black または BCI-17 Black をセットした場合は、手順10に進んでください。

使用済みBJカートリッジ回収のお願い



キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みインクタンク、BJカートリッジの回収を推進しています。この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。

つきましては、「キヤノンによる環境保全と資源の有効活用」の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、ご使用済みとなったインクタンク、BJカートリッジを、お近くの回収窓口までお持ちくださいますようお願いいたします。

キヤノン販売ではご販売店の協力の下、全国に3000拠点を超える回収窓口をご用意いたしております。

また回収窓口に店頭用カートリッジ回収スタンドの設置を順次進めております。

回収窓口につきましては、下記のキヤノンのホームページ上で確認いただけます。

キヤノンサポートページ canon.jp/support

事情により、お持ちになれない場合は、使用済みインクタンク、BJカートリッジをビニール袋などに入れ、地域の条例にしたがい処分してください。



BJカートリッジを交換する

プリントヘッドの寿命または故障と見られる症状が出たときには、BJカートリッジごとと交換します。(詳しくは「BJカートリッジの状態を確認する」(9-4 ページ) をご覧ください。)

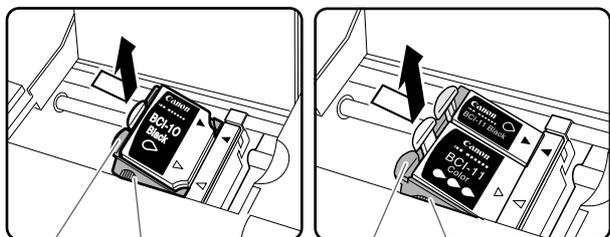
1 「開く」レバーを押し上げながら、ロックがかかるまで操作パネルを開ける

2 内カバー (水色) を開ける

3 カートリッジ交換ボタン (水色) を押す
カートリッジホルダが右端の位置から左側へ移動してきます。

4 古いBJカートリッジを取り外す
緑色のツメを上方向に持ち上げます (下図)。

- ブラックBJカートリッジBC-10の場合
- カラーBJカートリッジBC-11eの場合

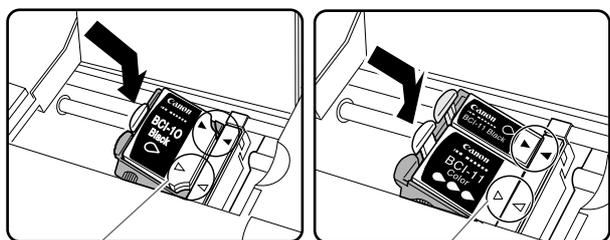


緑色のツメ BJカートリッジ (緑色のケース) 緑色のツメ BJカートリッジ (緑色のケース)

5 新しいBJカートリッジをカートリッジホルダにセットする (1-14、1-15 ページ)

▷マークと◁マークを合わせて斜めに差し込み、「カチッ」と音がするまでインクタンクごと下に押し込みます。

- ブラックBJカートリッジBC-10の場合
- カラーBJカートリッジBC-11eの場合



▷と◁を合わせる ▷と◁を合わせる

6 内カバー (水色) を閉める

7 カートリッジ交換ボタン (水色) を押す
カートリッジホルダが右端の位置 (ホームポジション) に戻ります。

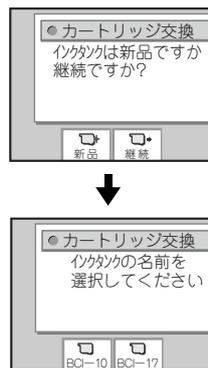
8 操作パネルを「カチッ」と音がするまで閉める
操作パネルの手前まん中をロックがかかるまで押します。BJカートリッジのヘッドクリーニングが始まります。クリーニングが終わるまで約60秒かかります。

カラーBJカートリッジBC-11eをセットした場合は、これで終了です。

ブラックBJカートリッジBC-10をセットした場合

9 右の表示がされたら、新品を押す

古いインクタンクがセットされたBJカートリッジを再び使う場合は、を押します。これで手順は終了です。



10  または  を押す

BCI-10 Black に交換した場合は、 を押します。BCI-17 Black に交換した場合は、 を押します。

メモ

手順7の操作を行わずに、手順8を行うと「カートリッジをセットし、交換終了を押して下さい」と表示されます。 を押し、ブラックBJカートリッジBC-10をセットした場合は、手順9に進んでください。

記録用紙を準備する

記録用紙について

ハガキサイズ（縦）とA4サイズ（縦）の記録用紙を使用することができます。通常は、普通紙（複写機で使う標準的なコピー用紙）で十分なプリント品質を得ることができますが、次のような記録用紙のご使用をおすすめします。

セットできる記録用紙

● 種類

記録用紙の種類	製品名
普通紙 (コピー用紙等)	キヤノンニュープリンタペーパー CP-250 キヤノンバブルジェット用普通紙 LC-301
ハガキ	キヤノン光沢ハガキ KH-201N

上記の他に、官製はがき、官製はがき（コート）もご使用になれます。

● サイズとセットの方向

記録用紙の長い方向を縦にセットしてください。

サイズ	セット方向
ハガキ	縦
A4	

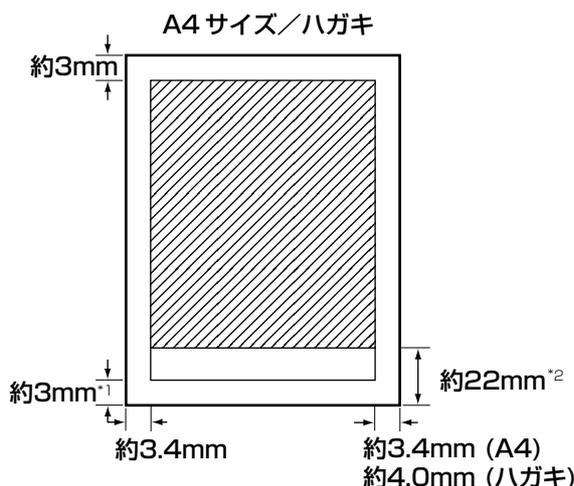
● 一度にセットできる枚数

記録用紙の種類	セットできる枚数
普通紙（A4）	30枚
光沢紙	10枚
ハガキ	10枚

枚数が多い場合は、数回に分けてセットしてください。

プリント可能範囲

プリントされる範囲は斜線部分です。



*1 ファクスをプリントする場合やコピーをする場合に、コピー範囲の設定（5-4 ページ）が「広く」になっている場合

*2 コピーをする場合に、コピー範囲の設定が「普通」になっている場合

※ 縦のコピー範囲を広く設定できます。ただし、記録用紙送りの精度が低下するため、記録用紙の下端部分が正常にプリントされないことがあります。

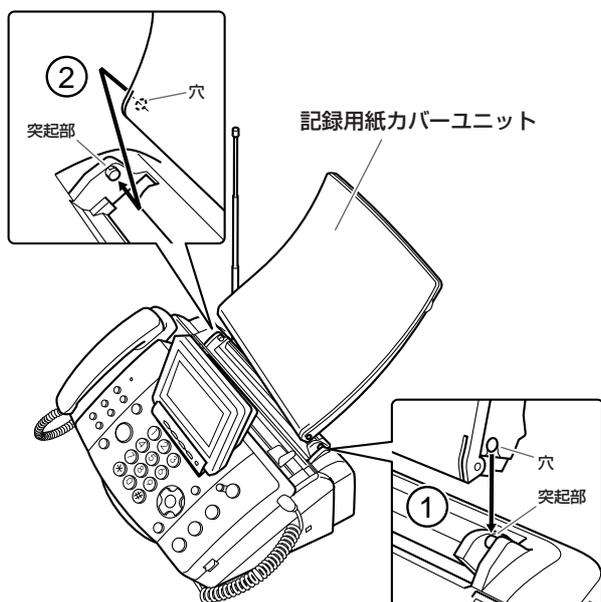
お願い

次のような用紙を記録用紙として使用しないでください。紙づまりの原因となります。

- 0.06mm より薄い用紙（ワープロ用感熱紙など）や 0.23mm を超える厚い用紙
- 破れ、しわ、折り目、大きい反りのある用紙

記録用紙カバーユニットを取り付ける

記録用紙をセットする前に記録用紙カバーユニットを取り付けます。



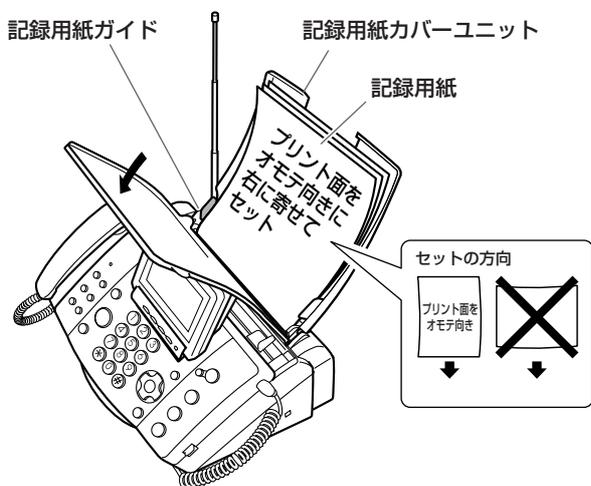
- 1** 記録用紙カバーユニットの右側の穴に、記録用紙入口の突起部を入れる
- 2** 記録用紙カバーユニットの左側の穴に、記録用紙入口の突起部を入れる

お願い

記録用紙カバーユニットが壁などに触れないように設置してください。

記録用紙をセットする

記録用紙カバーユニットにプリント面をオモテ向きにしてセットします。



- 1** 記録用紙カバーユニットを開ける
- 2** 記録用紙ガイドを左端に移動する
- 3** 記録用紙をよくさばいてそろえる
普通紙は30枚、ハガキは10枚までセットできます。
- 4** 記録用紙カバーユニットに、記録用紙を右に寄せてセットする
- 5** 記録用紙ガイドを記録用紙幅に合わせる
- 6** 記録用紙カバーユニットを閉める

お願い

必ず右端に寄せてセットし、記録用紙ガイドをきっちりと記録用紙幅に合わせてください。

記録用紙が斜めに送られてしまったり、内部が汚れてプリントの品質低下や故障の原因となることがあります。

記録用紙を複数枚セットするときはいねいにセットしてください。

複数枚同時に送られてしまうなど、紙送りがうまくいかないときは、もう一度セットし直してください。それでもうまく送れないときは、1枚ずつセットしてください。

プリントする面をオモテ向きにセットしてください。

記録用紙によってはプリント面が決まっているものがあります。プリント面を確認してセットしてください。

記録用紙排出口の前は記録用紙排出に十分なスペースをとってください。

前に物が置いてあったり十分なスペースがないと、紙づまりの原因となります。

記録用紙を追加するときは記録用紙カバーユニットに残っている記録用紙の下にセットしてください。また、記録用紙が引き込まれている最中は記録用紙を追加しないでください。

紙づまりの原因となります。

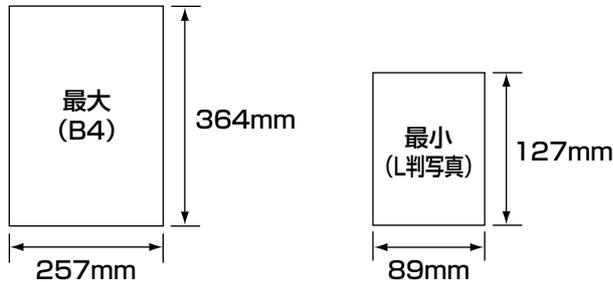
反りのある記録用紙は、必ず反りを直してからセットしてください。

原稿について

基準を満たさない原稿をセットしたり、誤った方法でセットすると、コピーやファクス送信が正しく行われなかったり、紙づまりの原因となることがあります。

セットできる原稿

● サイズ



● 厚さ

原稿入口にセットできる原稿の厚さは、次のとおりです。

原稿の枚数	原稿の厚さ
1枚のとき	0.06 ~ 0.23 mm
複数枚のとき	0.06 ~ 0.13 mm

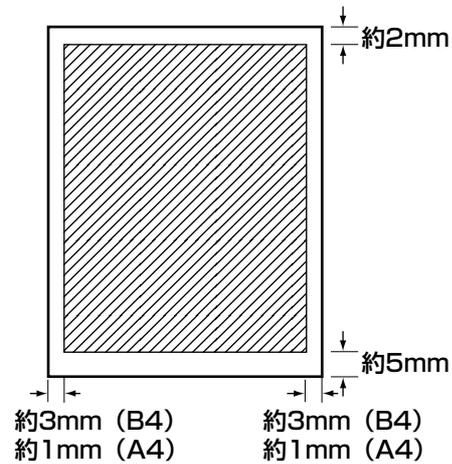
● 一度にセットできる枚数

原稿のサイズによって、一度にセットできる枚数が異なります。枚数が多い場合は、何回かに分けてセットしてください。

原稿のサイズ	セットできる枚数
A4	10枚
B4	5枚
ハガキ	1枚
L判写真	1枚

読み取り可能範囲

読み取れる範囲は、斜線部分です。



お願い

次のような原稿は、別の複写機でコピーをとったり、キャリヤシート（別売）にはさんでから、原稿入口にセットしてください。紙づまりなどの原因となるため、そのままでは使用できません。

- 上記の「セットできる原稿」のサイズや厚さの範囲外の原稿
- のりやセロハンテープで貼り合わせたもの
- 破れ、しわ、反りや折り目のあるもの
- 感熱紙、裏カーボン紙など
- フィルムやトレーシングペーパーなど透明なもの

ハンズキャナで読み取った原稿も使用できます。(6-3ページ)

原稿をセットする前に以下のことを確認してください。

- セットできる原稿の基準を満たしている原稿かどうか確認してください。
- ホチキスやクリップは必ず取り外してください。
- インク、修正液などは完全に乾かしてからセットしてください。

A4原稿の場合は原稿セットマークに原稿の右端を合わせて、まっすぐにセットしてください。

原稿ガイドは、必ず原稿の幅に合わせてください。

原稿ガイドを正しく合わせないと、原稿が斜めに送られてしまうことがあります。

幅や厚さが異なる原稿を一緒にセットしないでください。

送信もれやコピーもれ、紙づまりなどの原因となることがあります。幅や厚さが異なる原稿は1枚ずつセットしてください。

送信したりコピーする面をウラ向きにセットしてください。

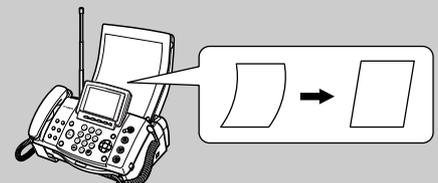
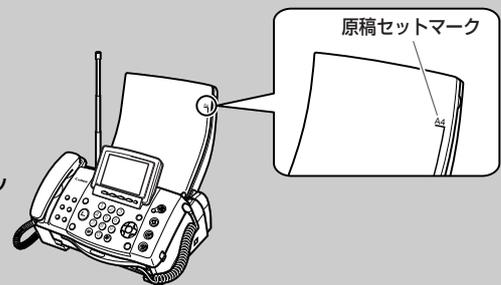
厚紙原稿は反りを直してセットしてください。

厚紙原稿の場合、図のような向きに反っていると原稿がうまく送られないことがあります。

反りを直してからセットし、原稿後端のまん中を持って軽く押しってください。

小さい原稿は突き当たるまで差し込んでください。

ハガキのような小さい原稿をセットするときは、原稿後端のまん中を持って、突き当たるまで差し込んでセットしてください。



子機を準備する

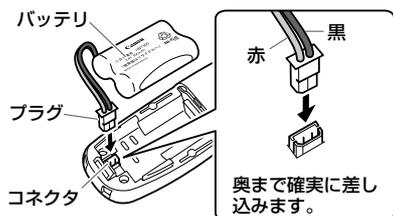
子機を充電する

子機をはじめてお使いになるときやバッテリーを交換したときは、必ず連続 10 時間以上充電してください。

- 警告**
- 充電台や子機の充電端子をショート（短絡）させないでください。
 - 充電台や子機の充電端子に水滴がついたまま充電しないでください。

1 子機にバッテリーを入れる

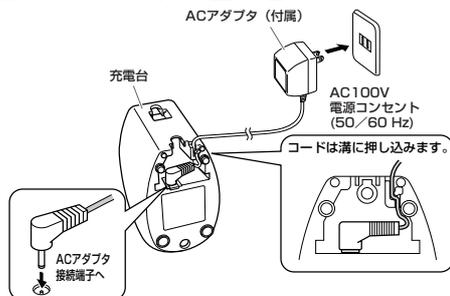
バッテリーのプラグを子機のコネクタに接続します。



Ni-Cd のリサイクルマークを上にしてバッテリーを入れ、バッテリーカバーを閉めます。

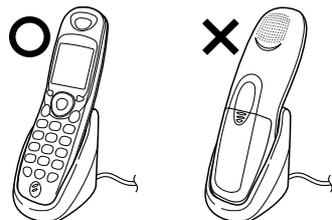


2 充電台に AC アダプタを接続し、AC アダプタを電源コンセントに差し込む



3 操作パネル面を手前に向けて、子機を充電台に置く

が点灯し、充電が始まります。子機を使わないときは、いつも充電台に戻しておいてください。



バッテリーが完全に消耗しているときは、子機を充電台にのせてもすぐに点灯しない場合があります。そのときは充電台に置いたままお待ちください。約 10 分で点灯します。

メモ

- 完全に充電できるまで約 10 時間かかります。
- 新しいバッテリーをフル充電した場合、連続して通話ができる時間は約 9 時間、待ち受け時間は約 180 時間です。
- 充電のしすぎによって故障することはありません。

子機を設置する

子機の設置場所の選びかたについて

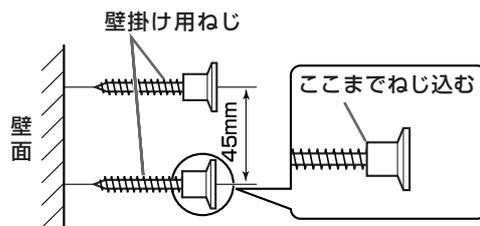
- 金属製家具の近くは避けてください。
- 親機と子機は約 1m 以上離して設置してください。
- 子機増設時は、子機同士を約 1m 以上離してください。

子機を壁にかけて使うには

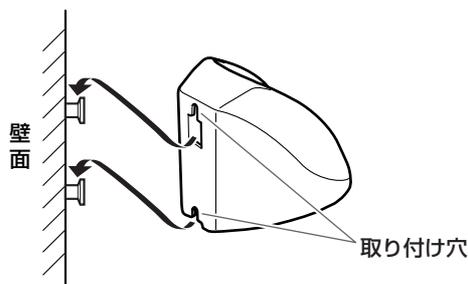
壁掛け用ねじ（付属品）を使って、充電台を壁に取り付けてください。

- 注意** ベニヤ板など薄い壁板やボード材(石こう板)には直接取り付けしないでください。取り付ける場合は、子機の重みで落下しないようにしっかりと取り付けてください。子機が落下すると、ケガの原因となることがあります。

1 壁掛け用ねじ（付属品）2本を壁に取り付ける



2 ねじの頭に充電台の取り付け穴をかける



お願い

Canon
ニカド電池 HBT300
2.4V 600mAh
「使用後はリサイクルへ」
MADE IN INDONESIA



バッテリーのビニールカバーには重要なことが書かれています。必ずお守りください。

バッテリーのラベルカバーをはがさないでください。ビニールカバーは破れやすいので、取り付けたときに破らないようご注意ください。

バッテリーカバーを閉めるとき、バッテリーコードをはさまないようにご注意ください。

危険

● この電池パックは適用機種専用です。
● 充電は指定の電話機に収納し行ってください。
● 発熱、膨張、発火の原因となりますので次の事はしないでください。
● 高温の場所での充電、使用/火の中への投入/加熱/分解やチューブの破り/◎端子のショート

子機を準備する (つづき)

子機のバッテリーについて

子機に使用しているバッテリーは消耗品です。長時間充電してもすぐにバッテリーの容量がなくなるときは新しいバッテリーと交換してください。使用頻度により違いはありますが、約1年程度でバッテリーの容量が減少していきます。交換の際は、下記の注意事項をよくお読みください。

⚠危険 バッテリーは誤った使いかたをすると破裂や過熱してケガや火災の原因となります。次のことを必ずお守りください。

- 金属小物（カギや装飾品、ネックレスなど）と一緒にポケットやかばんなどに入れないでください。
- 端子をショート（短絡）させないでください。
- 分解しないでください。
- 水や火の中に投げ入れないでください。
- 取り出したバッテリーを保管するときは、プラス（+）とマイナス（-）がショートしないようにしてください。
- お子様の手の届かないところに保管してください。

お願い

ニカド電池のリサイクルにご協力ください。



Ni-Cd

子機のバッテリーはニカド電池を使用しています。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの製品の廃棄に際しては、バッテリーを取り外してください。また、バッテリーの交換や廃棄に際してはお買い上げの販売店またはニカド電池リサイクル協力店へご持参ください。

ご使用済みのニカド電池をお持ちいただくときは、次のことを必ずお守りください。

- +端子、-端子をテープで絶縁してください。
- ニカド電池のビニールカバーははがさないでください。
- ニカド電池は分解しないでください。
- リサイクルマークのあるニカド電池と、それ以外の電池を混ぜないでください。



メモ

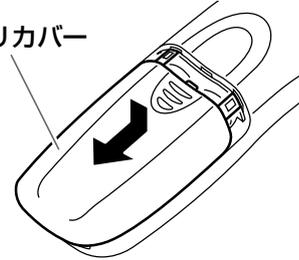
- バッテリーは使わないで放置していても自己放電します。このため、新しいバッテリーでもはじめから容量が少なくなっていたり、まったくないことがあります。これは、バッテリーの不良ではありません。
- バッテリーが自己放電したときは、充電しても通常の使用時間より短いことがあります。このようなときは、充電と通話（充電・放電）を何回か繰り返すうちに通常の状態に戻ります。
- 必ず指定のバッテリー（コードレス子機用バッテリー HBT300）をお買い求めください。
- 子機の電源スイッチについて
電源のオン（入り）…充電台にのせると自動的に電源が入ります。
（長期間ご使用にならないときには、バッテリーを子機から取り外してください。）

子機のバッテリーを交換する

1 バッテリーカバーを開ける

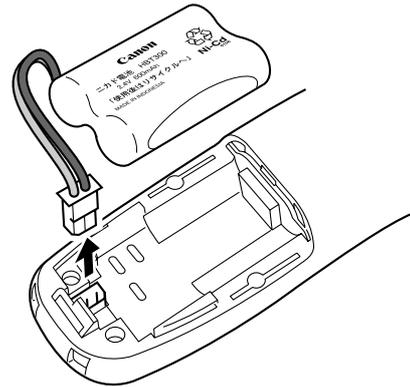
親指でバッテリーカバーを押し出すようにしてください。

バッテリーカバー



2 古いバッテリーを取り外す

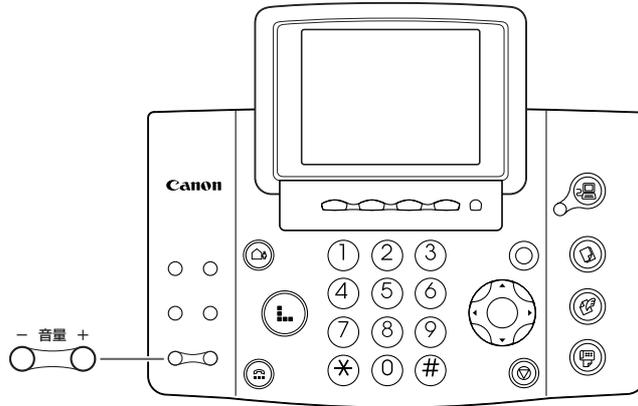
コネクタからプラグを抜いて古いバッテリーを取り外します。



3 「子機を充電する」(1-23ページ)と同じ手順で、新しいバッテリーを取り付け、充電する

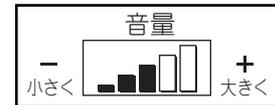
音量を調節する

親機を調節する



1 を押す

状態によって調節できる範囲が変わります。



呼出音量を調節するには

手順 1 を行います。音量は 5 段階から選ぶことができ、変えるたびに呼出音が約 3 秒鳴ります。

相手の声(受話器)を調節するには

通話中に手順 1 を行います。音量は 3 段階から選べます。

相手の声(スピーカ)を調節するには

 オフフック が点灯中に手順 1 を行います。5 段階から選べます。

用件、メールの再生を調節するには

再生中に手順 1 を行います。5 段階から選べます。

音声ガイダンスを調節するには

音声ガイダンス中に手順 1 を行います。5 段階から選べます。

メモ

呼出音を「0 (切)」にすることができます。○ を約 2 秒 (「ピピッ」と音がするまで) 押し続けます。「0 (切)」のときは内線およびドアホン (7-3 ページ) の呼出音は最小音量になります。再び呼出音を鳴らすには ○ を押します。

準
備

電
話

留守番電話

ファクス

コピー

ハンズスキャナ

ドアホン

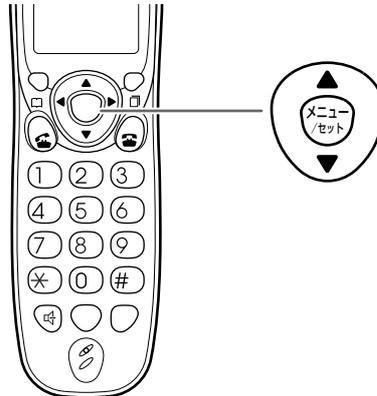
設
定

こんなときは

参
考

音量を調節する (つづき)

子機を調節する



呼出音量を調節するには

- 1  を押す
- 2  を押し、「音の設定」を選び、 を押す
- 3  を押し、「呼出音量」を選び、 を押す
- 4  を押し、音量を選び、 を押す
「音量大」「音量小」「消音」の3段階から選べます。

呼出音量
音量大
音量小
消音

受話音量を調節するには

- 1 通話中に  を押す

音量 []

相手の声(受話器)を調節するには

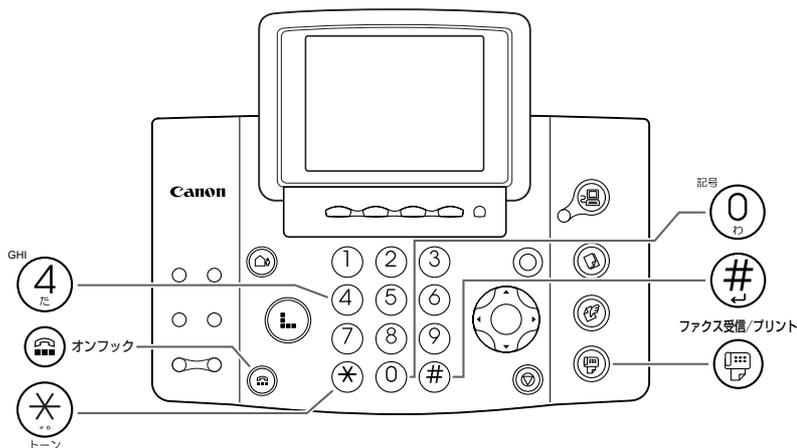
通話中に手順 1 を行います。音量は 2 段階から選べます。

相手の声(スピーカ)を調節するには

スピーカホンで通話中に手順 1 を行います。2 段階から選べます。

とりあえず受信してみよう！

正しく受信できるかどうか確認するために、キヤノンFAX 情報サービスを利用してみましょう。



1 オンフック を押し、ダイヤルする

下記一覧から、お近くのキヤノンサービス FAX 情報サービスにかけます。

2 音声ガイダンスを聞く

お使いの電話がダイヤル回線の場合は、 を押します。

3 を押す

4 を押し、 を押す

5 を押す

6 を押す

ファクス受信が始まります。

キヤノンFAX情報サービス

札幌 011-728-0485
秋田 018-826-0441
仙台 022-211-5730
東京 03-3455-5962
名古屋 052-936-0758

大阪 06-4795-9011
広島 082-240-6729
高松 087-826-1621
福岡 092-411-9510

通話料金はおお客様のご負担になります。

準備

電話

留守番電話

ファクス

コピー

ハンドスキャナ

ドアホン

設定

こんなときは

参考

文字入力について

親機で入力する

ダイヤルボタンを使って文字を入力します。各ボタンには「文字リスト」の文字が割り当てられており、ボタンを押すごとに文字が変わります。メール文章作成時の文字入力については、別冊取扱説明書〈電話サービス編〉をご覧ください。

文字入力中のディスプレイ表示



確定エリア	入力エリアで確定した文字がここに表示されます。
入力モード	入力中のモードを表示します。  を押すごとに、入力モードが切り替わります。
入力エリア	入力モードで入力中の文字が表示されます。
マルチボタン機能	各状態により表示される項目が変わります。

文字入力について (つづき)

ひらがな入力と漢字入力をするには

1  を押し、「かな」を選ぶ



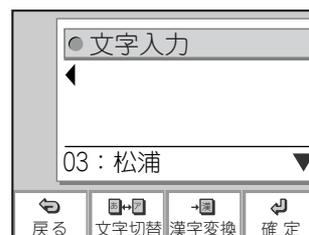
2  ~  を押し、ひらがなを入力する

入力エリアに文字が全角で表示されます。
漢字変換をしないときは手順4に進みます。



3  を押し、 を押し、変換候補の中から変換したい漢字を選ぶ

消法○を1回押すと変換を取り消せます。



4  を押し

確定エリアに文字が表示されます。



入力した文字を消去するには

消法○を押すと、1文字ずつ消去することができます。

文字を追加するには

 を押して、確定エリアにあるカーソルを挿入したい位置に移動し、文字を入力します。

文字を修正するには

 を押して、修正したい文字までカーソルを移動し、消法○を押して、入力し直します。

メモ

- 漢字がうまく変換されないときは、変換文字数を1文字分にしたり、濁点や半濁点を外したり、読み（音読み・訓読み）を変えて入力し直してください。
- 「かな」と「漢字」は半角に変換することはできません。

カタカナ入力をするには

- 1**  を押し、「カナ」を選ぶ
- 2**  ~  を押し、文字を入力する
入力エリアに文字が半角で表示されます。


- 3**  を押し
確定エリアに文字が表示されます。



全角のカタカナ入力をするには

「かな」モードでひらがなを入力後、 を押して、変換候補の中から全角のカタカナを選びます。

英字入力・数字入力をするには

- 1**  を押し、「英」または「数」を選ぶ
- 2**  ~  を押し、文字を入力する
入力エリアに文字が半角で表示されます。
 を押し、全角文字に変換できます。


- 3**  を押し
確定エリアに文字が表示されます。



メモ

文字を入力する項目によっては、全角文字に変換できない場合があります。

文字入力について (つづき)

記号入力をするには

1


を押し、「記号」を選ぶ

を押すごとに、入力画面が「半角記号」→「全角記号」→「区点コード」と切り替わります。

2


を押し、記号を選ぶ


3


を押す

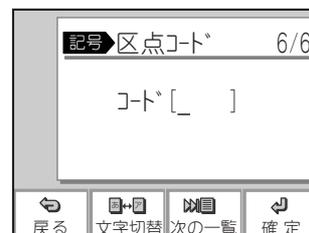
確定エリアに記号が表示されます。



区点コードで入力するには

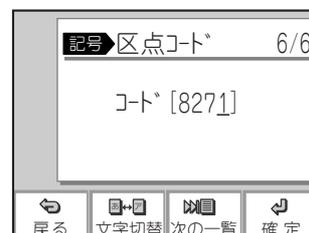
1  を押し、「記号」を選ぶ

2  を押し、「区点コード」を選ぶ
区点コード入力画面になります。



3  ~  を押し、区点コード（4桁）を入力する

区点コード表（10-4 ページ）にある文字・数字・記号を入力できます。



4  を押し
確定エリアに文字が表示されます。



メモ

- 入力した区点コードに割り当てられた文字がない場合は、エラー音が「ピピピ」と鳴って入力されません。
- 区点コードで入力した文字はすべて全角となります。入力スペースが半角しか残っていない場合は、区点コードによる入力できません。

文字入力について (つづき)

定型文入力をするには

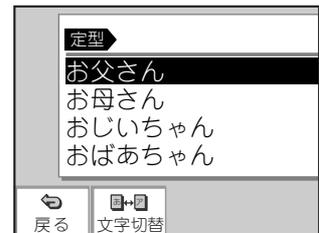
電話帳の名前やメールアドレスを入力するときに便利です。

1  を押し、「定型」を選ぶ

2  を押し、定型文を選ぶ

3  を押す

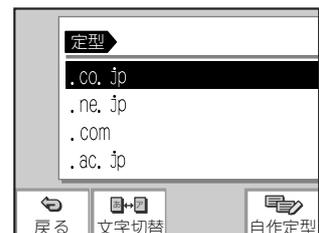
確定エリアに定型文が表示されます。



定型文を自分で作るには(自作定型文)

電話帳のメールアドレスに利用できる定型文を 10 件まで自分で作成し、登録することができます。

1  を押し、「定型」を選ぶ



2  を押す

すでに自作定型文を登録している場合は、そのリストが表示されます。



3  を押す



4 定型文を入力する

半角で最大 20 文字まで入力できます。

5 を押す

確定エリアに文字が表示されます。



6 を押す

入力した定型文が登録されます。



7 を押す

登録した定型文がリストの一番上に表示されます。



自作定型文を修正するには

手順2で自作定型文のリストが表示されているときに、を押して修正したい定型文を選び、を押します。修正が終わったら、もう一度 を押してください。

自作定型文を消去するには

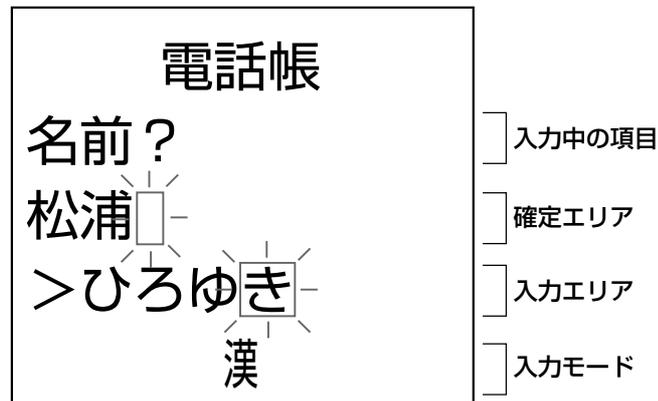
手順2で自作定型文のリストが表示されているときに、を押して消去したい定型文を選び、を押し、を押します。

文字入力について (つづき)

子機で入力する

ダイヤルボタンを使って文字を入力します。各ボタンには「文字リスト」の文字が割り当てられており、ボタンを押すごとに文字が変わります。メール文章作成時の文字入力については、別冊取扱説明書<電話サービス編>をご覧ください。

文字入力中のディスプレイ表示

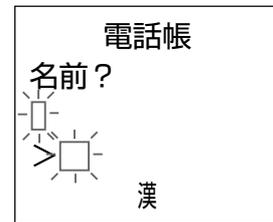


入力中の項目	現在入力中の項目を表示します。
確定エリア	「か」「英」「数」の入力モードで入力された文字がここに表示されます。「漢」の入力モードでは入力エリアで確定した文字がここに表示されます。
入力エリア	「漢」の入力モードで入力中の文字が表示されます。
入力モード	入力中のモードを表示します。 <small>文字/サブメニュー</small>  を押すごとに、入力モードが切り替わります。

文字入力について (つづき)

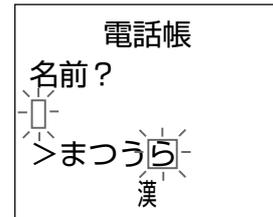
ひらがな入力と漢字入力をするには

1  を押し、「漢」を選ぶ



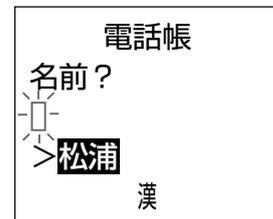
2  ~  を押し、ひらがなを入力する

入力エリアに文字が全角で表示されます。
漢字変換をしないときは手順4に進みます。



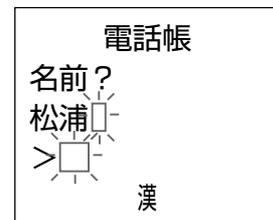
3  を押し、変換候補の中から変換したい漢字を選ぶ

 を1回押しと変換を取り消せます。



4  を押し

確定エリアに文字が表示されます。



入力した文字を消去するには

 を押しと、1文字ずつ消去することができます。

文字を追加するには

 を押し、挿入したい位置にカーソルを移動し、文字を入力します。

文字を修正するには

 を押し、修正したい文字までカーソルを移動し、 を押し、入力し直します。

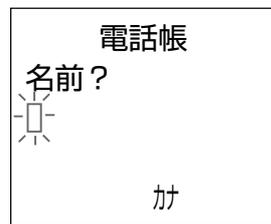


メモ

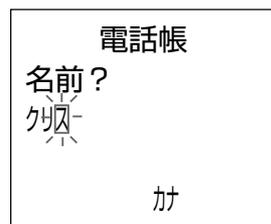
漢字がうまく変換されないときは、変換文字数を1文字分にしたり、濁点や半濁点を外したり、読み（音読み・訓読み）を変えて入力し直してください。

カタカナ入力・英字入力・数字入力をするには

1  を押し、「か」「英」または「数」を選ぶ



2  ~  を押し、文字を入力する
確定エリアに文字が表示されます。

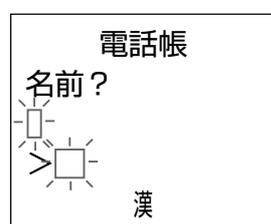


全角のカタカナ入力をするには

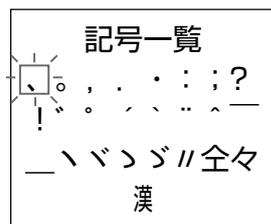
「漢」モードでひらがなを入力後、 を押して、変換候補の中から全角のカタカナを選びます。

記号入力をするには

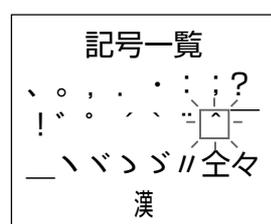
1  を押し、「漢」または「英」を選ぶ



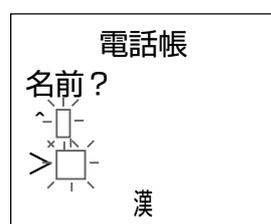
2  を押す



3  を押し、記号を選ぶ



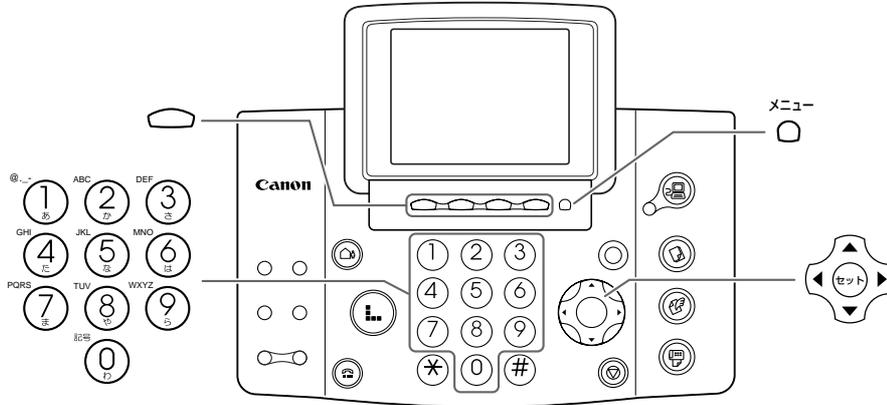
4  を押す
確定エリアに記号が表示されます。



日付と時刻を合わせる

親機のディスプレイに表示される日付と時刻を合わせます。また、相手側の記録紙に発信した日付と時刻がプリントされたり、留守番電話で用件が録音された日付と時刻を確認することもできます。子機では時刻の設定ができます。

親機を合わせる



1 **メニュー** を押す

2 方向キーを押し、「初期設定」を選び、**セット** を押す

3 **2** を押し、「日付時刻設定」を選ぶ

日付時刻設定
 する
 しない

4 「する」を選び、**セット** を押す

5 **登録** を押す

日付時刻入力画面が表示されます。



6 **0** ~ **9** を押し、日付と時刻を入力し終わったら、**確定** を押す

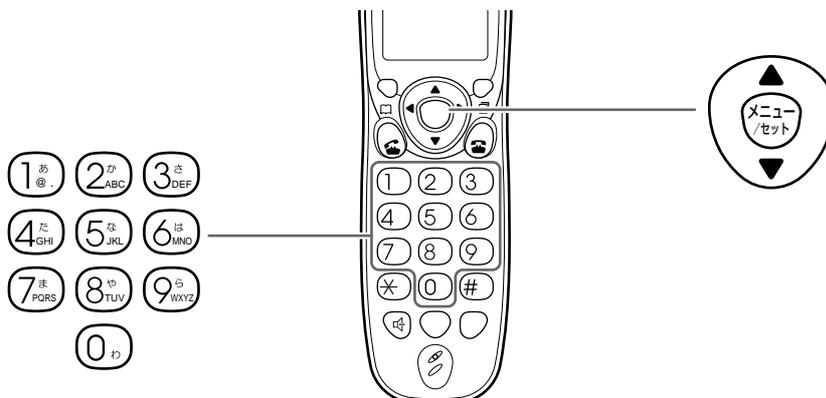
1桁の数字は0から入力します。

時刻は24時間制で入力します。

数字を入力し直すには

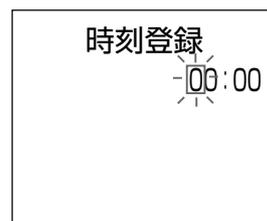
手順6で方向キーを押して、修正したい数字までカーソルを移動し、正しい数字を入力します。

3 子機を合わせる



1 を押す

2 を押し、「時刻登録」を選び、 を押す



3 ~ を押し、時刻を入力する

1桁の数字は0から入力します。
24時間制で入力します。



4 を押す

数字を入力し直すには

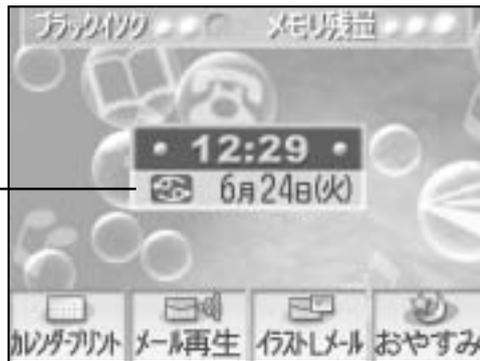
手順3で を押して、修正したい数字までカーソルを移動し、正しい数字を入力します。

待機画面を切り替える

待機画面は4種類あります。

(お買い上げ時の設定は「時計」になっています。)

日付に対応する星座を示すアイコンが表示されます。



「時計」を選んだ場合の表示例

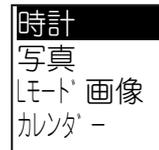


「時計」以外を選んだ場合の表示例

1  を押す

2 「画面設定」を選び、 を押す

3  を押し、「待機画面選択」を選び、
 を押す



4  を押し、設定したい待機画面を選び、 を押す

待機画面については、下記の表をご覧ください。

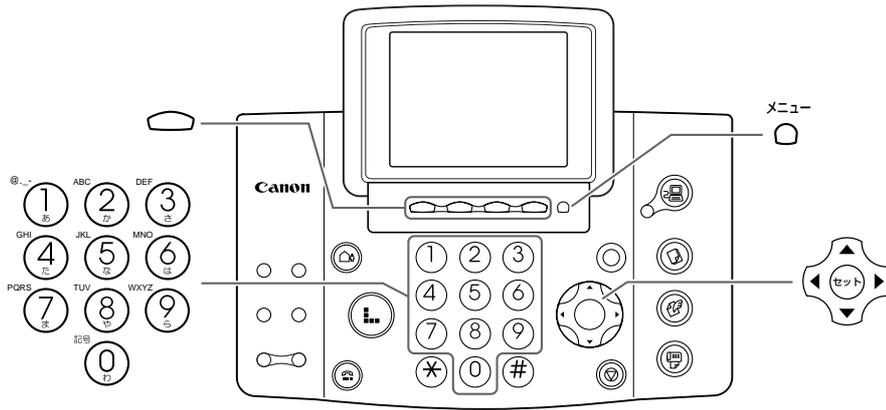
5  を押す

待機画面	
時計	時計が上下左右に弾むように動きます。
写真	一定時間ごとに画像が切り替わります。
Lモード画像*	画像が左右にスライドします。
カレンダー	カレンダーが上下左右に弾むように動きます。  を押しと、他の月も見ることができます。

*Lモードからダウンロードした画面メモを待機画面に登録することができます。(別冊取扱説明書<電話サービス編>2-25ページ)

あなたの名前と電話番号を登録する

ファクス送信時には相手側の記録紙にこちらの名前と電話番号がプリントされます。



準

備

電

話

留守番電話

ファクス

コピー

ハンドスキャナ

ドアホン

設定

こんなときは

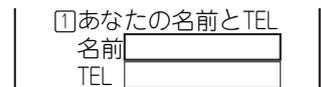
参

考

1 を押す

2 を押し、「初期設定」を選び、 を押す

3 を押し、「あなたの名前とTEL」を選ぶ



4 「名前」を選び、 を押す

5 名前を入力し終わったら、もう一度 を押す



文字の入力のしかたは 1-28 ページをご覧ください。
全角で最大 8 文字、半角で最大 16 文字まで入力できます。

6 で「TEL」を選び、 を押す

7 ~ を押し、電話番号を入力し終わったら、 を押す



スペースは で入力します。入力し直すには、 を押して正しい数字を入力してください。最大 20 桁まで入力できます。

8 を押す

登録を中止するには

ストップ を押します。

カレンダーをプリントする

カレンダーをカラープリントすることができます。
四季ごとに4種類の絵柄があります。

1 記録用紙をセットする

A4サイズをセットしてください。(1-21 ページ)

2 を押す



3 または を押し、年月を選び、 を押す

2003年1月から2020年12月までのカレンダーを選ぶことができます。



例：2003年3月を選んだ場合



メモ

カラープリントするには、カラーBJカートリッジをセットしておいてください。(1-13 ページ)

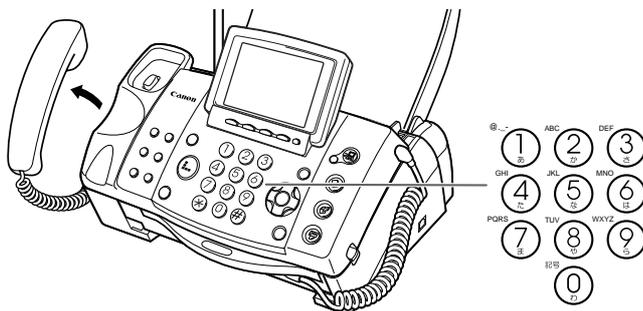
2 章 電話



電話をかける	2-2
電話を受ける	2-3
親機にかける・子機にかける（内線通話）	2-4
電話をかけ直す（リダイヤル）	2-5
話している相手をお待たせする（保留）	2-6
キャッチホンを受ける	2-6
子機を持たずに話をする（スピーカホン）	2-7
優先呼出を設定する	2-7
電話帳に登録する	2-8
電話帳ダイヤルで電話をかける	2-13
親機や子機に転送する（保留転送）	2-14
呼出音を設定する	2-15
子機の着信メロディを自分で作る	2-16
モーニングコールを使う	2-19
クイック通話を設定する	2-20

電話をかける

親機でかける



1 受話器を取る

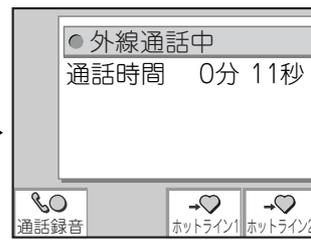
「ツー」という発信音を確認します。

2 ダイヤルして話す

話し終わったら受話器を戻します。



ダイヤルした番号



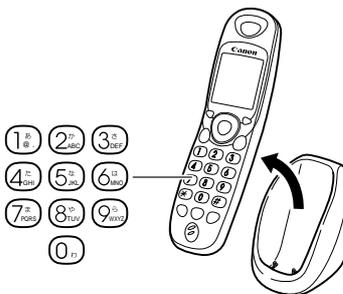
通話時間(目安)

メモ

通話を録音するには

通話中に を押し、すぐに会話の録音を開始します(通話録音)。 を押しと録音を終了します。録音件数は1件で録音時間は約40秒です。通話録音を聞くには、 を押します。消去するには、再生中に を押し、 を押します。

子機でかける



1 充電台から取る

充電台に置いていないときは を押します。「ツー」という発信音を確認します。

2 ダイヤルして話す

話し終わったら充電台に戻します。充電台に置かないときは を押します。

メモ

受話器や子機を取らずにかけるには

親機は オフフック を押してダイヤルするか、ダイヤルして オフフック を押します。相手が出たら受話器を取って話します。

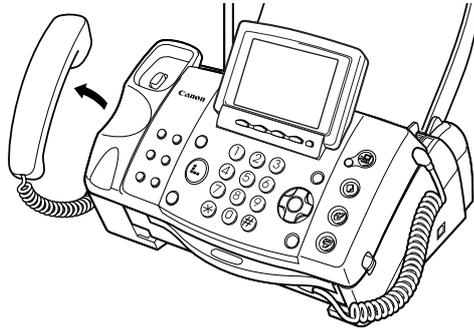
子機は を押してダイヤルするか、ダイヤルして を押します。相手が出たら充電台から取って話します。

ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するには

各種サービスにダイヤル後、 または を押します。詳しくは各種サービスの提供者にお問い合わせください。

電話を受ける

親機で受ける



1 呼出音が鳴ったら、受話器を取る

話し終わったら受話器を戻します。



メモ

かかってきた電話の着信日時を確認するには

着信履歴/キャッチ を押すと、着信履歴が表示されます。確認したい着信履歴を選んで 詳細 を押すと、着信日時を確認することができます。

ナンバー・ディスプレイを契約されている場合は、着信日時の他に相手の電話番号や名前も確認することができます。(別冊取扱説明書<電話サービス編> 1-2 ページ)

子機で受ける



1 呼出音が鳴ったら、充電台から取る

充電台に置いていないときは 外線 を押します。

話し終わったら充電台に戻します。

充電台に置かないときは 留守 を押します。



メモ

電話に出なかった場合は

電話に出なかった場合は、設定された時間 (4-6 ページ) だけ呼出音が鳴った後、電話がつながって相手に応答メッセージが流れます。詳しくは 4-4 ページをご覧ください。

準
備

電
話

留守
番電話

ファ
クス

コ
ピ
ー

ハン
ドス
キャ
ナ

ド
ア
ホ
ン

設
定

こ
ん
な
と
きは

参
考

親機にかける・子機にかける (内線通話)

親機と子機の間で通話ができます。

親 親機から呼び出す

- 1 保留/
内線  を押す
増設子機を登録している場合は、手順1の後に呼び出す子機の子機番号  ~  を押してください。
呼び出された子機の呼出音が鳴ります。
- 2 子機が応答したら、受話器を取って話す
- 3 終わったら、受話器を戻す

子機が応答しないときは

ストップ  を押すと呼び出しが止まります。

また、80秒間呼び出しても子機が応答しないと、自動的に呼び出しを中止します。

内線呼び出し中に外から電話がかかってきたら

内線呼び出しを自動的に中止し、外からの電話の呼出音が鳴ります。受話器を取ってお話してください。

内線通話中に外から電話がかかってきたら

受話器から呼出音が聞こえますので、いったん受話器を戻して内線通話を切ります。その後、もう一度受話器を取ってお話してください。

子機から呼び出されたら

受話器を取ってお話してください。

子 子機から呼び出す

- 1 充電台から取る
 が点滅します。
充電台に置いていないときは、手順3へ進んでください。
- 2  を押す
 が消灯します。
- 3  を押す
親機を呼び出します。
- 4 親機が応答したら、話す
- 5 終わったら、子機を充電台に戻す
 を押しても、電話を切ることができます。

親機が応答しないときは

 を押すと呼び出しが止まります。

また、80秒間呼び出しても親機が応答しないと、自動的に呼び出しを中止します。

内線呼び出し中に外から電話がかかってきたら

内線呼び出しを自動的に中止し、外からの電話の呼出音が鳴ります。充電台から取るか、 を押します。

内線通話中に外から電話がかかってきたら

受話器から呼出音が聞こえますので、親機に受話器を戻すように伝えます。

 が点滅したら、 を押します。

親機から呼び出されたら

充電台から取るか、 または  を押します。

メモ

増設子機を登録している場合、子機間での通話はできません。

電話をかけ直す (リダイヤル)

親機でかけ直す

最後にかけた番号にかけ直すことができます。

1 受話器を取る

2 リダイヤル
○ を押す

親機から最後にかけた電話番号がディスプレイに表示され、自動的にダイヤルします。

子機でかけ直す

過去5件までの番号 (発信番号履歴) にかけ直すことができます。

1 充電台から取る

 が点滅します。

充電台に置いていないときは、手順3へ進んでください。

2  を押す

 が消灯します。

3  を押す

子機から最後にかけた電話番号がディスプレイに表示されます。

4  を押し、かけ直したい番号を選ぶ

5  を押す

発信番号履歴(発信メモリ)を1件ずつ消去するには

- ① 手順4で消去する番号を表示させ、 を押す
- ②  を押し、「一件消去」を選び、 を押す
- ③  を押し、「はい」を選ぶ
- ④  を押す

発信番号履歴(発信メモリ)をすべて消去するには

- ① 手順4で  を押す
- ②  を押し、「全件消去」を選び、 を押す
- ③  を押し、「はい」を選ぶ
- ④  を押す

発信番号履歴(発信メモリ)の番号を電話帳に登録するには

- ① 手順4で登録する番号を表示させ、 を押す
- ② 「電話帳登録」を選び、 を押す
- ③ 子機の「電話帳に登録する」(2-11 ページ) の手順にしたがって、電話帳に登録する

 **メモ**

- 手順4でかけたい電話番号を表示させた後、「184」「186」などの番号 (特番ダイヤル) を押してから  を押すと、電話番号の前にその番号をつけて電話をかけることができます。
- 発信メモリは、親機と子機で別々に記録されます。

準備

電話

留守番電話

ファクス

コピー

ハンドスキャナ

ドアホン

設定

こんなときは

参考

話している相手をお待たせする (保留)

相手をお待たせする間、メロディを流すことができます。

親機で保留にする

- 1 通話中に  を押す
保留メロディが流れ、ディスプレイに「保留中」と表示されます。
受話器を戻しても電話は切れません。
- 2 再び相手と話すときは  を押す
受話器が戻してあるときは、受話器を取るとそのまま話せます。

親機で保留後、子機で話すには

保留中に受話器を戻した後、子機を充電台から取ります。充電台に置いていないときは、 を押します。

メモ

10分以上保留にしたままにすると、電話が自動的に切れます。

子機で保留にする

- 1 通話中に  を押す
保留メロディが流れます。
充電台に戻しても電話は切れません。
- 2 再び相手と話すときは  を押す
子機を充電台に戻してあるときは、充電台から取るとそのまま話せます。

子機で保留後、親機で話すには

保留中に子機を充電台に戻すか  を押した後、親機の受話器を取ります。

キャッチホンを受ける

通話中に別の人から着信があると呼出音が聞こえ、別の人との通話に切り替えられるようにするサービスがキャッチホンです。キャッチホンサービスを利用するには、あらかじめNTTとの契約が必要です。

親機で受ける

- 1 通話中キャッチホン信号が聞こえる
- 2  を押す
話していた相手は保留状態となり、後からかけてきた相手と通話できます。
- 3 もう一度  を押す
先に話していた相手と通話を続けることができます。

メモ

通話中にキャッチホンでファクスを受信すると、電話が切れて元の相手との通話に戻れなくなります。

子機で受ける

- 1 通話中キャッチホン信号が聞こえる
- 2  を押す
話していた相手は保留状態となり、後からかけてきた相手と通話できます。
- 3 もう一度  を押す
先に話していた相手と通話を続けることができます。

子機を持たずに話をする (スピーカホン)

子機を持たずに相手と話ができます。

電話をかける

- 1 スピーカホン を押す
- 2 ダイヤルして話す
送話口から 50cm 以内の距離で話してください。
- 3 終わったら、切 を押す

電話を受ける

- 1 呼出音が鳴ったら、スピーカホン を押す
- 2 話す
送話口から 50cm 以内の距離で話してください。
- 3 終わったら、切 を押す

メモ

スピーカホン を押して電話に出たとき、約3秒間はこちらの声が相手に聞こえにくい場合があります。

通常の通話中にスピーカホン通話に切り替えるには スピーカホン を押します。

スピーカホン通話中に通常の通話に切り替えるには充電台に置いてあるときは、充電台から取ります。充電台に置いていないときは スピーカホン を押します。

優先呼出を設定する

特定の子機や親機の呼出音を約20秒、先に鳴らすことができます。設定は親機で行います。
(お買い上げ時の設定は「しない」になっています。)

- 1 メニュー を押す
- 2 方向キー を押し、「着信設定」を選び、セット を押す
- 3 PQRS 7 を押し、「優先呼出」を選ぶ
 優先呼出
 する
 しない
優先機 親機
- 4 「する」を選び、セット を押す
- 5 方向キー を押し、「優先機」を選び、セット を押す
親機 子機1
- 6 方向キー を押し、先に呼出音を鳴らしたい子機や親機を選び、セット を押す
- 7 登録 を押す

準備

電話

留守番電話

ファクス

コピー

ハンズスキャナ

ドアホン

設定

こんなときは

参考

電話帳に登録する

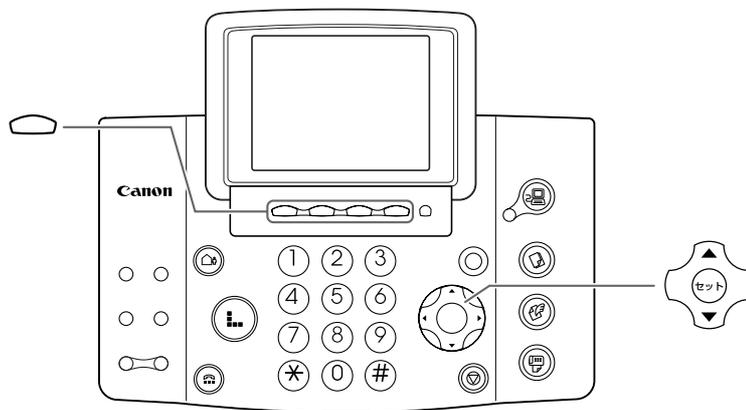
よく利用される電話番号などは、前もって電話帳に登録しておくくと便利です。

親機に登録する

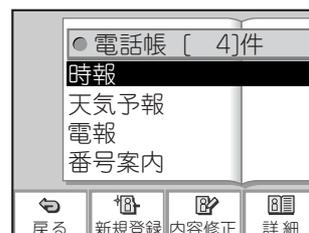
最大 100 件まで登録できます。

文字の入力のしかたは 1-28

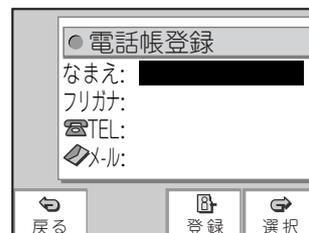
ページをご覧ください。



1  を押す



2  を押す

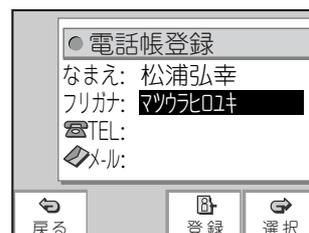


3 「なまえ」を選び、 を押す

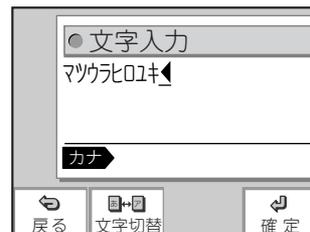


4 名前を入力し終わったら、もう一度  を押す

全角で最大 6 文字、半角で最大 12 文字まで入力できます。
あらかじめ名前を入力した文字のフリガナが入力されます。修正する
必要がないときは、 を押し、手順 7 に進みます。

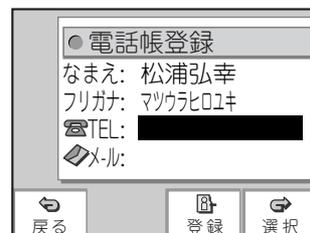


5 「フリガナ」を選び、を押す

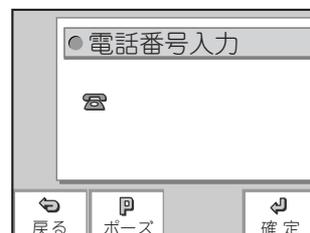


6 フリガナを入力し終わったら、もう一度 を押す

半角で最大12文字まで入力できます。



7 「TEL」を選び、を押す

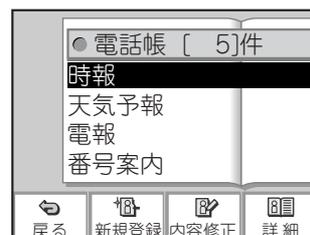


8 電話番号を入力し終わったら、を押す

最大23桁まで入力できます。市外局番から入力してください。



9 を押す



10 を押す

電話帳を修正するには

-  を押し、修正する相手を選び、 を押す
-  を押し、修正する項目を選び、 を押す
- 修正が終わったら、 を押す
- 他に修正する項目がある場合は、手順2～3を繰り返す
-  を押す

電話帳に登録する (つづき)

電話帳を消去するには

- 1  を押し、消去する相手を選び、 を押す
- 2  を押す
消去しない場合は、 を押してください。

電話帳にメールアドレスに登録するには

手順8の後で、 を押してからメールアドレスを入力します。終わったら、もう一度  を押してください。メールアドレスについては、別冊取扱説明書<電話サービス編>をご覧ください。

電話帳の登録内容を確認するには

 を押して、確認する相手を選び、 を押します。

メモ

- 間違い電話や誤送信を防ぐため、番号は正確に入力してください。
- お買い上げ時には、あらかじめ4カ所の相手先(時報、天気予報、電報、番号案内)が登録されています(電話帳プリセット)。電話帳プリセットは修正/消去することもできます。
- すでに電話帳に登録されている電話番号の桁数によっては、メモリ容量の関係で電話番号が23桁まで入力できない場合があります。
- 手順4で名前を入力途中で  を押すと「入力文字は消えます よろしいですか?」と表示されます。 を押すと電話帳登録画面に戻ります。

「メモリがありません」と表示された場合は

すでに電話帳が100件登録されています。不要な電話帳を消去してください。

電話がつながりにくい場合は

ポーズが必要なところで  を押します。1回ごとに約1秒の待ち時間が入ります(6回まで入力することができます)。国際電話などで電話がつながりにくいとき、外線発信番号やご利用になる電話会社の回線番号と電話番号の間にポーズを入れるとつながりやすくなります。

海外の電話番号を入力するには

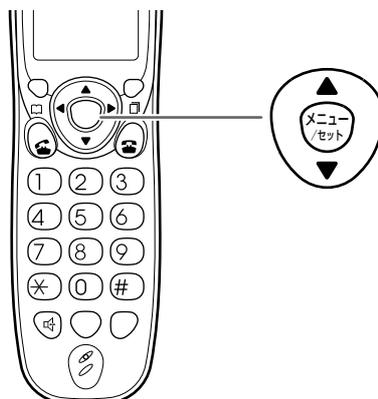
「マイライン」「マイラインプラス」の登録状況で電話番号の入力のしかたが異なります。

登録しているとき：「010」+ (国番号) + (相手国内番号)

登録していないとき：(ご利用になる電話会社の回線選択番号) + 「010」+ (国番号) + (相手国内番号)

子機に登録する

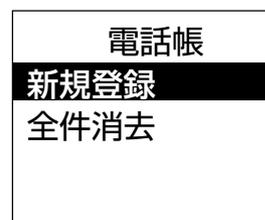
最大 100 件まで登録できます。
文字の入力のしかたは 1-36 ページ
をご覧ください。



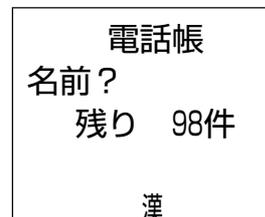
が消灯している状態で操作してください。

1 を押す

2 を押し、「電話帳」を選び、 を押す

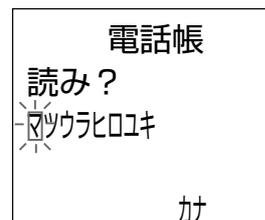


3 「新規登録」を選び、 を押す



4 名前を入力し終わったら、もう一度 を押す

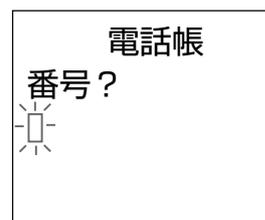
全角で最大 8 文字、半角で最大 16 文字まで入力できます。



5 よみがなを入力し終わったら、 を押す

あらかじめ名前で入力した文字のよみがなが入力されています。修正する必要がないときは、 を押してください。

半角で最大 16 文字まで入力できます。



6 電話番号を入力し終わったら、 を押す

最大 20 桁まで入力できます。市外局番から入力してください。

電話帳に登録する（つづき）

電話帳を修正するには

- 1  を押し、修正する相手を選び、 を押す
- 2  を押す
- 3 手順4～6にしたがって、項目を修正する

電話帳を消去するには

- 1  を押し、消去する相手を選び、 を押す
- 2  を押し、「一件消去」を選び、 を押す
- 3  を押し、「はい」を選び、 を押す
消去しない場合は、「いいえ」を選び、 を押してください。

電話帳をすべて消去するには(全件消去)

- 1  を押す
- 2  を押し、「電話帳」を選び、 を押す
- 3  を押し、「全件消去」を選び、 を押す
- 4  を押し、「はい」を選び、 を押す
消去しない場合は、「いいえ」を選び、 を押してください。

メモ

- 間違い電話や誤送信を防ぐため、番号は正確に入力してください。
- お買い上げ時には、あらかじめ2カ所の相手先（時報、天気予報）が登録されています（電話帳プリセット）。電話帳プリセットは修正／消去することもできます。
- 操作中に親機が使用されると、操作が強制終了されることがあります。

「登録が一杯です」と表示された場合は
すでに電話帳が100件登録されています。不要な電話帳を消去してください。

電話がつながりにくい場合は
ポーズが必要なところで  を押します。1回ごとに約1秒の待ち時間が入ります。国際電話などで電話がつながりにくいとき、外線発信番号やご利用になる電話会社の回線番号と電話番号の間にポーズを入れるとつながりやすくなります。

海外の電話番号を入力するには
「マイライン」「マイラインプラス」の登録状況で電話番号の入力のしかたが異なります。
登録しているとき：「010」+（国番号）+（相手国内番号）
登録していないとき：（ご利用になる電話会社の回線選択番号）+「010」+（国番号）+（相手国内番号）

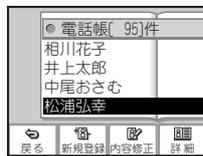
電話帳ダイヤルで電話をかける

あらかじめ親機や子機に登録しておいた相手先に、簡単に電話をかけることができます。

親機でかける

1 設定ボタンを押して、かけたい相手先名を選ぶ

相手先名は、フリガナの50音順→アルファベット順→数字順→記号順に並んでいます。



2 受話器を取る

表示している電話番号を自動的にダイヤルします。



相手先をすばやく探すには

設定ボタンを押して電話帳を表示させてからダイヤルボタンを押すと、ボタンに刻印された「行」に登録されている最初の相手先名が表示されます。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| ① あ行 | ⑤ な行 | ⑨ ろ行 |
| ② か行 | ⑥ は行 | ⑩ わ行 |
| ③ さ行 | ⑦ ま行 | |
| ④ た行 | ⑧ や行 | |

選んだ「行」に該当する相手先が登録されていないときは、「ピピピ」と音が鳴ります。

操作を間違えたときは

ストップボタンを押して、操作をやり直してください。

子機でかける

1 充電台から取る

充電台に置いていないときは、手順3へ進んでください。

2 外部ディスプレイボタンを押す

外部ディスプレイランプが消灯します。

3 設定ボタンを押して、かけたい相手先名を選ぶ



4 外部ディスプレイボタンを押す

表示している電話番号を自動的にダイヤルします。



相手先をすばやく探すには

外部ディスプレイボタンを短く押してからダイヤルボタンを押して、よみがなの最初の文字を入力します。その後、設定ボタンを押すと、よみがなに該当する相手先名が表示されます。該当する相手先が登録されていないときは、目的の相手先に50音順で近い名前が表示されます。

操作を間違えたときは

外部ディスプレイボタンを押して、操作をやり直してください。

メモ

手順3でかけたい電話番号を表示させた後、「184」「186」などの番号（特番ダイヤル）を押してから外部ディスプレイボタンを押すと、電話番号の前にその番号をつけて電話をかけることができます。

準備

電話

留守番電話

ファクス

コピー

ハンズスキャナ

ドアホン

設定

こんなときは

参考

親機や子機に転送する (保留転送)

電話を親機から子機へ、子機から親機へ転送することができます。

親機から転送する

- 1 通話中に  を押す**
外線の相手には、保留音が流れます。
- 2 子機番号  を押す**
増設子機を登録している場合は、呼び出す子機の子機番号  ~  を押してください。
呼び出された子機の呼出音が鳴ります。
- 3 子機と話をする**
内線通話で、外線を転送することを伝えます。
- 4 受話器を戻す**
子機と外線がつながります。

子機の応答がないときは

もう一度  を押すと、呼び出しを中止し、再び外線の相手と通話することができます。

子機から転送する

親機に転送する

- 1 通話中に  を押す**
外線の相手には、保留音が流れ、親機の呼出音が鳴ります。
- 2 親機と話をする**
内線通話で、外線を転送することを伝えます。
- 3 充電台に戻すか、 を押す**
親機と外線がつながります。

親機の応答がないときは

 を押し、呼び出しを中止します。その後、 を押すと、再び外線の相手と通話することができます。

 **メモ**
増設子機を登録している場合、子機間での転送はできません。

呼出音を設定する

親機を設定する

親機の呼出音を変えることができます。
(お買い上げ時の設定は「ブランデンブルグ協奏曲」になっています。)

- 1 を押す
- 2 を押し、「着信設定」を選び、 を押す
- 3 を押し、「着メロ設定」を選ぶ
 - 着メロ設定
 - する
 - しない
- 4 「する」を選び、 を押す
- 5 を押す
現在、設定している呼出音が表示されます。
- 6 を押す
呼出音一覧が表示されます。
- 7 を押し、呼出音を選び、 を押す
呼出音については、下記の表をご覧ください。

呼出音	
ベル音 1	森のくまさん
ベル音 2	赤鼻のトナカイ
ベル音 3	ダウンロードした着信メロディ 1*
ブランデンブルグ協奏曲	ダウンロードした着信メロディ 2*
くるみ割り人形	ダウンロードした着信メロディ 3*
クレオパトラの夢	

* Lモードからメロディを3曲までダウンロードできます。(別冊取扱説明書<電話サービス編>2-30ページ)ダウンロードした曲が登録されていない場合は、「未登録」と表示されます。

呼出音を再生するには

手順5の後、 を押します。再生を止めるには、 を押してください。

メモ

- 登録されているダウンロードした着信メロディのみを消去することができます。(別冊取扱説明書<電話サービス編>2-30ページ)
- NTTのナンバー・ディスプレイ(有料)を契約している場合は、かけてきた相手によって呼出音を変えることができます。(別冊取扱説明書<電話サービス編>1-3ページ)

子機を設定する

子機の呼出音を変えることができます。
(お買い上げ時の設定は「ベル」になっています。)

が消灯している状態で操作してください。

- 1 を押す
- 2 を押し、「音の設定」を選び、 を押す
- 3 「呼出音選択」を選び、 を押す
 - 呼出音選択
 - ▲前の音
 - ▼次の音
- 4 を押し、呼出音を選び、 を押す
呼出音については、下記の表をご覧ください。

呼出音
ベル
華麗なる大円舞曲
ラデツキー行進曲
春
ユーモレスク
森のくまさん
メロディ 1 (自作着信メロディを登録している場合)
メロディ 2 (自作着信メロディを登録している場合)

子機の着信メロディを自分で作る

子機の着信メロディを自分で作ることができます。最大 127 音まで登録できます。
登録後、呼出音の設定を行ってください。(2-15 ページ)

 が消灯している状態で操作してください。

1  を押す

2  を押し、「自作メロディ」を選び、 を押す

3  を押し、登録する場所を選び、 を押す

4  を押し、テンポを選び、 を押す

5  ~  を押し、音階または休符を入力する (2-17 ページ)
すでに登録されているメロディを消去する場合は、 を 2 秒以上押し続けてください。

6  を押し、音符または休符の長さを入力する (2-17 ページ)

7  を押し、次の音符を入力する
手順 **5** ~ **7** を繰り返して、メロディを入力します。

8 終わったら、 を押す

自作メロディ
メロディ1
メロディ2

テンポ調整
速い
やや速い
やや遅い

自作メロディ
▶1:

自作メロディ
▶1:ド 4

自作メロディ
▶1:ド 8

自作メロディ
1:ド 8
▶2:

入力を修正するには

 を押し、間違えた音番号を選び、 を押し、入力し直します。

音符・休符を挿入するには

 を押し、挿入したい位置の 1 つ後ろの音番号を選び、音符または休符を入力します。

メロディを確認しながらテンポを変えるには

音符・休符を入力しているときに  を押します。すでに入力済みのところまで再生されます。聞きながら、 を押し、テンポを変えることができます。テンポには「速い」「やや速い」「やや遅い」「遅い」の 4 種類があります。再生が終わると、音符・休符の入力画面に戻ります。

メモ

- 自分で作ることができる着信メロディは、2 曲までです。
- 着信メロディに自分で曲名をつけることはできません。
- 着信メロディは、作成した子機のみで使うことができます。親機や別の子機で使ったり聞いたりすることはできません。

音階・休符入力表

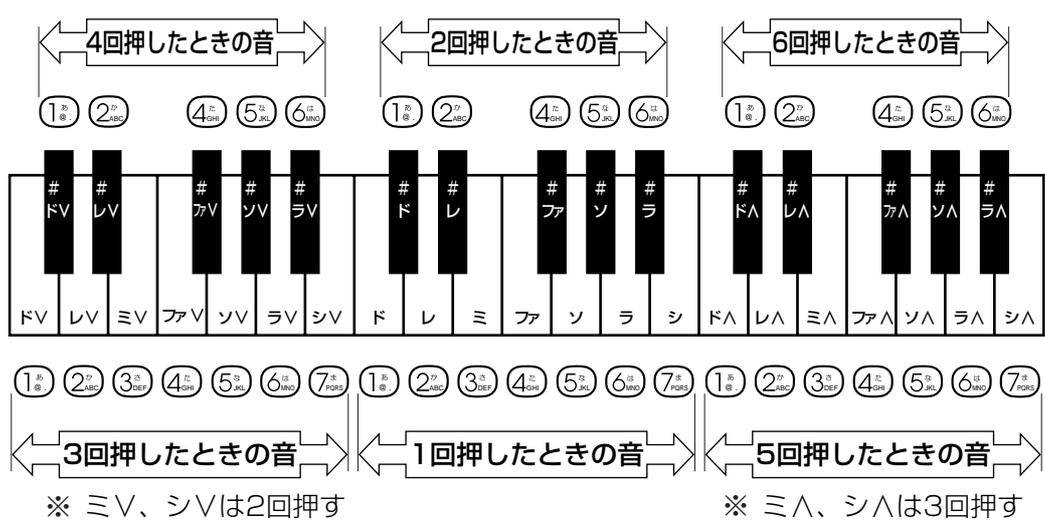
ボタンを押すごとに音階が変わります。

ボタン	押した回数					
	1回	2回	3回	4回	5回	6回
1 ^ド	ド	ド#	ドV	ド#V	ドハ	ド#ハ
2 ^レ	レ	レ#	レV	レ#V	レハ	レ#ハ
3 ^ミ	ミ	ミV	ミハ	以降は繰り返す		
4 ^{ファ}	ファ	ファ#	ファV	ファ#V	ファハ	ファ#ハ
5 ^ソ	ソ	ソ#	ソV	ソ#V	ソハ	ソ#ハ
6 ^ラ	ラ	ラ#	ラV	ラ#V	ラハ	ラ#ハ
7 ^シ	シ	シV	シハ	以降は繰り返す		
0 ^{休符}	休符					

音符・休符長さ入力表

ボタン	押した回数				
	0回	1回	2回	3回	4回
⊗	4分音(休符)	8分	16分	全	2分
表示	4	8	16	全	2

鍵盤による音階範囲と入力ボタンの割り当てについて



子機の着信メロディを自分で作る (つづき)

メロディの入力例---「きらきら星」を入力してみましょう

2-16 ページの手順 4 の後、以下の操作をします。

<p>1 音番号 1 で (1^あ) を 1 回押す (1^あ) を 1 回押すと、4分音符「ド」が入力されます。音符の長さを指定しないときは、自動的に4分音符 (1 / 4) が入力されます。詳しくは、音階・休符入力表や音符・休符長さ入力表をご覧ください。(2-17 ページ)</p>	<table border="1"> <tr><td>自作メロディ</td></tr> <tr><td>▶1:ド 4</td></tr> </table>	自作メロディ	▶1:ド 4	<p>4 (V) を押し、音番号 3 を表示し、(5^え) を 1 回押す 4分音符「ソ」が入力されます。</p>	<table border="1"> <tr><td>自作メロディ</td></tr> <tr><td>1:ド 4</td></tr> <tr><td>2:ド 4</td></tr> <tr><td>▶3:ソ 4</td></tr> </table>	自作メロディ	1:ド 4	2:ド 4	▶3:ソ 4
自作メロディ									
▶1:ド 4									
自作メロディ									
1:ド 4									
2:ド 4									
▶3:ソ 4									
<p>2 (V) を押し、音番号 2 を表示する</p>	<table border="1"> <tr><td>自作メロディ</td></tr> <tr><td>1:ド 4</td></tr> <tr><td>▶2:</td></tr> </table>	自作メロディ	1:ド 4	▶2:	<p>5 音番号 4 ~ 15 を下記の入力例にしたがって入力する</p>				
自作メロディ									
1:ド 4									
▶2:									
<p>3 (1^あ) を 1 回押す 4分音符「ド」が入力されます。</p>	<table border="1"> <tr><td>自作メロディ</td></tr> <tr><td>1:ド 4</td></tr> <tr><td>▶2:ド 4</td></tr> </table>	自作メロディ	1:ド 4	▶2:ド 4	<p>6 (メニュー/セット) を押す 「ピーツ」と鳴って、自作メロディが登録されます。</p>				
自作メロディ									
1:ド 4									
▶2:ド 4									

メロディの入力例：「きらきら星」

テンポ=やや遅い (2-16 ページの手順 4 で、「やや遅い」を選びます。)

音番号	1	2	3	4	5	6	7	8
入力するダイヤルボタン	(1 ^あ) (V) (1 ^あ)		(V) (5 ^え) (V) (5 ^え)		(V) (6 ^は) (V) (6 ^は)		(V) (5 ^え) (V) (5 ^え)	
音番号	9	10	11	12	13	14	15	
入力するダイヤルボタン	(V) (4 ^た) (V) (4 ^た)		(V) (3 ^せ) (V) (3 ^せ)		(V) (2 ^か) (V) (2 ^か)		(V) (1 ^あ) (メニュー/セット) x4 (メニュー/セット) を4回押します。	

モーニングコールを使う

子機を目覚まし時計として使うことができます。

モーニングコールの時刻を設定する

メロディを鳴らす時刻を設定します。

 が消灯している状態で操作してください。

- 1  を押す
- 2  を押し、「モーニングコール」を選び、 を押す

モーニングコール
時刻登録
設定
メロディ選択
- 3 「時刻登録」を選び、 を押す

モーニングコール
00:00
- 4  ~  を押し、時刻を入力する
1桁の数字は0から入力します。
24時間制で入力します。

モーニングコール
08:00
- 5  を押す

メモ

- 子機の時刻が設定（1-41ページ）されていないと、モーニングコールは使えません。
- 子機の時刻を再設定した場合は、モーニングコールの時刻も再設定してください。

モーニングコールをセットする

設定した時刻にメロディを鳴らします。

 が消灯している状態で操作してください。

- 1  を押す
- 2  を押し、「モーニングコール」を選び、 を押す

モーニングコール
時刻登録
設定
メロディ選択
- 3  を押し、「設定」を選び、 を押す

モーニングコール
選択してください
ON 8:00
OFF
- 4  を押し、「ON」を選ぶ

モーニングコール
選択してください
ON 8:00
OFF
- 5  を押す
ディスプレイに「」が表示されます。

設定を解除するには

手順4で「OFF」を選びます。

鳴っているメロディを止めるには

-  を押します。設定そのものは解除されません。
- 設定した時刻に子機を使用している場合は、モーニングコールは動作しません。

メロディを変えるには

手順3で、 を押し、「メロディ選択」を選び、 を押します。その後、 を押し、目覚ましに使用したいメロディを選び、 を押してください。

呼出音
華麗なる大円舞曲
ラデツキー行進曲
春
ユーモレスク
森のくまさん
メロディ1（自作着信メロディを登録している場合）
メロディ2（自作着信メロディを登録している場合）

クイック通話を設定する

子機を充電台から取るとすぐに外線につながる機能を設定します。

(お買い上げ時の設定は「ON」になっています。)

 が消灯している状態で操作してください。

1  を押す

2  を押し、「その他」を選び、 を押す

その他
使用者表示
クイック通話

3  を押し、「クイック通話」を選び、 を押す

クイック通話 選択してください
ON
OFF

4  を押し、設定を選び、 を押す

「ピーツ」と鳴って、クイック通話が設定されます。

メモ

「OFF」に設定すると、子機を充電台から取っても通話状態になりません。電話をかけたり受けたりするときは、充電台に置いていないときと同じように、 を押してください。

3 章 留守番電話

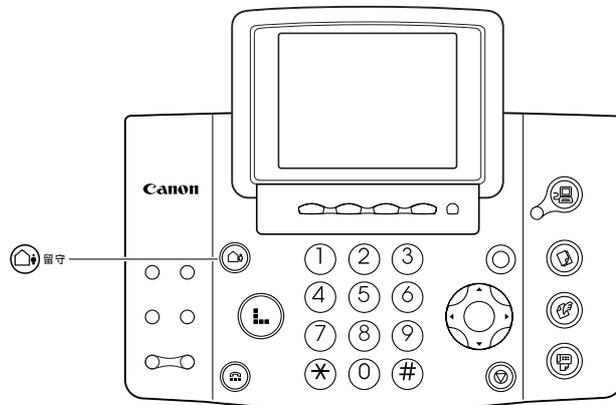


留守モードを使う	3-2
用件を再生する	3-4
おやすみモードを使う	3-5
おやすみタイマーを設定する	3-5
自作応答メッセージを録音する	3-6
外出先から操作する（外線リモート操作）	3-7
子機から操作する（内線リモート操作）	3-8
リモート暗証番号を登録する	3-8
留守録転送を使う	3-9
トールセーバーを設定する	3-10
留守録保存を設定する	3-10

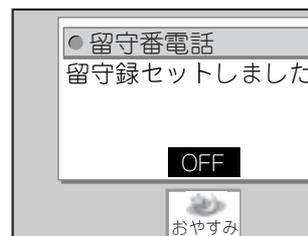
留守モードを使う

留守モードをセットする

外出したり電話に出られないときなどに、相手の用件を録音することができます。ファクスが送られてきた場合には、自動的に受信します。



1 を押す



留守モード中の動作について

留守モードにセットしているときに電話がかかってくると、呼出音が2回または5回鳴って（トールセーバーが「する」の場合）、相手に次のような応答メッセージが流れます。

「ただいま留守にしております。電話の方はピーという音の後にお名前とご用件をお話してください。ファクシミリをご利用の方は送信してください。」

その後、本機が自動的に相手の用件を録音したり、ファクスを受信します。用件録音中は相手の声がスピーカから聞こえます。ファクスが送信されてきたときは自動的に受信します。

録音件数と録音時間について

- 録音件数は、最大30件、合計で約20分録音できます。
- 留守モードにセットして次のようなメッセージが流れるときは、不要な用件やファクスを消去してください。
 - ・「メモリがもうすぐいっぱいです。不要なメッセージ、ファクスを消去してください。」（残り件数3件以下または、残り時間約6分以下になったとき）
 - ・「メモリがいっぱいです。不要なメッセージ、ファクスを消去してください。」（残り件数が残り時間がなく、用件を録音できないとき）

メモリがいっぱいのときは

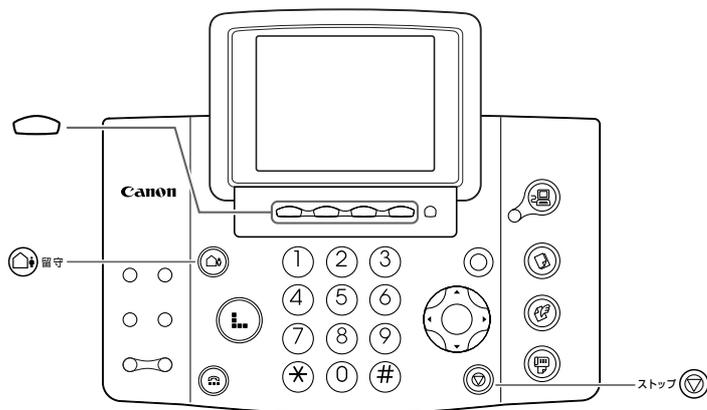
メモリが足りなくて用件の録音やファクスの受信ができないときは、応答メッセージが自動的に切り替わります。

- ファクスの受信ができない場合のメッセージ

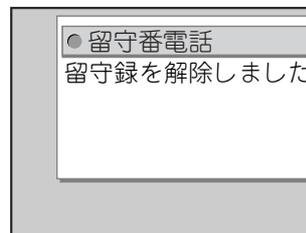
「ただいま留守にしております。電話の方はピーという音の後にお名前とご用件をお話してください。ファクシミリをご利用の方は、恐れ入りますが後ほどおかけ直してください。」
- 用件の録音もファクスの受信もできない場合のメッセージ

「ただいま留守にしております。恐れ入りますが後ほどおかけ直してください。」

留守モードを解除する



1 を押す



留守モード中に新しい用件があった場合は

 が点滅し、ディスプレイには下記の画面が表示されます。留守モードを解除すると自動的に新しい用件が再生されます。



	次の用件を再生します。
	現在再生中の用件を最初から再生し直します。
	前の用件を再生します。  を押した回数だけ前の用件に戻って聞くことができます。
ストップ 	再生を途中でやめます。

留守モード中に新しい用件がなかった場合は

留守モードを解除したときに、「新しい留守録はありません。」と音声ガイダンスが流れます。

メモ

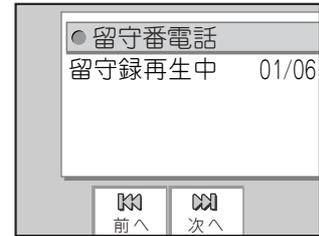
ディスプレイに表示される  X件 は、すでに再生済みの用件も含めてメモリに残っているすべての用件数を示しています。

用件を再生する

録音されているすべての用件を、古いものから順に再生します。

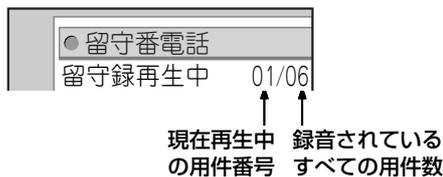
1 再生 を押す

用件が古いものから順に再生されます。



「留守モード解除」と「再生」の違い

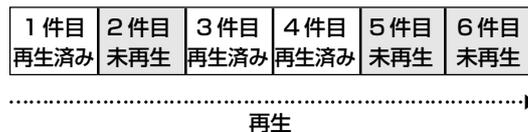
 を押すと、すべての用件が再生されます。これに対して留守モードを解除した場合は、未再生の用件のみが再生されます。用件を再生中、ディスプレイの表示は次のようになります。



例) すでに4件の用件があり、そのうちの2件目が未再生だとします。この状態で留守モードをセットした後、さらに2件の用件の録音があった場合、留守モードを解除すると「2件目」→「5件目」→「6件目」の順で再生されます。



例) 6件の用件があり、そのうちの3件が未再生だとします。この状態で  を押すと、1件目から6件目までのすべての用件が再生されます。



用件再生中の操作

再生中に次のボタンを押すと、前後の用件を再生することができます。

	次の用件を再生します。
	現在再生中の用件を最初から再生し直します。
 	前の用件を再生します。  を押した回数だけ前の用件に戻って聞くことができます。
ストップ 	再生を途中でやめます。

聞き終わった用件を消去するには

消去したい用件が再生されているときに  を押します。

ディスプレイに「消去しますか?」と表示されますので、 を押してください。消去したくない場合は、ここで  を押してください。

すべての用件を消去したい場合は、「メモリに記憶されている内容を一括消去する」(8-8ページ)をご覧ください。

メモ

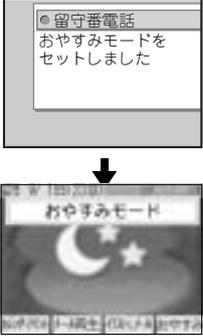
- 留守モードを解除した後に  が2回ずつ点滅する場合は、未再生の用件が残っています。
- 通話録音がある場合は、通話録音を再生した後に用件が再生されます。

おやすみモードを使う

電話がかかってきても呼出音を鳴らさずに留守応答します。呼出音で起こされたくない場合などに便利です。親機でのみ操作できます。

おやすみモードをセットする

1 を押す
留守が点灯し、ディスプレイが右のように切り替わります。



おやすみモードを解除する

おやすみモード・留守モードともに解除するには

1 を押す
留守が消灯します。留守が点滅していたときは、未再生の用件が再生されます。

おやすみモードのみ解除するには

1 を押す
「おやすみモードを解除しました」と表示され、通常の留守モードになります。

メモ

- おやすみモードにセットしているときは、留守録転送できません。留守録転送したい場合は、留守モードにセットしてください。(3-9 ページ)
- おやすみモードにセットしているときは、電話やファクスの呼出音や応答メッセージ、相手の声は聞こえません。
- を押し、応答メッセージが流れている間に、 を押し、おやすみモードのセット (ON) / 解除 (OFF) をすることもできます。

おやすみモード中にファクスを受信したときは
記録用紙がセットされていてもプリントされません。 が点滅しているときは、「メモリに記憶されているファクスをディスプレイで確認/プリントする」(4-7 ページ) の手順にしたがってプリントしてください。

おやすみタイマーを設定する

おやすみタイマーを設定すると、毎日決まった時間におやすみモードになり、終了時間になると解除されます。(お買い上げ時の設定は「しない」になっています。)

1 を押す

2 を押し、「留守番電話」を選び、 を押す

3 を押し、「おやすみタイマー設定」を選ぶ

4 「する」を選び、 を押す

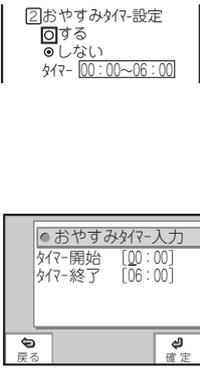
5 を押し、「タイマー」を選び、 を押す

6 ~ を押し、開始時刻を入力する
1桁の数字は0から入力します。時刻は24時間制で入力します。

7 を押し、 ~ を押し、終了時刻を入力する
1桁の数字は0から入力します。時刻は24時間制で入力します。

8 を押す

9 を押す



おやすみタイマーをやめるには
手順4で、 を押し、「しない」を選び、 を押します。

おやすみタイマーの時刻を変えるには
手順6で、 を押し、変更したい数字にカーソルを合わせ、入力し直します。

自作応答メッセージを録音する

留守モードをセットした場合に、自分の声で応答メッセージを流すことができます。

<p>1 を押す</p> <p>2 を押し、「留守番電話」を選び、 を押す</p> <p>3 を押し、「応答メッセージ録音」を選ぶ</p> <p>4 「する」を選び、 を押す</p> <p>5 を押す</p> <p>6 を押す</p>	<p>7 受話器を取る</p> <p>8 を押し、「ピーッ」という音の後に応答メッセージを受話器に向かって話す</p> <p>9 録音が終わったら を押す</p> <p>10 受話器を戻して、 を押し、操作を終了する</p>
--	--

① 応答メッセージ録音
② する
③ しない

戻る 録音 再生 消去

応答メッセージ録音
項目を選択して下さい

応答メッセージ録音
受話器を上げて下さい

応答メッセージ録音
録音開始ボタンを押して下さい

応答メッセージ録音
録音中 40秒
録音終了

応答メッセージ録音
録音が終わりました
受話器を置いて下さい

応答メッセージを切り替えるには

を押し、応答メッセージが再生されているときに を押し、自作応答メッセージ（自分で録音したメッセージ）と固定メッセージ（お買い上げ時にあらかじめ録音されているメッセージ）を切り替えることができます。

録音してある応答メッセージを確認するには

手順5の後、 を押します。

手順6で「入れ替えますか？」と表示されたときは

すでに自作応答メッセージが録音されています。新しいメッセージに変更したい場合は、 を押します。入れ替えをしない場合は、 を押してください。

録音してある応答メッセージを消去するには

手順5の後、 を押します。「消去しますか？」と表示されますので、 を押してください。消去しない場合は、 を押してください。

メモ

- 自作応答メッセージが3秒以内の場合は、手順9で「やり直して下さい」と表示されます。
- メモリ残量が少なくなると応答メッセージを切り替えることができなくなります。不要な用件やファクスなどを削除してください。(3-4、4-8、8-8 ページ)

外出先から操作する (外線リモート操作)

外出先から用件を聞いたり、留守モードをセットすることができます。外線リモート操作できるのはプッシュ回線の電話機か、トーン (プッシュ) 信号の出せる電話機からのみです。

1 外出先から自宅に電話をかける

2 応答メッセージが流れる

トールセーバー (3-10 ページ) が「する」に設定されている場合、応答メッセージが流れるまでの呼出音の回数で未再生の用件の有無が分かります。

2 回：未再生の用件があります。

5 回：未再生の用件はありません。

15 回 (約 45 秒)：留守モードにセットされていません。

3 応答メッセージが流れている間に [#] を押す トーン信号に切り替える電話機から操作するときは、 [#] を押す前にトーン信号に切り替えてください。

4 「暗証番号を入れてください。」というメッセージが流れる

お買い上げ時は「1234」に設定されています。独自の暗証番号を設定することをおすすめします。(3-8 ページ)

5 暗証番号 (4桁の数字) を入力する

「暗証番号が間違っています」というメッセージが流れるときは、正しい暗証番号を入力してください。2 回間違えると電話は切れます。

6 未再生の用件があるときは、「新しい留守録は〇〇件です。操作番号を入れてください。」というメッセージが流れる

ダイヤルボタンを押して操作番号を入力します。(右表参照)

7 終わったら、電話を切る

外線リモート操作でできること

外出時などには、10-13 ページのリモート操作早見表をご活用ください。

用件を聞く	[2] [#]
再生中にできること	
次の用件を聞く	[6]
再生中の用件を最初から聞く	[4]
ひとつ前の用件を聞く	[4] [4]
再生を途中で止める	[5] [#]
今聞いている用件を消去する	[0] [#]
再生速度を変える	[2] [#] (押すごとに変わります) 通常再生 → 早聞き → 遅聞き
留守モードセット/解除	[1] [#]
留守録転送のセット/解除	[7] [#]
すべての用件を消去する	[0] [0] [#]
通話録音を聞く	[3] [#]
通話録音の再生中にできること	
通話録音を最初から聞く	[4]
再生を途中で止める	[5] [#]
通話録音を消去する	[0] [#]
再生速度を変える	[2] [#] (押すごとに変わります) 通常再生 → 早聞き → 遅聞き
外線リモート操作終了	[9] [#]



メモ

- 自動車電話や携帯電話からは、正しく操作できないことがあります。
- 古い用件から順に再生します。

留守録転送をセットするときは

転送先の電話番号が登録されていない場合は、外線リモート操作で留守録転送をセットすることはできません。

準

備

電

話

留守
番
電
話

フ
ァ
ク
ス

コ
ピ
ー

ハ
ン
ド
ス
キ
ャ
ナ

ド
ア
ホ
ン

設

定

こ
ん
な
と
き
は

参

考

子機から操作する (内線リモート操作)

留守モードのセットや解除、用件の再生が子機からできます。

 が消灯している状態で操作してください。

留守モードをセット／解除する

1  を押す

2  を押し、「留守電操作」を選び、「留守電操作」を選び、「メニュー/セット」を押す

留守電操作
留守セット
用件再生

例：留守モードにセットされていない場合

セットするときは

3 「留守セット」を選び、「メニュー/セット」を押す
留守モードがセットされます。

4  を押す

解除するときは

3 「留守解除」を選び、「メニュー/セット」を押す
留守モードが解除されます。未再生の用件がある場合は、自動的に用件再生画面が表示されます。

4  を押す

用件を再生する

1 「留守モードをセット／解除する」の手順3で、 を押し、「用件再生」を選び、「メニュー/セット」を押す

用件再生
[1]戻る [3]進む
[クリア]消去

用件再生中にできること

	ひとつ前の用件を聞きます。
	次の用件を聞きます。
クリア/キャッチ 	今聞いている用件を消去します。

用件再生後にできること

クリア/キャッチ 	クリア/キャッチ 	すべての用件を消去します。
---	---	---------------

リモート暗証番号を登録する

外出先からリモート操作をするためには暗証番号(4桁の数字)の登録が必要です。

(お買い上げ時の設定は「1234」になっています。)

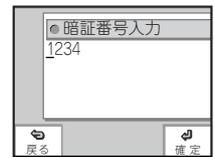
1  を押す

2  を押し、「留守番電話」を選び、「セット」を押す

3  を押し、「リモート暗証番号」を選ぶ

リモート暗証番号
No. [1234]

4  を押す



5  ~  を押し、暗証番号(4桁の数字)を入力し、「確定」を押す

リモート暗証番号のNo.の枠に暗証番号が入力されます。

6  を押す

暗証番号を変えるには

手順5で新しい暗証番号を入力し直します。

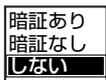
留守録転送を使う

留守モードにセットしてあるときに新しい用件が録音された場合、あらかじめ登録した電話番号に自動的にダイヤル（転送）することができます。転送先では、外線リモート操作で用件を聞くことができます。

留守録転送を設定する

親機でのみ操作できます。（お買い上げ時の設定は「しない」になっています。）

- 1 を押す
- 2 を押し、「留守番電話」を選び、 を押す
- 3 を押し、「留守録転送」を選び、 を押す
- 4 を押し、「留守録転送」の設定を選び、 を押す
「暗証あり」:留守録転送をします。暗証番号を入力しないと外線リモート操作ができません。
「暗証なし」:留守録転送をします。暗証番号を入力しなくても外線リモート操作ができます。
「しない」:留守録転送をしません。「しない」を選んだ場合は手順7へ進みます。
- 5 を押し、「TEL」を選び、 を押す
- 6 ~ を押し、転送先の電話番号を入力し、 を押す
転送先番号 TEL の枠に電話番号が入力されます。
- 7 を押す



メモ

最初の呼び出しは、新しい用件が録音されてから約1分後に行われます。

登録した電話番号を変えるには
手順6で を押して、番号を消去した後、新しい番号を入力します。

留守録転送をやめるには
手順4で「しない」を選びます。

留守モードをセットするときに留守録転送を ON / OFF するには

転送先の電話番号を登録していると、留守モードをセットするときに留守録転送を設定することができます。 を押し、応答メッセージが流れているときに、 を押します。押すごとに、「ON」「OFF」が切り替わります。

転送先から用件を聞く

- 1 転送先に電話がかかってくる
- 2 電話を受けると「こちらは留守番電話です。留守録を転送します。シャープ（#）を押ししてください。」というメッセージが流れる
- 3 を押す
トーン信号に切り替える電話機から操作するときは、 を押す前にトーン信号に切り替えてください。「暗証なし」に設定しているときは手順4、5の操作は必要ありません。
- 4 「暗証番号を入れてください。」というメッセージが流れる
お買い上げ時は「1234」に設定されています。
- 5 暗証番号（4桁の数字）を入力する
「暗証番号が間違っています。」というメッセージが流れるときは、正しい暗証番号を入力してください。2回間違えると電話は切れます。
- 6 「留守録を再生します。」というメッセージが流れる
新しい用件が再生されます。
- 7 「操作番号を入れてください。」というメッセージが流れる
外線リモート操作ができます。ダイヤルボタンを押して操作番号を入力します。操作番号については、3-7ページをご覧ください。
- 8 終わったら、電話を切る

メモ

留守録転送で用件を聞くことができるのは、プッシュ回線の電話機か、トーン（プッシュ）信号を出せる電話機からのみです。

転送ができなかった場合は
転送先が話し中のときや電話に出なかったときなど、転送ができなかったときは、2分間隔で、2回まで再転送します。それでも転送できなかったときや、手順5で暗証番号を2回間違えたときは、転送動作が解除されます。ただし、また新しい用件が録音された場合は、その都度転送先の電話番号に電話をかけます。

トールセーバーを設定する

トールセーバーを「する」に設定すると、留守モードにセットしてある場合、外出先から本機に電話をかけると、つながるまでの呼出音の回数で新しく録音された用件の有無が分かります。

(お買い上げ時の設定は「する」になっています。)

- 1 を押す
- 2 を押し、「留守番電話」を選び、 を押す
- 3 を押し、「トールセーバー」を選ぶ

「する」に設定	「しない」に設定
<ol style="list-style-type: none"> 4 「する」を選び、 を押す <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">トールセーバー</p> <p style="text-align: center;">○ する ○ しない</p> <p style="text-align: center;">呼出回数 02回</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> 4 を押し、「しない」を選び、 を押す <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">トールセーバー</p> <p style="text-align: center;">○ する ○ しない</p> <p style="text-align: center;">呼出回数 02回</p> </div>
<ol style="list-style-type: none"> 5 を押す 	<ol style="list-style-type: none"> 5 を押し、「呼出回数」を選び、 を押す <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">01 02 03 04 05 06</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 6 を押し、呼出回数を選び、 を押す <p style="margin-left: 20px;">1～15回の範囲で選べます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 7 を押す

メモ

トールセーバーが「する」に設定されている場合、2回呼出音が鳴って留守応答するときは、留守モードセット後に未再生の留守録があります。未再生の留守録がない場合は5回呼出音が鳴ってから応答します。3回目の呼出音が鳴った時点で新しい留守録がないことが確認できるので、そこで電話を切れば通話料はかかりません。

留守録保存を設定する

再生済みの用件をメモリに保存するかどうかを設定します。「しない」に設定すると、次回留守モードにセットする場合に再生済みの用件のみメモリから消去されます。

(お買い上げ時の設定は「する」になっています。)

- 1 を押す
- 2 を押し、「留守番電話」を選び、 を押す
- 3 を押し、「留守録保存」を選ぶ

留守録保存

○ する
○ しない

- 4 を押し、「留守録保存」の設定を選び、 を押す
- 5 を押す

メモ

メモリから消去された用件は、再度聞くことができませんのでご注意ください。

4 章 ファクス



ファクスを送信する	4-2
ファクスを受信する	4-4
メモリに記憶されている受信ファクスについて	4-7
ファクス受信同時プリントを設定する	4-9
らくらくファクス機能を設定する	4-9
ファクス情報サービスを利用する	4-10

ファクスを送信する



1 原稿ガイドを合わせる

原稿のサイズに合わせ、原稿入口の原稿幅の線に合わせてください。

2 原稿をセットする

記録用紙カバーユニットの手前にウラ向きに、先頭を下に向けてセットします。

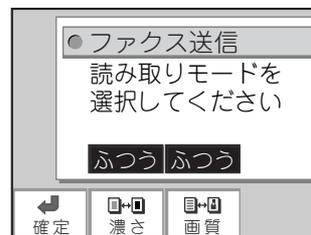
原稿ガイドが原稿の両端に軽く触れる程度に合っていることを確認してください。

3 を押す



4 読み取りモードを選び、 を押す

送信の濃度や画質を選べます。(4-3 ページ)



5 電話（ファクス）番号を入力する

6 を押す

相手につながると、すぐにファクスを送信します。



メモ

待機画面から  を押してファクス送信操作を始めることもできます。

途中でファクス送信をやめるには

ストップ(⏏)を押します。原稿が途中で止まっていたら取り除いてください。詳しくは、「つまった原稿を取り除くには」(9-7 ページ)をご覧ください。

ファクス送信の濃度を選ぶには

手順4で濃度(濃)を押して濃度を選びます。ボタンを押すごとに、「ふつう」「こく」「うすく」と切り替わります。

画質を選ぶには

手順4で画質(画)を押して画質を選びます。ボタンを押すごとに、次のように切り替わります。

[ふつう]	普通の文字の大きさ(本書の文字と同じくらいの大きさ)の原稿を送信するのに適しています。送信時間は[細かい]や[写真]よりも速くなります。
[細かい]	小さい文字の原稿を送信するのに適しています。
[写真]	写真のように濃淡のある原稿を送信するのに適しています。

相手と話してから送信するには

手順2の後、受話器を取ってダイヤルします。相手にファクスに切り替えてもらい、「ピー」という音が聞こえたら(電話機)を押してください。ファクスが送信されますので受話器を戻します。

電話帳の相手先にファクスを送信するには

手順5でダイヤルするかわりに電話帳(電話帳)を押します。その後、電話帳(電話帳)を押して、相手先を選び、電話機(電話機)を押してください。選んだ相手先の電話番号が表示されます。

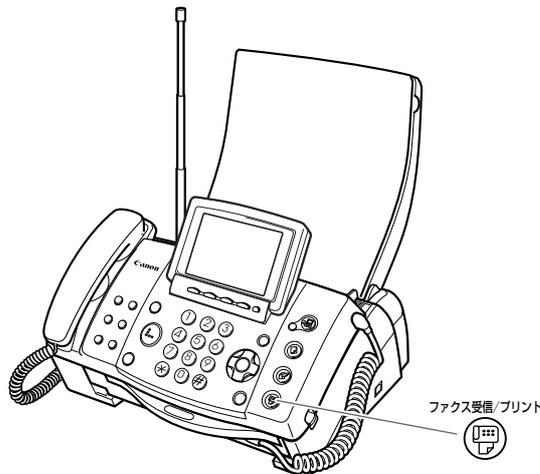
ファクス送信中のディスプレイ表示



ファクスを受信する

親機でも子機でも受信できます。

親機で受信する



らくらくファクス機能が「する」になっているとき

(お買い上げ時、らくらくファクス機能の設定は「する」になっています。)

電話に出たとき、相手がファクスであれば自動的に受信します。「ファクスを受信します。」のガイダンスの後で受話器を戻してください。

ファクス受信時、ディスプレイには次のような情報が表示されます。

受信中であることを表示



受信枚数 (例: 1 枚目)
送信側のファクスに送信者の電話番号が登録されている場合、その電話番号を表示

らくらくファクス機能が「しない」になっているときや相手と話をした後でファクスを受けるとき

- 1 相手がファクスを送ろうとするときに、を押す
ファクス受信が始まります。
- 2 受話器を戻す

メモ

- ファクスを受信しながらプリントするには、あらかじめ記録用紙をセット (1-21 ページ) してください。
- ファクスの受信が完了すると、受信したファクスの内容が約 60 秒間ディスプレイに表示されます。

電話に出ても、相手が無音の場合や、「ポー、ポー」というファクス呼出音が聞こえた場合は、を押して受信してください。

電話に出なかった場合は

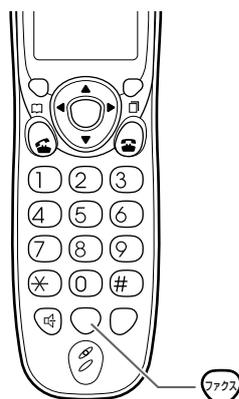
電話に出なかった場合は、設定された時間 (4-6 ページ) だけ呼出音が鳴った後、電話がつながって相手に応答メッセージが流れます。応答メッセージはメモリの残量に応じて、以下のいずれかが流れます。

- 用件の録音もファクス受信も可能なとき
「呼び出しましたが近くにありません。電話の方はピーという音の後にお名前とご用件をお話してください。ファクシミリをご利用の方は送信してください。」
- 用件の録音のみ可能なとき
「呼び出しましたが近くにありません。電話の方はピーという音の後にお名前とご用件をお話してください。ファクシミリをご利用の方は恐れ入りますが後ほどおかけ直してください。」
- 用件の録音もファクス受信もできないとき
「呼び出しましたが近くにありません。恐れ入りますが後ほどおかけ直してください。」

プリントされずに白紙が出る場合は

4-4 インクがなくなっている可能性があります。ノズルチェックパターンをプリントしてインクの状態を確認してください。(9-4 ページ)

子機で受信する



らくらくファクス機能が「する」になっているとき

(お買い上げ時、らくらくファクス機能の設定は「する」になっています。)

電話に出たとき、相手がファクスであれば自動的に受信します。「ファクスを受信します。」のガイダンスの後で子機を充電台に戻してください。

らくらくファクス機能が「しない」になっているときや相手と話をした後でファクスを受けるとき

- 1** 相手がファクスを送ろうとするときに、 を押す
親機でファクス受信が始まります。
- 2** 充電台に戻す

メモ

電話に出ても、相手が無音の場合や、「ポー、ポー」というファクス呼出音が聞こえた場合は相手が手動でファクスを送信しています。呼びかけて応答がないことを確認したうえで、 を押して受信してください。

ファクスを受信する (つづき)

ファクスの受信モードについて

ファクスの受信モードには、「TELモード」と「自動 (TEL/FAX) モード」があります。お買い上げ時の設定は「TELモード」になっています。

- **TELモード**: 電話がかかってくることが多い場合はこのモードに設定します。呼出音が鳴ったら、いったん電話に出てから、ファクスを受信します。
- **自動 (TEL/FAX) モード**: ファクスを受信することが多い場合はこのモードに設定します。自動 (TEL/FAX) モードにセットしてあるときは、呼出音が鳴らずに電話が自動的につながります (相手には通話料がかかります)。相手が自動でファクスを送信してきたときはそのまま受信します。相手が手動でファクスを送信してきたときや電話のときは、次のような応答メッセージが流れます。「電話の方はこのままお待ちください。ファクシミリをご利用の方は送信してください。」このとき、はじめに呼出音が鳴ります。

TELモードを選ぶ

- 1 を押す
- 2 を押し、「着信設定」を選び、 を押す
- 3 を押し、「FAX 受信動作」を選ぶ
 FAX受信動作
 TEL
 TEL/FAX
 呼出時間 45 秒
- 4 「TEL」を選び、 を押す
- 5 を押し、「呼出時間」を選び、 を押す
 15
25
35
45
55
65

お買い上げ時は45秒に設定されています。
15秒～65秒までの数値を10秒間隔で選べます。
- 6 を押し、設定したい秒数を選び、 を押す
電話がかかってきてから本機が留守応答するまでの秒間隔を設定します。
- 7 を押す

自動(TEL/FAX)モードを選ぶ

- 1 「TELモードを選ぶ」の手順1～3と同様の操作を行う
- 2 を押し、「TEL/FAX」を選び、 を押す
 FAX受信動作
 TEL
 TEL/FAX
 呼出時間 45 秒
- 3 を押し、「呼出時間」を選び、 を押す
 15
25
35
45
55
65

お買い上げ時は45秒に設定されています。
15秒～65秒までの数値を10秒間隔で選べます。
- 4 を押し、設定したい秒数を選び、 を押す
電話がかかってきてから本機が留守応答するまでの秒間隔を設定します。
- 5 を押し、「応答メッセージ」の設定を選び、 を押す
 呼出時間 45 秒
 応答メッセージ

 を押すたびに、チェックマーク がついたり消えたりします。
応答メッセージを流す場合は 、流さない場合は を選びます。
- 6 を押す

メモリに記憶されている受信ファクスについて

受信したファクスはすべてメモリに残っています。

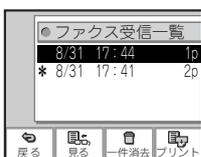
メモリに記憶されているファクスをディスプレイで確認／プリントする

ファクスは通常、受信しながらプリントします。ただし、記録用紙が途中でなくなった場合や、ファクス受信同時プリントの設定を「しない」(4-9 ページ) にしている場合に新しいファクスを受信したときは、プリントされずに  が点滅し、ディスプレイには下記の画面が表示されます。



ファクス受信/プリント

1  を押す
ファクス受信一覧が表示されます。



2  を押し、確認する
ファクスを選ぶ

プリントしていないファクスまたは受信内容をディスプレイで確認していないファクスには「*」マークがつきます。



ページ枚数
受信日時

3  を押す
ファクスの内容が表示されます。
 を押し、画面に表示されていない部分が確認できます。
2枚以上あるときは、 を押し



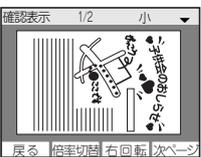
例：<小>に縮小したとき

受信した内容を拡大／縮小するときは 、回転するときは  を押し



例：<大>に拡大したとき

最大→小の順番で倍率が切り替わります。
 を押し、右へ90度ずつ回転します。
 を押し、画面に表示されていない部分が確認できます。



例：右へ90度回転したとき

プリントしないときは

4 確認が終わったら  を押す
ファクス受信一覧画面に戻ります。

プリントするときには

4 記録用紙をセットする (1-21 ページ)
5  を押す
プリントが始まります。プリントが終わると、「メモリに記憶されているファクスを消去する」(4-8 ページ) の手順1の画面となりますので、消去する場合は続けて操作してください。

途中でプリントをやめるには
ストップ  を押ししてください。

内容を確認したファクスが複数ページある場合は

「プリントするとき」の手順5で  と表示されます。全ページをプリントするときには 、表示されたページのみをプリントするときには  を押ししてください。

お願い

プリント操作は待機中（通話や用件再生などをしていないとき）に行ってください。

メモリに記憶されている受信ファクスについて (つづき)



メモ

- メモリには、当社 A4 標準原稿を 20 件約 40 枚まで記憶することができます。ただし、メモリに用件がある場合は、記憶できる枚数は少なくなります。
- 受信したファクスはプリントしてもメモリから消えません。特定のファクスを消去するときはこのページの「メモリに記憶されているファクスを消去する」を、すべてのファクスを消去するときは 8-8 ページをご覧ください。
- ディスプレイに表示される「ファクスを X 件受信」は、メモリに残っているすべての受信ファクス件数を示しています。
- ファクスの内容をディスプレイで確認する必要がない場合は、手順 2 の後、 を押すとすぐにプリントできます。
- 受信したファクスの倍率や回転角度をかってプリントしても、等倍、元の角度でプリントされます。
- ファクス受信一覧画面 (4-7 ページ) の「*」マークがついているファクスは、受信内容をすべてプリントするか、全ページをディスプレイで確認すると、「*」マークが消えます。
- 受信したファクスの長さが A4 サイズの縦より長い場合は、ファクスの内容の一部が画面に表示されないことがあります。

プリントされずに白紙が出る場合は

インクがなくなっている可能性があります。ノズルチェックパターンをプリントしてインクの状態を確認してください。(9-4 ページ)

メモリに記憶されているファクスを消去する

プリントしても受信したファクスはメモリに残っています。消去するには次の操作を行ってください。

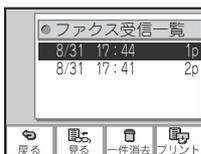
1

ファクス受信/プリント



を押す

ファクス受信一覧が表示されます。



2



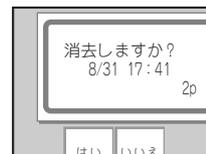
を押し、消去する

ファクスを選ぶ

3



を押す



4



を押す

選んだファクスが消去されます。

ファクス受信同時プリントを設定する

ファクス受信同時プリントを「しない」に設定すると、ファクスを受信したときに記録用紙がセットされていてもプリントされずにメモリに記憶されます。ファクスの内容をディスプレイで確認してから必要なものだけを選び、プリントすることができます。
(お買い上げ時の設定は「する」になっています。)

- 1 を押す
- 2 を押し、「着信設定」を選び、 を押す
- 3 を押し、「FAX 受信同時プリント」を選ぶ
- 4 を押し、「FAX 受信同時プリント」の設定を選び、 を押す
- 5 を押す

らくらくファクス機能を設定する

らくらくファクス機能を「する」に設定すると、電話に出たとき相手がファクスだった場合、自動的にファクスを受信します。
(お買い上げ時の設定は「する」になっています。)

- 1 を押す
- 2 を押し、「着信設定」を選び、 を押す
- 3 を押し、「らくらくFAX」を選ぶ
- 4 を押し、「らくらくFAX」の設定を選び、 を押す
- 5 を押す

メモ

通話中にファクス受信に切り替わってしまう場合は相手がファクスを送信していないのにファクス受信に切り替わってしまうなど、らくらくファクス機能が正常にはたらかない場合は、「しない」に設定してください。
「しない」に設定した場合、ファクスを受信するときは を押します。

準備電話

留守番電話

ファクス

コピー

ハンズスキャナ

ドアホン

設定

こんなときは

参考

ファクス情報サービスを利用する

各種の情報をファクスで取り出すことができます。詳しい操作方法については、サービス提供元により異なる場合がありますので、各サービス提供元にお問い合わせください。

1 受話器を取る

2 サービス提供元へダイヤルする

3 お使いの電話がダイヤル回線でご使用の場合は  (トーン) を押す
プッシュ回線のときはこの操作は必要ありません。

4 音声ガイダンスにしたがって操作する

ファクス受信/プリント
5  を押す
ファクス受信が始まります。

6 受話器を戻す

5 章 コピー



コピーをする	5-2
コピー範囲を設定する	5-4

コピーをする



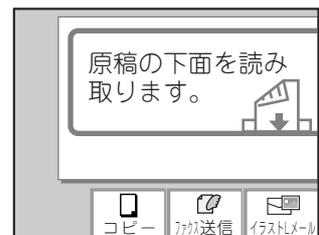
1 原稿ガイドを合わせる

原稿のサイズに合わせ、原稿入口の原稿幅の線に合わせてます。

2 原稿をセットする

記録用紙カバーユニットの手前にウラ向きに、先頭を下に向けてセットします。

原稿ガイドが原稿の両端に軽く触れる程度に合っていることを確認してください。



3 を押す



4 を押す

途中でコピーをやめるには

ストップ(⏏)を押します。原稿が途中で止まっているときは取り除いてください。詳しくは、「つまった原稿を取り除くには」(9-7 ページ)をご覧ください。



メモ

- 通話中はコピーできません。
- 親機ではコピー中に電話をかけることができます。
- コピー中に電話がかかってきた場合、子機は使用することができません。
- 待機画面から  を押してコピー操作を始めることもできます。

プリントされずに白紙が出る場合は

インクがなくなっている可能性があります。ノズルチェックパターンをプリントしてインクの状態を確認してください。(9-4 ページ)

コピー部数を指定するには

手順3の後に ① ~ ⑨ を押してコピー部数を入力します。白黒コピーでは最大99部まで設定できます。カラーコピーの設定は1部のみです。

コピーの濃度を選ぶには

手順3の後に [濃さ] を押して濃度を選びます。ボタンを押すごとに、「ふつう」「こく」「うすく」と切り替わります。

画質を選ぶには

手順3の後に [画質] を押して画質を選びます。ボタンを押すごとに、次のように切り替わります。

[白黒細かい]	文字の原稿をコピーするのに適しています。
[白黒写真]	写真のように濃淡のある原稿をコピーするのに適しています。
[カラー]	カラー原稿をコピーするのに適しています。



メモ

カラーBJカートリッジがセットされていない場合は、[カラー] は表示されません。

コピー中のディスプレイ表示



部数を2部以上に指定してコピーできない場合は

メモリがいっぱいになると、部数を2部以上に指定してコピーすることができなくなります。1部ずつ複数回に分けてコピーしてください。

原稿よりも記録用紙が小さい場合は

原稿がB4サイズで記録用紙がA4サイズの場合、自動的に縮小コピーされます（縮小コピー）。

ハガキサイズの記録用紙がセットされている場合は、ハガキサイズ分のみがコピーされます（部分コピー）。

カラーコピーについて

カラーコピーできる原稿サイズは、A4サイズまでです。B4サイズの原稿をカラーコピーした場合、記録用紙のサイズ分のみがコピーされます（部分コピー）。

コピー範囲を設定する

縦のコピー範囲を広く設定できます。ただし、この場合は記録用紙送りの精度が低下するため、記録用紙の下端部分が正常にプリントされないことがあります。

(お買い上げ時の設定は「普通」になっています。)

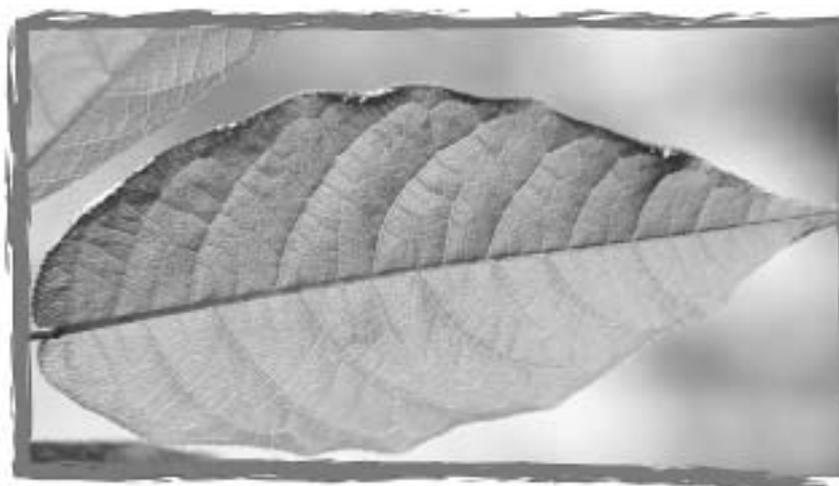
<p>1  を押す</p> <p>2  を押し、「初期設定」を選び、 を押す</p> <p>3  を押し、「縦のコピー範囲」を選ぶ</p>	<p>4  を押し、「縦のコピー範囲」の設定を選び、 を押す</p> <p>5  を押す</p>
--	---

縦の北⁺範囲
 普通
 広く

メモ

コピー範囲の下の余白は、「普通」で約 22mm、「広く」では約 3mm になります。(1-20 ページ)

6章 ハンドスキャナ



ハンドスキャナを使う 6-2

準
備

電
話

留守番電話

ファクス

コピー

ハンドスキャナ

ドアホン

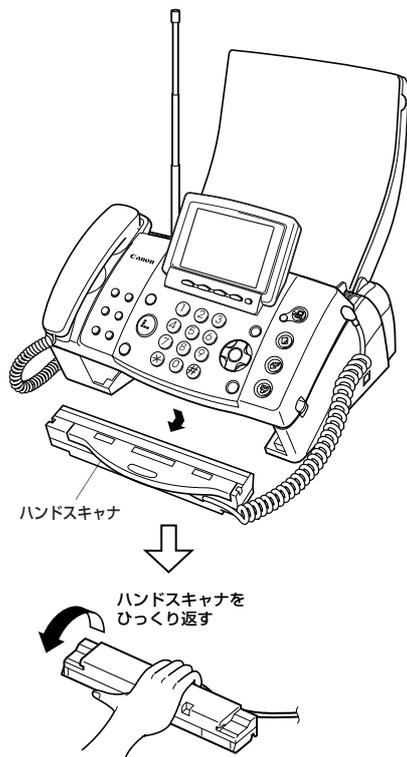
設
定

こんなときは

参
考

ハングスキャナを使う

ハングスキャナを取り外す



- 1 ハングスキャナを押し下げながら、ゆっくりと手前に引きぬく
- 2 ハングスキャナをひっくり返す

ハングスキャナを本体に戻す



- 1 原稿読み取り部を上に向けて、矢印の方向に「カチッ」と音がするまで水平に押し込む

お願い

ハングスキャナは本体に取り付けられているときは原稿読み取り部としてはたきません。取り扱いには十分ご注意ください。

- ハングスキャナを落としたり、固いものにぶついたりしないでください。
- ハングスキャナを取り外したままだと、原稿入口からのファクス送信やコピーをすることができません。

原稿読み取り部を上に向けて放置しないでください。

長時間上に向けたまま放置すると原稿読み取り部が劣化し、故障の原因となります。

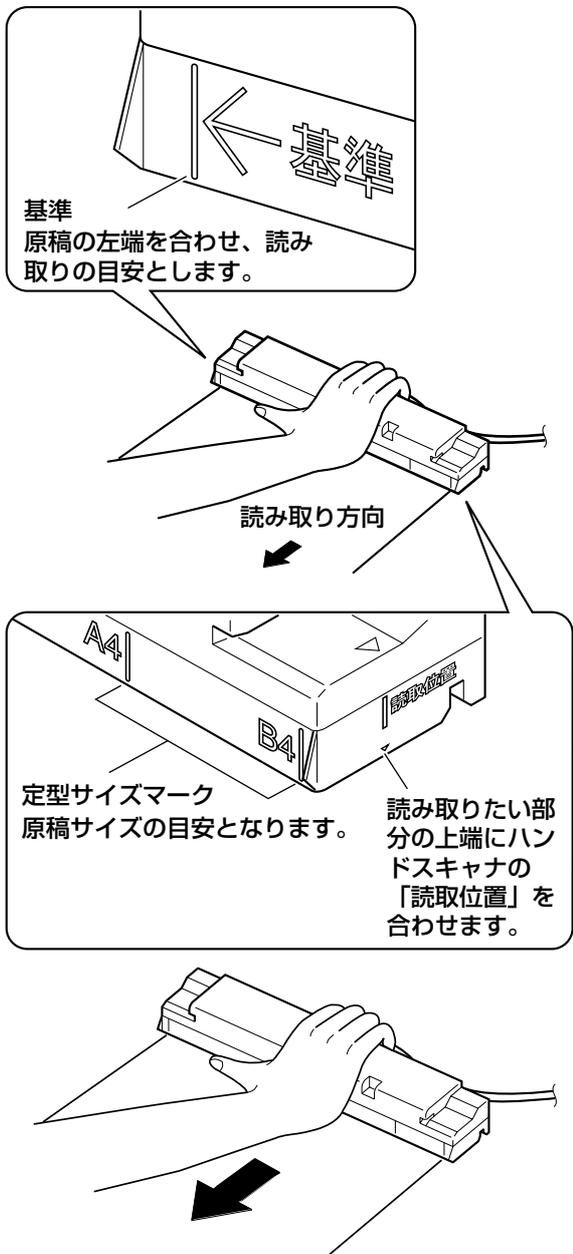
原稿読み取り部はいつもきれいにしておいてください。

ハングスキャナは使い終わったら必ず本体に戻してください。

取り外したままでも、ハングスキャナを使って読み取った原稿のファクス送信やコピーは行えますが、原稿入口を使った原稿のファクス送信やコピーをすることはできません。

原稿を読み取る

Handsキャナで読み取る原稿は、机などの平らなところに置いて読み取ります。

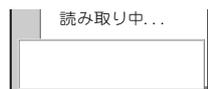


1 Handsキャナを原稿上にセットする

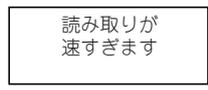
原稿の左端を Handsキャナの「基準」に合わせます。
読み取りたい部分の上端に Handsキャナの「読取位置」を合わせます。

2 原稿を読み取る

ゆっくりと読み取り方向に動かしてください。
正常に読み取られているときは、「ブッブッ」とゆっくり音が鳴ります。

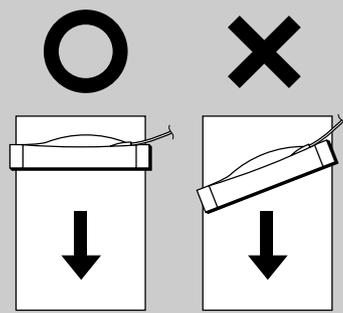


動かしがたが速すぎると「ピッ」というエラー音が鳴ります。また、ディスプレイに「読み取りが速すぎます」と表示されます。
この場合、原稿をきれいに読み取れませんので、ストップⓄを押して操作をやり直してください。



お願い

Handsキャナは読み取り方向にまっすぐに動かしてください。斜めに動かすと読み取れません。



メモ

読み取り中に Handsキャナを動かさずに 30 秒以上経過すると、自動的に読み取りを終了します。コピーの場合は、そのままコピーを開始します。

ハンドスキャナ

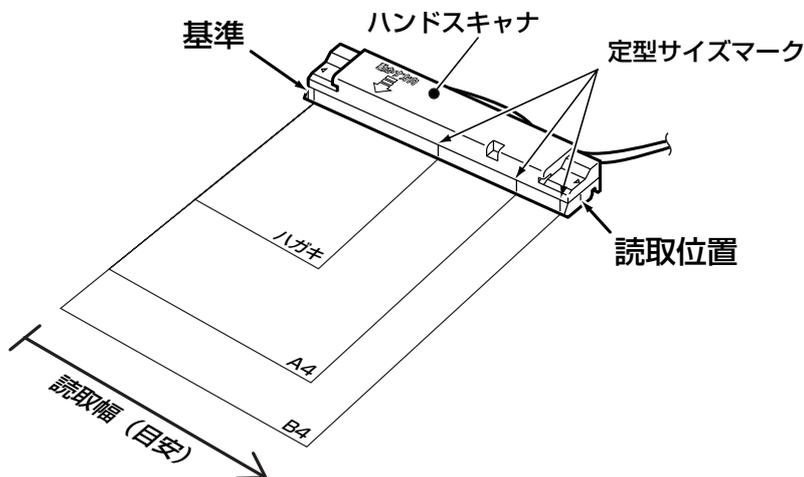
ハンドスキャナを使う (つづき)

ハンドスキャナについて

ハンドスキャナを使うと、雑誌や新聞など、原稿入口にセットできない原稿をファクスしたりコピーしたりすることができます。

読み取り範囲

ハンドスキャナで読み取れる範囲は次のとおりです。ただし、読み取り範囲の定型サイズマークの位置から内側約 6mm は読み取れません。



ファクス送信およびコピーができる読み取り範囲は次のとおりです。

ファクス	B4 / A4
コピー	B4 (白黒のみ) / A4 / ハガキ

定型サイズマーク	読取幅
B4	約 246mm
A4	約 204mm
ハガキ	約 94mm

お願い

次のような原稿は読み取らないでください。

正しく読み取れなかったり、原稿読み取り部に傷がつく原因となることがあります。

- 表面に凹凸のある原稿
- 表面が汚れている原稿
- コーティングなどで表面が滑りやすい原稿
- ペンなどのインクや、のり、修正液などが乾いていない原稿



メモ

- 小さすぎる原稿をハンドスキャナで読み取るときは、端をテープなどで固定してください。
- フィルムやトレーシングペーパーなどの透明な原稿は、白い紙の上に置るか、キャリヤシート(別売)に入れて読み取ってください。

読取幅について

原稿の一部が読み取れなかったり、余分なところまで読み取ってしまうことを防ぐために、読取幅を原稿の幅に合わせます。読取幅は「B4」「A4」「ハガキ」の中から選んでください。

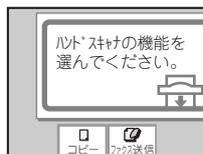


メモ

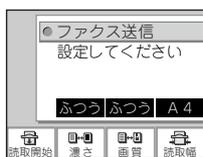
- B4 サイズの原稿を読み取り、A4 サイズにコピーした場合、A4 サイズに自動縮小されます。
- ハガキサイズの記録用紙がセットされている場合は、読取幅をハガキに設定してください。読取幅をB4およびA4に設定すると、画像が一部欠けてコピーされます。
- カラーコピーでは、B4 サイズの原稿を読み取ると、記録用紙のサイズ分のみがコピーされます。

読み取った原稿をファクスで送信する

1 ハンドスキャナを取り外す



2 を押す



3 を押す

読み取る原稿のサイズを指定します。ボタンを押すごとに、読取幅が「A4」→「B4」と切り替わります。

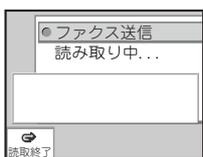
4 を押す

ボタンを押すごとに、濃度が「ふつう」→「こく」→「うすく」と切り替わります。

5 を押す

ボタンを押すたびに、画質が「ふつう」→「細かい」→「写真」と切り替わります。

6 を押し、読み取りを始める



7 読み取りが終わったら、 を押す

すぐに送信するときは手順 10へ進みます。



8 読み取った原稿を確認したいときは、 を押す

読み取った内容が表示されます。読み取った内容を拡大／縮小するときは 、回転するときは を押します。

を押すごとに、中→大→最大→小の順番で倍率が切り替わります。

を押すごとに、右へ90度ずつ回転します。

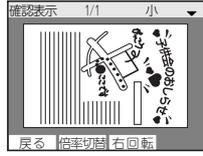
を押すと、画面に表示されていない部分が確認できます。



例：<小>に縮小したとき



例：<大>に拡大したとき



例：右へ90度回転したとき

9 を押す

10 ダイヤルする

11 を押す

ファクス送信が始まります。

12 ファクス送信が終わったら、ハンドスキャナを戻す

メモ

読み取った原稿の長さが A4 サイズの縦より長い場合は、原稿の内容の一部が画面に表示されないことがあります。

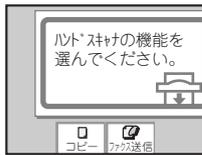
電話帳ダイヤルで送信するには

手順 10 で を押し、 で送信先を選び、 を押します。

ハンドスキャナを使う (つづき)

読み取った原稿をコピーする

1 ハンドスキャナを取り外す



2  を押す



3  を押す

ボタンを押すごとに、濃度が「ふつう」→「こく」→「うすく」と切り替わります。

4  を押す

ボタンを押すごとに、画質が「白黒細かい」→「白黒写真」→「カラー」と切り替わります。

5  を押す

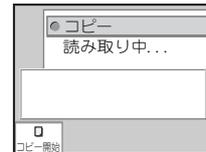
読み取る原稿のサイズを指定します。ボタンを押すごとに、読取幅が「A4」→「B4」→「ハガキ」と切り替わります。

手順4で「カラー」を選んだ場合は、「A4」→「ハガキ」とのみ切り替わります。

6  ~  を押し、コピー部数を入力する

白黒コピーでは最大99部まで設定できます。カラーコピーの設定は1部のみです。

7  を押し、読み取りを始める



8 読み取りが終わったら、 を押す

コピーが始まります。



9 コピーが終わったら、ハンドスキャナを戻す

メモ

- カラーコピーする場合は、カラーBJカートリッジをセットしておいてください。
- 読み取った原稿の長さがA4サイズの縦より長い場合は、原稿の内容の一部がコピーされないことがあります。
- カラーコピーでは、B4サイズの原稿を読み取ると、記録用紙のサイズ分のみがコピーされます。

7 章 ドアホン



ドアホンを接続する	7-2
ドアホンの呼び出しに応答する	7-3

ドアホンを接続する

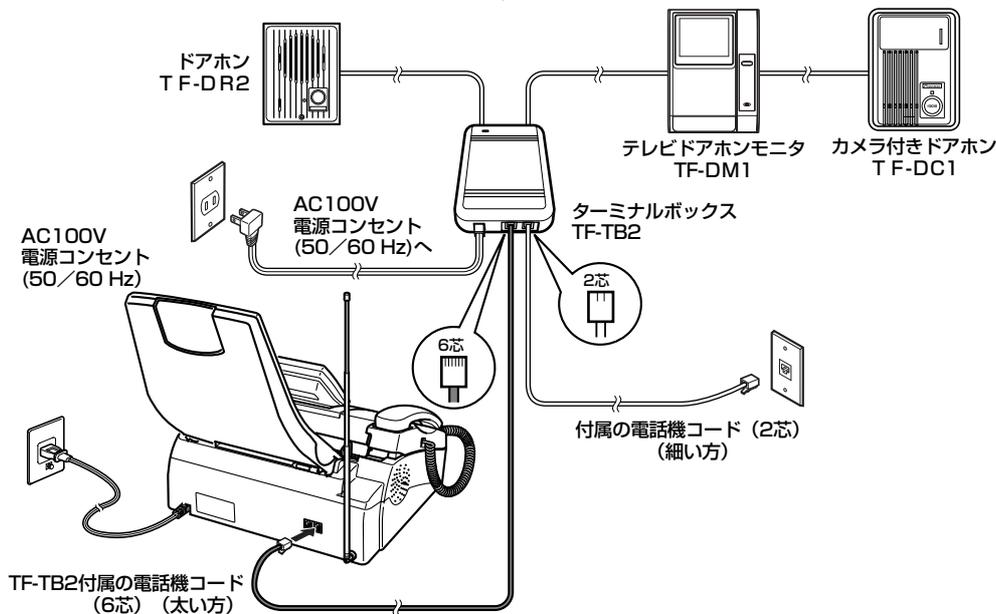
別売のターミナルボックスを利用して、ドアホンまたはテレビドアホンを2台まで接続できます。接続すると、親機または子機でドアホンの呼び出しに应答することができます。

ターミナルボックス、ドアホン、テレビドアホンは、次のような機種を接続することができます（2003年3月現在）。カメラ付きドアホンをお使いになる場合は、テレビドアホンモニターも必要となります。接続できる新しい機種が発売されたり、製品が販売中止となることがありますので、詳しくは各メーカーにお問い合わせください。

接続機器	メーカー	対応機種
ターミナルボックス (電話回線と本機の間接続します。)	パイオニア	TF-TB2
ドアホン (ターミナルボックスに接続します。)	パイオニア	TF-DR2、TF-DR1、TF-DC1
	アイホン	IF-DA、IE-DC、IE-NC、IE-RA、IE-TAS、IE-JA、IE-CA、IE-JEX、IE-NXUS
	松下通信	VL-568KA、VL-568U、VL-568R、VL-568UL、VL-568KAP、VL-568S、VL-580D、VL-D568KF、VL-581D、VL-592、VL-593、VL-594A
	松下電工	EJ502、EJ501W、EJ102、EJ503F、EJ503A、EJ1021B、EJ106S、EJ106A
テレビドアホンセット (ターミナルボックスに接続します。)	パイオニア	TF-TS1 (テレビドアホンモニター：TF-DM1、カメラ付きドアホン：TF-DC1、ターミナルボックス：TF-TB2)

ドアホンの接続例（ドアホン1台とカメラ付きドアホン1台を接続する場合）

- 1 ターミナルボックスにドアホンやカメラ付きドアホンを接続したテレビドアホンモニター等を接続する
- 2 電話機コード（2芯）で、電話回線とターミナルボックスを接続する
- 3 ターミナルボックスの付属電話機コード（6芯）で、ターミナルボックスと親機の「回線」モジュラージャックを接続する
- 4 接続が終了したら、ターミナルボックス(TF-TB2)の電源を入れる



お願い

- 取り付け工事は電気工事士の資格が必要です。取り付けの際は販売店、または工事店にご相談ください。
- 6芯コードは、必ずTF-TB2付属の電話機コードを使用してください。他のコードを使用すると、故障の原因となります。



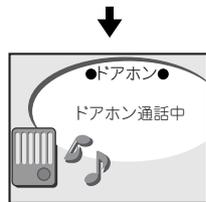
メモ

- ドアホンまたはテレビドアホンの取り付け工事について、詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 接続方法に関して詳しくは、ターミナルボックス付属の取扱説明書をご覧ください。
- 接続可能なドアホンは、配線が2線無極性で、インピーダンス600Ωに限ります。

ドアホンの呼び出しに回答する

親機で回答する

- 1 ドアホンからの呼出音が鳴ったら、受話器を取る
ディスプレイに「ドアホン 1 (2) から呼び出しされています」と表示されている間（約 30 秒間）に受話器を取ってください。
、 または を押しても応答できます。



2 相手と話す

3 終わったら、受話器を戻す

子機で回答する

- 1 ドアホンの呼出音が鳴ったら、子機を充電台から取る
充電台に置いていないときは、 または を押します。
ディスプレイに「ドアホン 1 (2)」と表示されている間（約 30 秒間）に子機を取ってください。
- 2 相手と話す
- 3 終わったら、子機を充電台に戻す
 を押しても、通話を切ることができます。

ドアホンの呼出音について

呼び出すドアホンによって次のように鳴ります。

呼出音（親機）	呼出音（子機）	ドアホン
「ピンポーン」	「ピポピポピポピポ ピポピポピポピポ」	ドアホン 1
「ピンポン ピンポン」	「ピポピポ ピポピポ ピポピポ」	ドアホン 2

外線通話中にドアホンで呼び出されたときは

ドアホンの呼出音が受話口から聞こえます。

親機の場合は、受話器を取ったまま または を押し、ドアホンに回答します。外線通話に戻るときは、いったん受話器を戻した後、受話器を取ります。

子機の場合は、 を押して、ドアホンに回答します。外線通話に戻るときは、 または を押し、ドアホンとの通話を切った後、 または を押します。

ドアホンに回答中、外線の方には保留メロディが流れます。

内線通話中にドアホンで呼び出されたときは

ドアホンの呼出音が受話口から聞こえます。

親機の場合は、受話器を取ったまま または を押し、ドアホンに回答します。

子機の場合は、 または を押して、再度ドアホンの呼出音が聞こえたら、 または を押します。

ドアホンに回答すると、内線通話は切れます。

ドアホンと通話中に外線電話がかかってきたときは

外線電話の呼出音がドアホンと通話中の親機または子機の受話口から聞こえます。

親機の場合は、受話器をいったん戻した後、受話器を取ります。

子機の場合は、 または を押した後、 を押します。

外線電話に回答すると、ドアホンとの通話は切れます。

メモ

ファクス通信中は、ドアホンからの呼出音は鳴りません。

8 章 設定



本機の基本的な動作を設定する（ライフサポート設定）	8-2
黒インク節約機能を設定する	8-3
ディスプレイコントラストを設定する	8-3
画面表示の明るさを設定する	8-4
待機画面の表示を設定する	8-4
さまざまなリストをプリントする	8-5
子機に使う人の名前を表示する（使用者表示）	8-7
メモリに記憶されている内容を一括消去する（全消去）	8-8

本機の基本的な動作を設定する (ライフサポート設定)

1 を押す

2 を押し、「ライフサポート」を選び、 を押す

3 設定したい項目の先頭の番号 (~) を押す
設定できる項目については下の表をご覧ください。

4 各項目の設定をする

設定内容については下の表をご覧ください。操作については「親機メニューの使いかた」(1-9ページ)をご覧ください。

5 を押す

設定できる項目と内容

設定項目	設定内容
①ホットライン番号 TEL1 <input type="text"/> TEL2 <input type="text"/>	緊急時にかけたい電話番号(ホットライン番号)を2カ所まで登録できます。電話番号を入力し、 を押してください。最大32桁まで入力できます。 ●ホットライン番号に電話をかけるには、受話器を取って、 または を押します。
②キータッチ音 普通	ボタンを押したときに「ピッ」と鳴る、キータッチ音の大きさを設定します。 を押し、設定を選び、 を押してください。「切る」(音を切ります)「小さく」「普通」「大きく」の中から選択できます。お買い上げ時の設定は「普通」になっています。
③キータッチ確定時間 ●普通 ○長く	ボタンを押してから機能が動作するまでの時間(キータッチ確定時間)を設定します。「長く」に設定すると、ボタンを長めに押さないと反応しないようになります。お買い上げ時の設定は「普通」になっています。
④ホーム画面の読み上げ ●する ○しない	音声情報の付いたインターネットホームページを音声で読み上げます。お買い上げ時の設定は「する」になっています。
⑤音声の速さ ●普通 ○遅く	音声ガイダンスなどのスピードを設定します。「遅く」でスピードを遅くできます。お買い上げ時の設定は「普通」になっています。
⑥音声読み上げ辞書 文字1 <input type="text"/> 読み方1 <input type="text"/>	メール読み上げ用に、文字の読みかたを30語まで登録できます。詳しくは別冊取扱説明書<電話サービス編>2-47ページをご覧ください。

黒インク節約機能を設定する

黒インクの使用量を節約し、通常よりもインクが長持ちするようになります。ただし、ファクスのプリントやコピーなどが若干薄くなります。

(お買い上げ時の設定は「しない」になっています。)

- 1 を押す
- 2 を押し、「初期設定」を選び、 を押す
- 3 を押し、「黒インク節約」を選ぶ
 - 黒インク節約
 - する
 - しない
- 4 「する」を選び、 を押す
- 5 を押す

ディスプレイコントラストを設定する

ディスプレイコントラストを調節できます。

親機を設定する

(お買い上げ時の設定は「±0」になっています。)

- 1 を押す
- 2 「画面設定」を選び、 を押す
- 3 を押し、「コントラスト設定」を選ぶ
 - コントラスト設定
 - する
 - しない
- 4 「する」を選び、 を押す
- 5 を押す
- 6 または を押し、コントラストを調節する
 コントラストは-10から+10の範囲で選べます。ディスプレイが見やすくなるように調節します。
- 7 を押す

子機を設定する

が消灯している状態で操作してください。

- 1 を押す
- 2 を押し、「液晶コントラスト」を選び、 を押す
 - 液晶コントラスト
 - ▲濃くする
 - ▼淡くする
- 3 を押し、コントラストを調節する
 コントラストは10段階から選べます。ディスプレイが見やすくなるように調節します。
- 4 を押す

画面表示の明るさを設定する

親機の画面表示の明るさを調節できます。
 (お買い上げ時の設定は「明るく」になっています。)

- 1  を押す
- 2 「画面設定」を選び、 を押す
- 3  を押し、「明るさ設定」を選び、 を押す
- 4  を押し、設定したい明るさを選び、 を押す
 「明るく」「普通」「暗く」の中からディスプレイの明るさの設定を選びます。
- 5  を押す

明るく
 普通
 暗く

待機画面の表示を設定する

指定した時間帯、ディスプレイの待機画面の表示をすべて消すかどうかを設定できます。
 (お買い上げ時の設定は「タイマー指定にする」(00:00～06:00) になっています。)

- 1  を押す
- 2 「画面設定」を選び、 を押す
- 3  を押し、「待機画面OFFタイマー」を選ぶ

待機画面OFFタイマー
 常時OFFにする
 タイマー指定にする
 タイマー: 00:00～06:00

常時表示を消すときは

- 4 「常時OFFにする」を選び、 を押す
- 5  を押す
 操作後、しばらくすると表示が消えます。

一定時間表示を消すときは

- 4  を押し、「タイマー指定にする」を選び、 を押す
- 5  を押し、「タイマー」を選び、 を押す
- 6  ~  を押し、開始時刻を入力する

OFFタイマー入力
 タイマー開始 [00:00]
 タイマー終了 [06:00]

1桁の数字は0から入力します。時刻は24時間制で入力します。

- 7  を押し、 ~  を押し、終了時刻を入力する

1桁の数字は0から入力します。時刻は24時間制で入力します。

- 8  を押す
- 9  を押す

 **メモ**

「タイマー指定」を選んだ場合、タイマーの開始時刻と終了時刻の間隔を6時間未満に設定することはできません。

タイマーの時刻を変えるには
 手順6で、 を押し、変更したい数字にカーソルを合わせ、入力し直します。

さまざまなリストをプリントする

ファクス通信結果や電話帳、機能設定のリストを A4 サイズの記録用紙でのみプリントすることができます。メモリがいっぱいの場合は、プリントできません。

1 を押す	3 プリントしたい項目の先頭の番号 (~) を選ぶ
2 を押し、「プリント」を選び、 を押す	
4 を押す 選んだ項目のリストがプリントされます。 プリントできるリストについては下記の表をご覧ください。	

プリントできるリストと内容

リスト	プリント内容
通信結果リスト	ファクス送受信の結果の一覧がプリントされます。
電話帳リスト	親機に登録されている電話帳の一覧がプリントされます。
機能設定リスト	親機の登録・設定状態の一覧がプリントされます。



メモ

電話帳リストをプリントする際、登録件数によっては、プリントが始まるまでに最大2分程度時間がかかることがあります。

電話帳リストの見かた

次のような項目がプリントされます。

- 相手の名前：
登録した相手の名前です。
- 電話番号：
登録した相手の電話番号です。
- メールアドレス：
登録した相手のメールアドレスです。



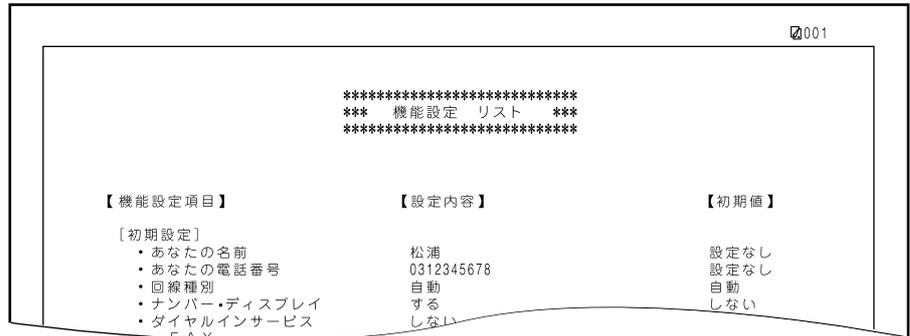
準備
電話
留守番電話
ファクス
コピー
ハンズスキャナ
ドアホン
設定
こんなときは
参考

さまざまなリストをプリントする (つづき)

機能設定リストの見かた

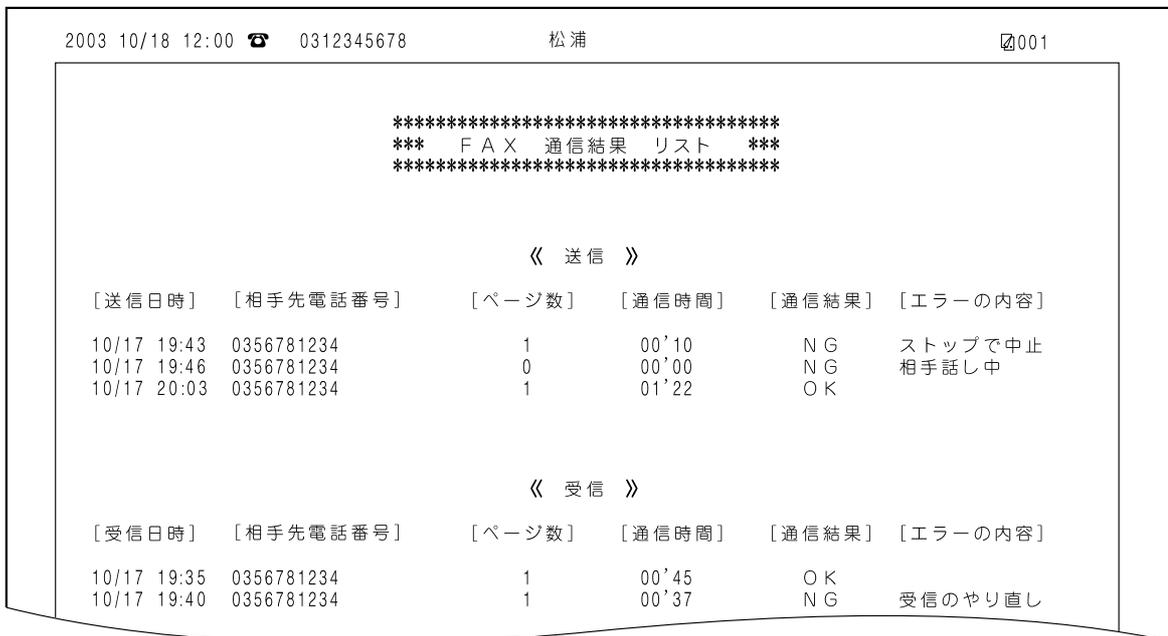
次のような項目がプリントされます。

- 機能設定項目：
登録や設定の項目です。
- 設定内容：
現在の登録や設定内容です。
- 初期値：
お買い上げ時の設定です。



通信結果リストの見かた

今までに送受信した過去 10 件までのファクスの記録を確認することができます。



ファクス通信の結果は、送信と受信を分けて表示します。

- ①送信日時、受信日時：ファクスの送信や受信を開始した日時です。
- ②相手先電話番号：送信時はダイヤルした番号、受信時は相手のファクスに登録されている番号です。
- ③ページ数：送信や受信したファクスの総ページ数です。
- ④通信時間：送信や受信にかかった時間です。
- ⑤通信結果：送信や受信が正常に完了した場合は「OK」となり、異常があった場合は「NG」となります。
- ⑥エラーの内容：通信結果が「NG」だった場合は、エラーの内容を示します。エラーの内容と意味については下記の「通信結果リストのエラー表示」をご覧ください。

通信結果リストのエラー表示

エラーの内容	エラーの意味
相手応答なし	相手と話した後の送信時、相手側がファクスを受信しなかった。受信時に相手側が送信しなかった。
相手記録紙なし	相手側のファクスに記録用紙がなかった。
相手話し中	自動送信時、相手が話し中だった。
原稿が長すぎ	原稿がつまった。長さが 1m 以上の原稿を送ろうとした。送信時間が 32 分を超えた。
原稿を点検	原稿が正しくセットされていなかった。
受信のやり直し	受信が正常に行われなかった。
送信のやり直し	送信が正常に行われなかった。
ストップで中止	ストップ(⊙)を押して中断した。
メモリオーバー	ファクスを受信している途中でメモリがいっぱいになった。

子機に使う人の名前を表示する (使用者表示)

子機のディスプレイに使う人の名前を表示させることができます。

使う人の名前を登録する

登録すると、待機中のディスプレイに名前が表示されます。

- 1 を押す
- 2 を押し、「その他」を選び、 を押す
- 3 「使用者表示」を選び、 を押す
- 4 「登録」を選び、 を押す
- 5 使う人の名前を入力する
文字の入力のしかたは 1-36 ページをご覧ください。
- 6 を押す

登録した名前を消去する

- 1 を押す
- 2 を押し、「その他」を選び、 を押す
- 3 「使用者表示」を選び、 を押す
- 4 を押し、「消去」を選び、 を押す
- 5 を押し、「はい」を選び、 を押す

メモ

親機が使用中のときは、操作することができません。

- 準備
- 電話
- 留守番電話
- ファクス
- コピー
- ハンズスキャナ
- ドアホン
- 設定
- こんなときは
- 参考

メモリに記憶されている内容を一括消去する (全消去)

メモリに記憶されている用件やファクス、通話録音、受信メールを一括して消去することができます。メモリがいっぱいになって用件の録音やファクスの受信ができなくなったときなどに使用します。メモリの残量は親機のディスプレイで確認できます。(1-5 ページ)

1 待機中(通話や用件再生などをしていない状態のとき)に  を押す

2  を押し、一括消去したい項目を選ぶ

3  を押す

4  を押す

5  を押す

消去	
留守番電話	2件
ファクス受信画像	1件
通話録音	0件
受信メール	50件

戻る 消去

消去しました

消去しますか？

留守番電話

はい いいえ

メモ

- 送信済/未送信メールや、保護された受信メールは消去されません。消去する場合は、別冊取扱説明書<電話サービス編>2-34、2-37、2-49 ページをご覧ください。
- 操作を途中でやめたいときは、 を押します。

1 件ずつ消去するときは

用件の場合は 3-4 ページ、ファクスの場合は 4-8 ページをそれぞれご覧ください。

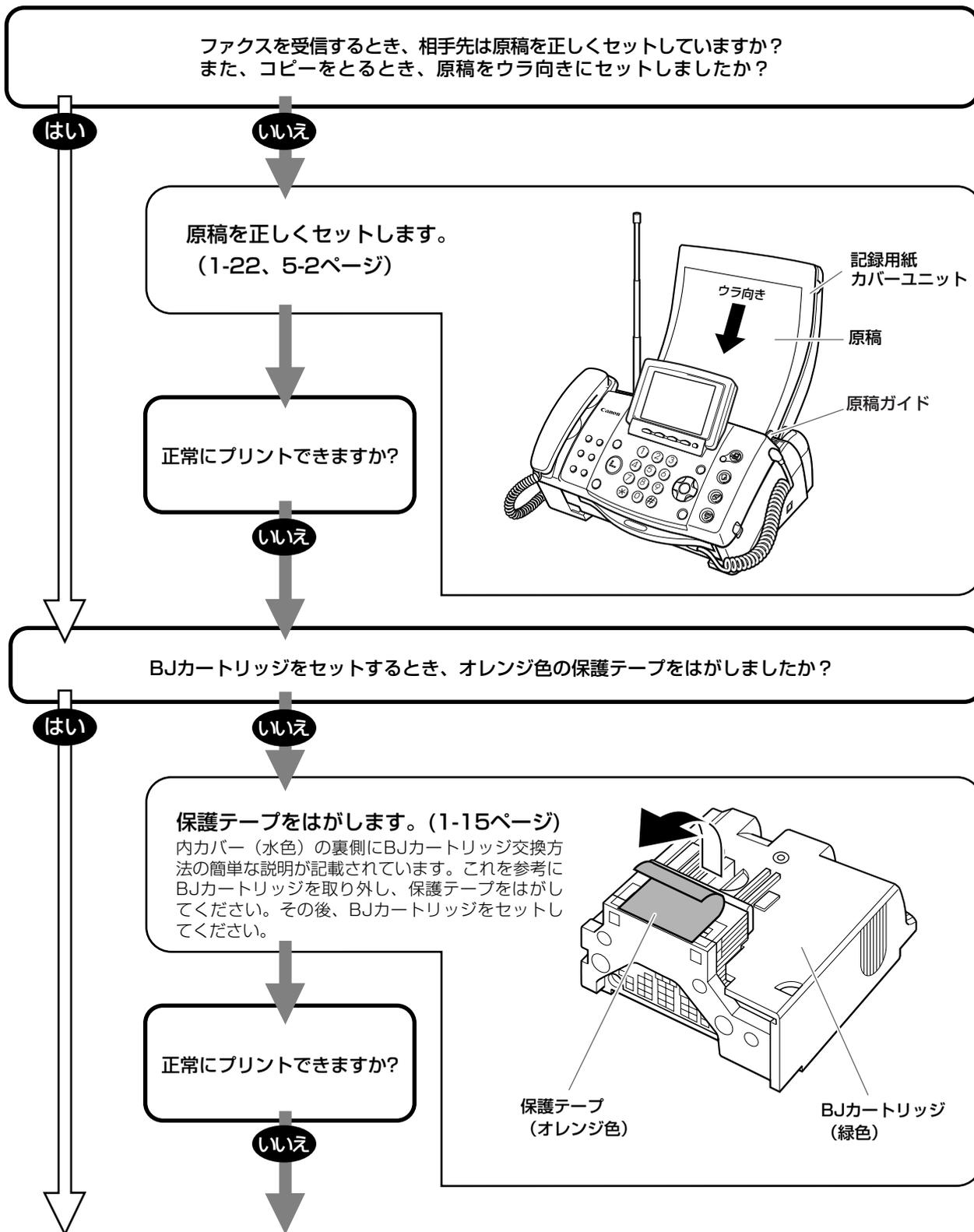
9 章 こんなときは



白紙が出るときは	9-2
画像が汚ないときは	9-3
BJカートリッジの状態を確認する	9-4
用紙がつまったときは	9-7
性能を維持するために	9-8
停電になったときは	9-9
故障かな?と思ったら	9-10
各部のお手入れ	9-16

白紙が出るときは

図の手順にしたがってチェックすると、問題が解決することがあります。



9-4ページの手順にしたがってノズルの状態をチェックしてください。ヘッドクリーニング、ヘッドリフレッシュ、インクタンク・BJカートリッジの交換のいずれを行っても正常にプリントされない場合は、修理が必要です。お買い上げの販売店または最寄りのキャノンサービスセンター（10-19ページ）へ修理を依頼してください。

画像が汚ないときは

準備
電話
留守番電話
ファクス
コピー
ハンドスキャナ
ドアホン
設定
こんなときは
参考

ファクスを受信するとき、相手先が汚れのないきれいな原稿をセットしていますか？
また、コピーをとるとき、汚れのないきれいな原稿をセットしましたか？

はい

いいえ

汚れのない原稿をセットします。
また、推奨の記録用紙を使ってください。

記録用紙の種類	製品名
普通紙 (コピー用紙等)	◎キャノンバブルジェット用普通紙 LC-301
	◎キャノンニュープリンタペーパー CP-250
ハガキ	◎キャノンBJ用光沢ハガキ KH-201N

正常にプリントできますか？

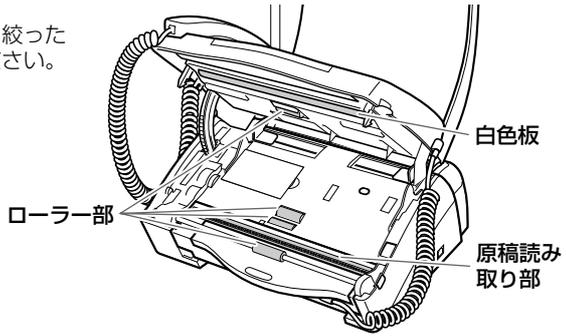
いいえ

原稿読み取り部と白色板、ローラー部はきれいですか？

はい

いいえ

原稿読み取り部と白色板、ローラー部を
清掃します。(9-16ページ)
原稿読み取り部と白色板は、水を含ませ固く絞った
布で拭いた後、乾いた布でから拭きしてください。



正常にプリントできますか？

いいえ

9-4ページの手順にしたがってノズルの状態をチェックしてください。ヘッドクリーニング、ヘッドリフレッシュ、インクタンク・BJカートリッジの交換のいずれを行っても正常にプリントされない場合は、修理が必要です。お買い上げの販売店または最寄りのキャノンサービスセンター(10-19ページ)へ修理を依頼してください。

BJカートリッジの状態を確認する

プリントした画像や文字が乱れていたり、何もプリントされないときは、ノズルチェックパターンをプリントしてBJカートリッジの状態を確認します。その結果に応じて、プリントヘッドのクリーニングやヘッドリフレッシュを行ったり、インクタンクやBJカートリッジを交換してください。

ノズルチェックパターンをプリントする

インクを噴き出すプリントヘッドのノズルがつかまっているか、インクがなくなっていないかを調べるために、次の手順でノズルチェックパターンをプリントしてください。

1 を押す

2 を押し、「プリント」を選び、 を押す

3 を押し、「ノズルチェックプリント」を選び、 を押す

ノズルチェックパターンのプリントが始まります。

ノズルチェックパターンを確認する

ノズルチェックパターンは、記録用紙の左上にプリントされます。

正常でないプリント

- ・横線の一部が欠けてプリントされている場合の例

- ・全体的にかすれていたり、特定の色のパターンがプリントされない場合の例

- ・まったくプリントされない場合

正常なプリント（この場合、ノズルは正常です。）

- ・ブラックBJカートリッジ

- ・カラーBJカートリッジ

記録用紙

↓ 次のような原因が考えられます

考えられる原因	こうしてください
インクがなくなっている	まず、ブラックBJカートリッジを使用している場合は、ディスプレイでインク残量を確認し、必要に応じてインクタンクを交換（1-17ページ）します。
ノズルがつかまっている	ヘッドクリーニング（9-5ページ）を行ってください。通常は1～2回クリーニングを行えば、ノズルの目づまりは解消します。それでも正常なパターンがプリントされないときは、ヘッドリフレッシュ（9-5ページ）を行ってください。
プリントヘッドの寿命	ヘッドリフレッシュを行ったり、インクタンクを交換しても正常なノズルチェックパターンがプリントされないときは、プリントヘッドの寿命です。新しいBJカートリッジをお買い求めのうえ、BJカートリッジを交換（1-19ページ）してください。

黒インクの残量を確認する

何もプリントされない場合、インクがなくなっている可能性があります。ブラックBJカートリッジを使用している場合は、親機のディスプレイで黒インクの残量を確認してください。（1-5ページ）

インクがない場合は、インクタンクを交換してください。

メモ

- ・インクの残量はプリントヘッドからインクが吹き付けられた量を元に計算されます。BJカートリッジやインクタンクをセットするとき、 と の選択を間違った場合や と の選択を間違った場合は、正確に表示されません。あくまでも目安としてご利用ください。
- ・カラーBJカートリッジBC-11eを使用している場合は、残量は表示されません。ヘッドクリーニングの操作に進んでください。

ヘッドクリーニングを行う

インクがある状態でノズルチェックパターンが正常にプリントされない場合、プリントヘッドのノズルが詰まっている可能性があります。このような場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。クリーニングには2通りの方法があります。

操作パネルを開けてクリーニングする

- 1 「開く」レバーを押し上げながら、ロックがかかるまで操作パネルを開ける
- 2 カートリッジ交換ボタン（水色）を3秒以上押し続ける
ヘッドクリーニングが始まります。クリーニングが終わるまで約60秒かかります。
- 3 操作パネルを「カチッ」と音がするまで閉める
操作パネルの手前まん中をロックがかかるまで押します。

操作パネルを閉めたままクリーニングする

- 1 を押す
- 2 を押し、「プリント」を選び、 を押す
- 3 を押し、「ヘッドクリーニング」を選び、 を押す
約60秒間ヘッドクリーニングが行われます。

メモ

通常は、クリーニングを1～2回行うとノズルの目づまりは解消できます。それでも正常なノズルチェックパターンがプリントされないときは、右記のヘッドリフレッシュを行ってください。

ヘッドリフレッシュを行う

ヘッドクリーニングを1～2回行ってきれいにプリントできないときは、ヘッドリフレッシュを行います。

- 1 を押す
- 2 を押し、「プリント」を選び、 を押す
- 3 を押し、「ヘッドリフレッシュ」を選び、 を押す
約130秒間ヘッドリフレッシュが行われます。

メモ

- 通常は、ヘッドリフレッシュを1～2回行うと、プリント品質が回復します。回復しないときは、インクタンクやBJカートリッジを交換する必要があります。
- ヘッドリフレッシュは、ヘッドクリーニングよりもたくさんのインクを消費します。何度も行うとインクがなくなってしまうのでご注意ください。

BJカートリッジの状態を確認する（つづき）

ノズルチェックの結果、インクタンクを交換する場合

プリントヘッドのクリーニングやヘッドリフレッシュを行ってもまだ正常にプリントできない場合は、インクがなくなっているか、プリントヘッドの故障が考えられます。この場合は、インクタンクを交換してください。インクタンクの交換については、「インクタンクを交換する」（1-17ページ）をご覧ください。

プリントできる枚数の目安について

新品のインクタンクを使用した場合、次の枚数がプリントできます。（ただし、使用条件によっては枚数が異なることがあります。）

	ブラックBJカートリッジ BC-10		カラーBJカートリッジ BC-11e
ブラック	インクタンク BCI-10 Black 使用時	約 123 枚 ^{*1} ^{*2} 約 157 枚 ^{*1} （黒インク節約機能使用時）	約 37 枚 ^{*1} 約 51 枚 ^{*1} （黒インク節約機能使用時）
	インクタンク BCI-17 Black 使用時	約 210 枚 ^{*1} 約 275 枚 ^{*1} （黒インク節約機能使用時）	
カラー	カラープリント不可		約 35 枚 ^{*3} （A4 用紙 1 枚に各色 7.5% プリントした場合）

*1 当社 A4 標準原稿を 1 日に 2 枚プリントしたときの数値です。

*2 本機に同梱されているブラック BJ カートリッジ BC-10 は工場出荷時にプリント動作を確認するため、若干インク容量が少なくなっています。黒インク節約機能を使用していないときで、プリント枚数は約 98 枚です。

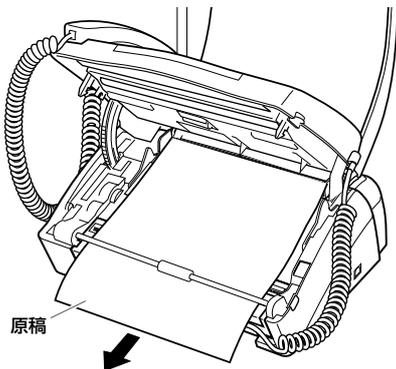
*3 連続でプリントしたときの数値です。

ノズルチェックの結果、BJカートリッジを交換する場合

プリントヘッドのクリーニング（9-5 ページ）、ヘッドリフレッシュ（9-5 ページ）、インクタンクの交換（1-17 ページ）のいずれを行ってもプリント品質が回復しない場合は、プリントヘッドの寿命または故障が考えられます。プリントヘッドは修理できませんので、BJ カートリッジごと新しいものに交換する必要があります。BJ カートリッジの交換については、「BJ カートリッジを交換する」（1-19 ページ）をご覧ください。

用紙が詰まったときは

詰まった原稿を取り除くには



原稿が詰まったときは、次の手順で原稿を取り除きます。

- 1 「開く」レバーを押し上げながら、ロックがかかるまで操作パネルを開ける**
- 2 詰まった原稿を取り除く**
 Handsキャナを押し下げ、正面側、または背面側の抜き取りやすい側に引っばってください。
- 3 終わったら、操作パネルを「カチッ」と音がするまで閉める**
 操作パネルの手前まん中をロックがかかるまで押しします。

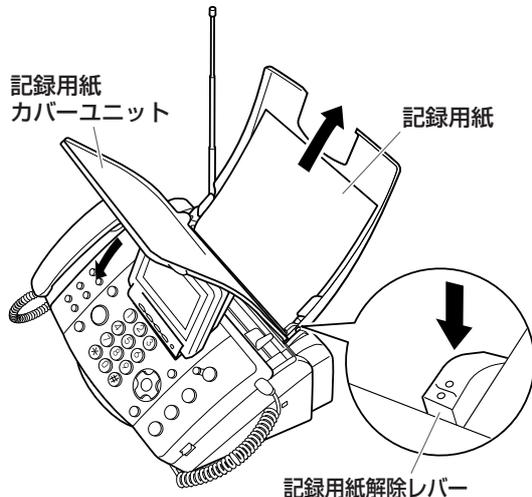
詰まった記録用紙を取り除くには

ディスプレイに次のように表示されたら、記録用紙カバーユニットに残っている記録用紙を取ってから、つまっている記録用紙を取り除いてください。

| プリンターを点検 |

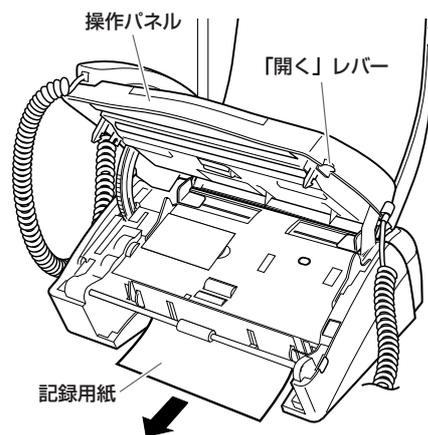
| 用紙を取り除いて下さい |

記録用紙が記録用紙入口から見えるとき



- 1 記録用紙カバーユニットを開ける**
- 2 記録用紙解除レバーを押しながら、記録用紙を引き抜く**
- 3 約5秒間 ストップ (Ⓢ) を押し続ける**

記録用紙が記録用紙入口から見えないとき



- 1 ハンドスキャナを取り外す**
- 2 「開く」レバーを押し上げながら、ロックがかかるまで操作パネルを開ける**
- 3 記録用紙を引き抜く**
- 4 終わったら、操作パネルを「カチッ」と音がするまで閉める**
 操作パネルの手前まん中をロックがかかるまで押しします。
- 5 ハンドスキャナを戻す**
- 6 約5秒間 ストップ (Ⓢ) を押し続ける**

お願い

記録用紙や原稿は、抜き取りやすい方向に静かに引いて、破れないように注意して取り除いてください。無理な力を加えると、記録用紙が破れることがあります。親機内部で記録用紙が破れたときは、内部につまった記録用紙をすべて取り除いてください。

準備

電話

留守番電話

ファクス

コピー

ハンドスキャナ

ドアホン

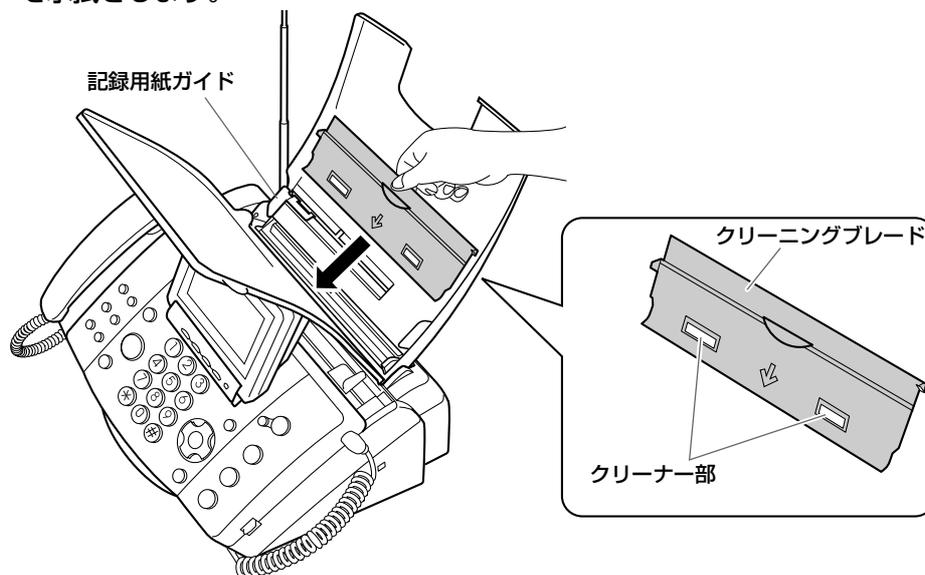
設定

こんなときは

参考

性能を維持するために

本機を長期間使用しているとプリントする記録用紙の粉末が、本機内部のローラーなどに付着します。このままプリントを続けると、記録用紙が正しく送られないことがあります。このようなときは、付属のクリーニングブレードでローラーを水拭きします。



1 記録用紙カバーユニットを開け、記録用紙を取り除く

2 クリーニングブレードのクリーナー部に水を十分に含ませる

3 クリーナー部以外についた水分を拭きとる
裏面も忘れずに拭きとってください。

4 記録用紙ガイドを左側いっぱい寄せ

5 クリーニングブレードを上図の向きにすべらせるように記録用紙入口にセットする

6  を押す

7  を押し、「プリント」を選び、 を押す

8  を押し、「ローラークリーニング」を選び、 を押す

 ローラークリーニング

ローラーのクリーニングが始まります。
クリーニングが終わるまで約 100 秒かかります。

9 「用紙を 1 枚セットして、セットキーを押して下さい」と表示されたら、クリーニングブレードを装着したまま記録用紙 (A4) を 1 枚セットする
記録用紙入口に記録用紙 (A4) を奥まで差し込みます。

10  を押す
セットした記録用紙が記録用紙排出口から出てきます。

11 「もう 1 枚用紙をセットして、セットキーを押して下さい」と表示されたら、もう一度、記録用紙 (A4) をセットする
手順 9 同様に、記録用紙 (A4) をセットします。

12  を押す
セットした記録用紙が記録用紙排出口から出てきます。

13 クリーニングブレードを取り外す
必ず取り外してください。

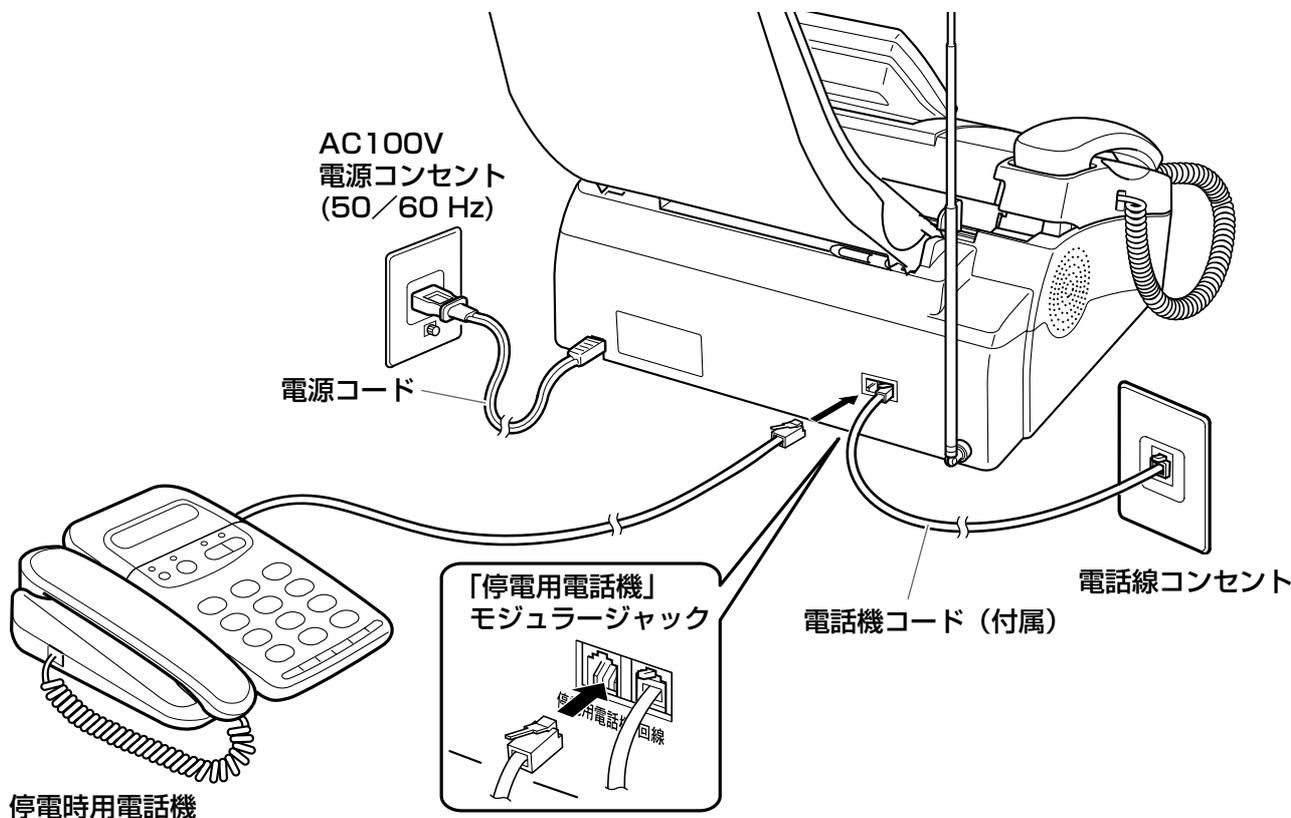
14 記録用紙をセットし、記録用紙カバーユニットを閉める

お願い

- ・本機内部に水分が付着すると故障の原因になります。手順 3 ではクリーニングブレードのクリーナー部以外についた余分な水分は拭きとってください。
- ・クリーニングブレードは今後も使いますので、操作が終わったらクリーナー部の水分を拭きとり、大切に保管しておいてください。

停電になったときは

本機はAC電源を必要としているため、停電時は親機も子機も使用できなくなります。そのため、あらかじめ停電時用の電話機（AC電源がなくても使える電話機）をご用意いただくことをおすすめします。停電時用電話機を親機の「停電用電話機」モジュージャックに接続すれば、停電時でもその電話機を使って電話をかけたり受けたりできます。停電時以外には停電時用電話機を接続しないでください。



停電時用電話機

停電時以外には停電時用電話機を接続しないでください。

ナンバー・ディスプレイを利用しているときは

停電中に電話がかかってくると、停電時用電話機のみはじめに通常よりも短い呼出音が5～6回鳴ります。その後通常の呼出音に変わりますので、音が変わったら受話器を取ってください。

モデムダイヤルインサービスを利用しているときは

停電中に電話がかかってくると、停電時用電話機のみはじめに通常よりも短い呼出音が5～6回鳴ります。その後通常の呼出音に変わりますので、音が変わったら受話器を取ってください。

内蔵リチウム電池について

本機は電源プラグを抜いたり停電になっても登録や設定が消えないようにするため、リチウム電池を内蔵しています。リチウム電池が消耗してくると、登録した内容が消えてしまいます。電池の寿命は通常、お買い上げから約5年です。電池の交換は、お買い上げの販売店または最寄りのキヤノンサービスセンターまでご依頼ください。

メモ

- 停電になっても、本機の登録・設定内容や電話帳の内容は消去されません。
- メモリに記憶されている受信ファクスや録音された用件、自作応答メッセージなどは、停電状態でも約10分間は保持されます。ただし、停電になる前に90分以上連続で、本機の電源を入れた状態にしておく必要があります。
- メモリに記憶されている内容が消去されてしまった場合は、電源が復旧した後、ディスプレイに「メモリ消去」と表示されます。消去されたメモリの内容を復活させることはできません。
- 用件を録音中に停電になったときは、録音中の用件は消去されます。
- 登録中など、データを保存中に停電になったときは、保存中のデータが消去される可能性があります。

準

備

電

話

留守番電話

ファクス

コピー

ハンドスキャナ

ドアホン

設

定

こんなときは

参

考

故障かな？と思ったら

修理に出したり、サービスセンターにお問い合わせいただく前に、次のことをチェックしてください。

親機のトラブル

全般

こんなときは	これをチェックしてください	こうしてください	参照ページ
正常に動作しない	—	① 約5秒間 ストップ を押し続けます。 ② それでも正常に動作しない場合は、一度電源プラグを電源コンセントから抜いた後、5秒おいてから差し込んでください。	—
ディスプレイに何も表示されない	電源プラグが外れていませんか？	電源プラグを正しく差し込んでください。	1-11
	待機画面がOFFになっていませんか？	「待機画面OFFタイマー」の設定で、「タイマー指定にする」を選んでください。	8-4
ディスプレイの画面表示に前の画面が薄く残っている	長時間、原稿をセットしたままにしていますでしたか？	不要な原稿は取り除いてください。	—

電話／留守番電話

こんなときは	これをチェックしてください	こうしてください	参照ページ
電話がかけられない	電話回線が正しく自動設定されていますか？	電話回線の種類を手動で設定してみてください。	1-12
	電話回線や受話器が正しく接続されていますか？	接続を確認してください。	1-11
ダイヤル終了後、呼出音が聞こえ始めるまでの時間が長い	相手の方がナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、長くなる場合があります。	—	—
呼出音が鳴らない	呼出音の音量を切っていませんか？	呼出音の音量を大きくしてください。	1-25
	おやすみモードにセットしていませんか？	おやすみモードを解除してください。	3-5
	モデムダイヤルラインが「する」に設定されていませんか？	モデムダイヤルラインサービスを契約していない場合は、「しない」に設定してください。	別冊取扱説明書 3-3
こちらの声が相手に届かない	受話器の下の方を手でふさいでいませんか？	ふさがないように正しくお持ちください。	—
スピーカからの音が聞こえない、聞こえにくい	音量が小さくなっていませんか？	スピーカの音量を調節するか、受話器で聞いてください。	1-25
用件が録音されない	メモリがいっぱいになっていませんか？	不要な用件やファクスを消去してください。	3-4、4-8、8-8
	留守モードにセットされていますか？	留守モードにセットしてください。	3-2
着信拒否/キャッチ  が効かない	着信拒否の登録をした相手先からのキャッチホンではありませんか？	着信拒否に設定した相手先からの電話は、いっさい受けることができません。受けた場合は着信拒否を解除してください。	別冊取扱説明書 1-4
外出先からリモート操作ができない	トーン信号（ピポパ音）の出る電話機を使っていますか？	トーン信号の出る電話機から操作してください。	3-7
	# に続いて正しい暗証番号（4桁の数字）を入力していますか？	# を押してから正しい暗証番号を入力してください。	3-7
ナンバー・ディスプレイが正しく動作しない	ナンバー・ディスプレイの設定は「する」になっていますか？	ナンバー・ディスプレイの設定を「する」にしてください。	別冊取扱説明書 1-2

コピー／ファクス

こんなときは	これをチェックしてください	こうしてください	参照ページ
ファクスを送信できない	原稿はセットされていますか？	原稿を正しくセットしてください。読み取りを開始しないときは、原稿の反りを直して、原稿の後端を軽く押してください。	1-22、4-2
	原稿がつまっていますか？	つまっている原稿を取り除いてください。	9-7
	原稿をオモテ向きにセットしていませんか？	送る面をウラ向きにセットしてください。	4-2
	相手側のファクスの記録用紙がなくなっていないですか？	相手に確認してください。	—
	プリンタモードになっていませんか？	 を押してください。	—
ファクスで送信した画像が汚い	ローラーや原稿読み取り部、白色板が汚れていませんか？	汚れを拭きとってください。	9-16
ファクスを受信できない	受話器を置く前に  を押しましたか？	先に受話器を置くと、電話が切れてしまいます。受信し直してください。	4-4
	メモリがいっぱいになっていませんか？	不要なファクスや用件を消去してください。	3-4、4-8、8-8
	コピー中ではありませんか？	コピー中はファクスを受信できません。コピーを中止するか、終了してから受信し直してください。	—
	ファクスをプリント中ではありませんか？	プリント中はファクスを受信できません。プリントを中止するか、終了してから受信し直してください。	—
	プリンタモードになっていませんか？	 を押してください。	—
コピーやファクス受信した画像が汚い (9-3 ページもご覧ください。)	静電気や雷などで電話回線の状態が悪くありませんか？	相手側にもう一度送信してもらってください。	—
	ファクス受信中にキャッチホンが入りましたか？	相手側にもう一度送信してもらってください。	—
	ノズルチェックパターンは正常にプリントされますか？	ノズルチェックパターンをプリントしてください。ノズルチェックパターンの横線が欠けている場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。	9-4、9-5
	適切な記録用紙を使っていますか？	使用できる記録用紙かどうか確認してください。当社推奨の記録用紙を使ってみてください。	1-20、10-3
	ローラーや原稿読み取り部、白色板が汚れていませんか？	汚れを拭きとってください。	9-16
	コピーした画像に横線が入る	ローラーや原稿読み取り部、白色板が汚れていませんか？	汚れを拭きとってください。
白紙が出てくる (9-2 ページもご覧ください。)	インクがきれいでいませんか？	インクタンクを交換してください。	1-17
	コピー原稿をオモテ向きにセットしていませんか？	コピーする面をウラ向きにセットします。	5-2
	相手側がファクス原稿の向きを逆にセットしている場合があります。	相手側に確認してください。	—
	インクタンクがセットされていますか？	インクタンクをセットしてください。	1-13、1-17
	BJカートリッジの、オレンジ色の保護テープが付いたままではありませんか？	保護テープをはがしてください。	1-15
うまく紙送りされない	内部の給紙ローラーが汚れている場合があります。	ローラークリーニングを行ってください。	9-8
	セットされている記録用紙が、残り1枚になっていませんか？	記録用紙を、記録用紙カバーユニットに残っている記録用紙の下に追加してみてください。	1-21

故障かな？と思ったら（つづき）

コピー／ファクス

こんなときは	これをチェックしてください	こうしてください	参照ページ
ファクス情報サービスをうまく受けられない	トーン（ブッシュ）信号が出ていますか？	お使用の電話がダイヤル回線の場合は ⊗（トーン）を押してください。	1-27、2-2
	相手から受信状態にするよう指示はありましたか？	最後に <small>ファクス受信</small>  を押してください。	1-27
何度も紙づまりが起きる	記録用紙を正しくセットしましたか？	記録用紙を正しくセットしてください。	1-21
	適切な記録用紙を使っていますか？	使用できる記録用紙かどうか確認してください。当社推奨の記録用紙を使ってください。	1-20、10-3
	ローラーが汚れていませんか？	ローラーのクリーニングを行ってください。	9-8
コピーができない	プリンタモードになっていませんか？	<small>PCプリンタ</small>  を押してください。	—

ハndsキャナ

こんなときは	これをチェックしてください	こうしてください	参照ページ
原稿ではないところが読み取られる	原稿がハndsキャナの読み取り範囲から外れていませんか？	ハndsキャナの左端基準と読取位置を原稿の端に合わせてください。	6-3
ハndsキャナでコピーした画像が汚い	ローラーや原稿読み取り部が汚れていませんか？	汚れを拭きとってください。	9-16
ハndsキャナが使えない	プリンタモードになっていませんか？	<small>PCプリンタ</small>  を押してください。	—
原稿を読み取れない	メモリがいっぱいになっていませんか？	不要な用件やファクスを消去してください。	3-4、4-8、8-8

その他

こんなときは	これをチェックしてください	こうしてください	参照ページ
カートリッジ交換ボタン（水色）がきかない	子機が使用中ではありませんか？	子機の使用が終わってから行ってください。	—
ドアホンが使えない	正しく接続していますか？	接続を確認してください。	7-2
	ターミナルボックスの電源プラグが外れていませんか？	電源プラグを正しく差し込んでください。	7-2

親機のディスプレイのメッセージ

メッセージ	意味	参照ページ
相手先記録紙無し	相手に記録用紙をセットしてもらいます。	—
カートリッジをセット	BJカートリッジを正しくセットします。	1-15
原稿が長すぎます	長さが1m以上の原稿はファクス送信できません。コピーをとり、何ページかに分けて送信してください。	—
	ハndsキャナで1m以上読み取った原稿はファクス送信できません。正しい読み取り範囲でもう一度やり直してください。	—
	ハndsキャナで1m以上読み取った原稿はコピーできません。正しい読み取り範囲でもう一度やり直してください。	—
原稿を確認して下さい	原稿を正しくセットしてください。読み取りを開始しないときには、原稿の反りを直して、原稿の後端を軽く押してください。	1-22
原稿をセットして下さい	原稿がセットされていません。原稿をセットして、もう一度操作してください。	1-22
原稿を点検して下さい	原稿を正しくセットしてください。読み取りを開始しないときには、原稿の反りを直して、原稿の後端を軽く押してください。	1-22
原稿を取り除いて下さい	原稿がつまっています。つまった原稿を取り除いて、もう一度操作してください。	9-7
	長さが1m以上の原稿はコピーできません。適切なサイズの原稿をセットしてください。	—

メッセージ	意 味	参照ページ
子機使用中	子機を使用中です。表示が消えるまで親機は操作できません。	—
登録できません	電話番号を入力していないために、親機の電話帳に登録できません。電話番号を入力してください。	2-8
話中でした	相手が応答しませんでした。もう一度やり直してください。	—
表示することが出来ませんでした	メモリ残量が少なくなっているか、受信したファクス画像の一部が壊れているため、ファクスの内容を画面に表示できません。  を押してこのファクスを消去する操作を行ってください。 また不要な用件やファクスも消去してください。	3-4、4-8、 8-8
プリンターエラー	廃インクタンクが満杯になっています。受信したファクスのプリントやコピーができません。本機をお買い上げになった販売店または最寄りのキャノンサービスセンター（10-19ページ）に修理をご依頼ください。	—
プリンターを点検	つまった記録用紙でBJカートリッジの動きが妨げられていませんか？ つまった記録用紙を取り除いてから、約5秒間  を押し続けてください。	9-7
メモリがありません	BJカートリッジが動いているときに、手で触りませんでしたか？ BJカートリッジが動作中は、手を触れないでください。操作パネルを閉めて、約5秒間  を押し続けてください。	—
	メモリがいっぱいです。不要な用件やファクスを消去してください。	3-4、4-8、 8-8
メモリ残量わずかです	電話帳登録時に表示された場合は、すでに電話帳が100件登録されています。不要な電話帳を消去してください。	2-10
	メモリが残り少なくなっています。不要な用件やファクスを消去してください。	3-4、4-8、 8-8
メモリ残量ありません	メモリが残り少なくなり、ファクスの受信や留守モードの用件録音ができません。不要な用件やファクスを消去してください。	3-4、4-8、 8-8
メモリ消去	10分以上停電や電源コンセントが抜けた状態が続いたため、用件、ファクス、自作応答メッセージは消去されました。	9-9
やり直して下さい	ファクスが送信できていません。もう一度送信してください。	—
	ファクスが受信できませんでした。もう一度送信してもらってください。	—
用紙を奥にセット	記録用紙が原稿入口にセットされています。 記録用紙を記録用紙カバーユニットに正しくセットしてください。	—
用紙を確認して下さい	記録用紙を正しくセットしてください。	1-21
用紙をセットして下さい	記録用紙がセットされていません。記録用紙をセットして、もう一度操作してください。	1-21
用紙を取り除いてください	記録用紙がつまっています。 ① つまった記録用紙を取り除いてから、約5秒間  を押し続けてください。 ② それでもこの表示が出るときは、本機をお買い上げになった販売店または最寄りのキャノンサービスセンター（10-19ページ）に修理をご依頼ください。	9-7
受信エラー	ナンバー・ディスプレイサービスの利用契約をしていない場合は、ナンバー・ディスプレイの利用を「しない」に設定してください。	別冊取扱 説明書 1-2

故障かな?と思ったら (つづき)

子機のトラブル

こんなときは	これをチェックしてください	こうしてください	参照ページ
ディスプレイに何も表示されない	バッテリーのプラグは正しく接続されていますか?	プラグを奥まで確実に差し込んでください。	1-23
	子機を充電台に戻さないで、長期間放置しませんでしたか?	充電台に戻して10時間以上充電してください。	1-23
「プーツ、プーツ、プーツ...」と鳴り、使えない	親機の電源プラグが抜けていませんか?	親機の電源プラグを確実に差し込んでください。	1-11
	親機を使っていませんか?	親機が使用中のときは使えません。	—
	親機と離れすぎていませんか?	親機に近づいてもう一度  を押してください。	9
	他の子機を使っていませんか?	他の (増設) 子機が使用中のときは使えません。	—
	近くにテレビやOA機器など、強い電波や雑音を発生する機器はありませんか?	強い電波や雑音を発生していると思われる機器の電源を切ってからお使いください。	9
 を押しても  が点灯しない	バッテリーは十分に充電されていますか?	充電台に戻して充電してください。	1-23
 を押すと  は点灯するが、使えない	「ナンバー・ディスプレイ」や「モデムダイヤルインサービス」を利用している場合など、子機を使うタイミングによっては、このような症状になることがあります。	一度子機を充電台に戻すか、  を押すと、普通に使えるようになります。	別冊取扱説明書 1-1、3-2
途中で電話が切れる	テレビやコンピュータなど、雑音が発生する機器が近くにありませんか?	雑音が発生する機器から離れてください。	9
	親機に近づきすぎていませんか?	親機から離れてください。	—
	バッテリーのプラグがしっかりと差し込まれていますか?	プラグを奥まで確実に差し込んでください。	1-23
	—	電話を受ける、かけるの操作をやり直してください。	—
電話がかかけられない	電話回線の種類は正しく設定されていますか?	ご使用の電話回線を調べ、親機で回線の種別を合わせてください。	1-12
	プリンタモードになっていませんか?	親機の  を押してください。	—
電話が受けられない	プリンタモードになっていませんか?	親機の  を押してください。	—
相手の声が聞き取りにくい	受話音量が「小」になっていませんか?	音量 (2段階) を「大」に調整してください。	1-26
こちら側の声が相手に聞こえない、または、とぎれて聞こえる	送話口を指でふさいでいませんか?	送話口をふさがないように子機を持ち直してください。	—
	「呼出音量」が「消音」(鳴らない) に設定されていませんか?	「呼出音量」を「消音」以外に設定してください。	1-26
呼出音が聞こえない	おやすみモードが設定されていませんか?	親機のおやすみモードを解除してください。	3-5
	充電しても、すぐに電池がなくなる	バッテリーが古くなっていませんか?	新しいバッテリーに交換してください。
充電台に置いていても  が緑色に点灯しない	充電端子が汚れていませんか?	充電端子の汚れを綿棒などで拭きとってください。	9-16
	充電台のACアダプタが電源コンセントから抜けていませんか?	ACアダプタを電源コンセントに接続してください。	1-23
	充電台に正しく置いてありますか?	端子同士が接続されるよう子機を充電台に正しく置いてください。	1-23

こんなときは	これをチェックしてください	こうしてください	参照ページ
子機で外線を受けたとき、きちんとつながらない	—	もう一度  を押してください。	—
子機の一部があたたかい	—	充電によるものです。故障ではありません。	—
<small>クリア・キャッチ</small> ○ が効かない	着信拒否の登録をした相手先からのキャッチホンではありませんか？	着信拒否に設定した相手先からの電話は いっさい受けることができません。受けた場合は着信拒否を解除してください。	別冊取扱説明書 1-4
電話帳操作中に強制終了される	操作中に親機が使用されませんでしたか？	親機使用後に再度操作してください。	2-11、2-12

子機のディスプレイのメッセージ

メッセージ	意 味	参照ページ
着信	信号の受信中に約2秒間表示されます。このとき呼出音は鳴りません。  が点滅し、呼出音が鳴ってから電話に出てください。	—
通話エリア外	子機と親機の距離が離れすぎています。 子機を親機に近づけてください。	9
電池残量がありません	子機を充電台に置いて、充電してください。	1-23
登録がありません	子機の電話帳に1件も登録されていません。	2-13
登録が一杯です	すでに子機の電話帳に100件登録されています。不要な電話帳を消去し、もう一度登録し直してください。	2-11、2-12
登録できません	電話番号を入力していないために、子機の電話帳に登録できません。電話番号を入力してください。 正しく時刻が入力されていません。正しく入力してください。	2-11 1-41、2-19
メッセージはありません	留守番電話に用件が録音されていません。	3-8

各部のお手入れ

親機外部と子機

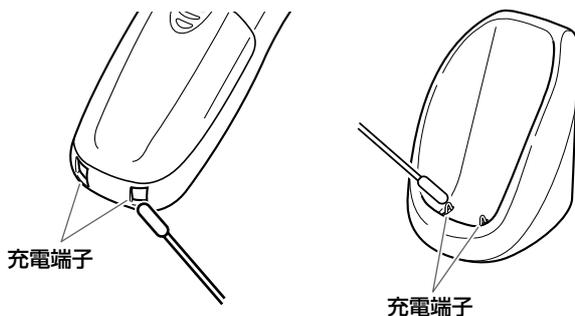
親機や子機の汚れは、乾いた柔らかい布で拭きとってください。汚れがひどいときは、水を含ませて固くしぼった布で拭きとった後、から拭きしてください。

警告 ベンジン、シンナー、アルコール、油類、化粧品、中性洗剤などは使用しないでください。



充電端子

子機や充電台の充電端子は、綿棒などを使って定期的に清掃してください。充電端子が汚れていると充電できなくなることがあります。



親機内部

原稿読み取り部、白色板、ローラー部、プリンタ部は定期的に清掃してください。原稿読み取り部が汚れていると、コピーや送信したファクスに汚れがついたりします。ローラー部が汚れていると、紙づまりや原稿の汚れの原因となります。また、記録用紙が詰まると、プリンタ部がインクで汚れてしまうことがあります。

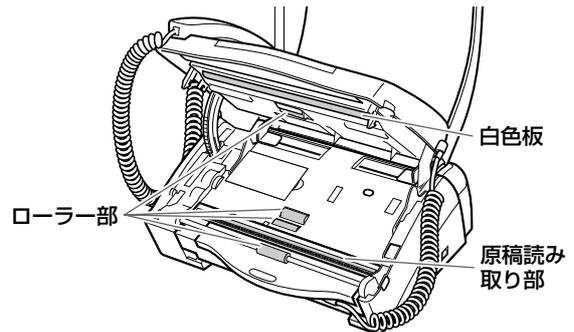
注意 親機の内部（原稿読み取り部・ローラー部・プリンタ部）を清掃するときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

(右上へつづく)

1 「開く」レバーを押し上げながら、ロックがかかるまで操作パネルを開ける

原稿読み取り部、白色板およびローラー部

2 原稿読み取り部と白色板、ローラー部を、水を含ませて固くしぼった布で拭く
原稿読み取り部と白色板は、水を含ませ固くしぼった布で拭いた後、乾いた布でから拭きしてください。



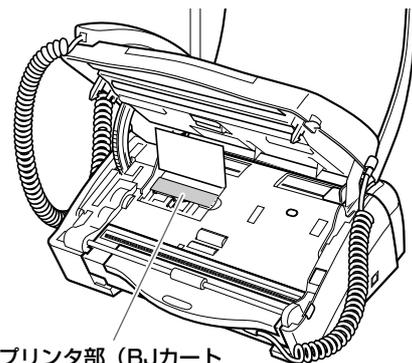
お願い

原稿読み取り部を清掃するときは、原稿読み取り部に傷をつけないようご注意ください。傷がつくと、コピーやファクスに線が入ったりすることがあります。

プリンタ部

3 内カバー（水色）を開ける

4 プリンタ部を乾いた柔らかい布で拭く



5 終わったら、内カバー（水色）を閉め、操作パネルを「カチッ」と音がするまで閉める
操作パネルの手前まん中をロックがかかるまで押します。清掃後はよく乾かしてからお使いください。

10 章 参考



主な仕様	10-2
消耗品／別売品について	10-3
区点コード表－JIS 漢字 第一水準漢字	10-4
区点コード表－JIS 漢字 第二水準漢字	10-7
保証とアフターサービス	10-10
外出先からのリモート操作早見表	10-13
索引	10-15
お客様ご相談窓口一覧	10-19

主な仕様

■ ファクス部

形名	CF-VL20
適用回線	一般加入電話回線、NCC回線、ファクシミリ通信網（F ネット：16 Hz）
圧縮方式	MH 方式
通信モード	G3 / ECM 主：8 dot / mm 副：3.85 line / mm（普通） 7.7 line / mm（細かい）
記録方式	バブルジェット方式
表示装置	液晶ディスプレイ（320 × 240 ドット、4.7インチ、バックライト付カラー）
通信速度	9600 / 7200 / 4800 / 2400bps：自動フォールバック
電送時間	約 18 秒 ^{*1}
中間調伝送	GENESIS64 階調
記録用紙サイズ	ハガキ、A4
最大記録有効幅	203.2 mm
最大送信原稿幅	257 mm（B4 サイズ）

■ 電話部

ダイヤル形式	押しボタン式パルスダイヤル / 押しボタン式トーンダイヤル
選択信号種別	DP 信号（10PPS / 20PPS） PB 信号（DTMF）
電話番号の記憶容量	親機：電話帳ダイヤル 100 局（23 桁以内）、ホットライン番号 2 局（32 桁以内）、着信履歴 30 局、リダイヤル 1 局 子機：電話帳ダイヤル 100 局（20 桁以内）、着信履歴 30 局、リダイヤル 5 局

■ 留守録部

自作応答メッセージ	1 件（最大約 40 秒）
用件録音時間	最大約 20 分（用件録音 30 件、受信ファクス 20 件）

■ コードレス部（子機）

使用可能距離	約 100 m（環境により異なる）
充電完了時間	約 10 時間
使用可能時間（充電完了後）	連続通話時：約 9 時間 待ち受け時：約 180 時間

■ 共通部

寸法（幅×奥行×高さ） 単位：mm	親機：340 × 366 × 322 （受話器、記録用紙カバーユニット含む、突起部、アンテナ除く） ハンドスキャナ：273 × 76 × 40（カーコード除く） 子機：46.4 × 47.9 × 180.5 充電台：66 × 100 × 80
質量	親機：約 5 kg ハンドスキャナ：約 250 g 子機：約 170 g（バッテリー含む） 充電台：約 75 g（ACアダプタ含まず）
電源	親機：AC100 V 50 / 60 Hz 子機：2.4 V、600 mAh（ニカド電池） ^{*2} 充電台：ACアダプタ DC7.5 V、100 mA
直流抵抗値	約 115 Ω
消費電力	親機：約 5 W（待機バックライトオフ時） / 約 8 W（待機バックライトオン時） / 約 55 W（動作時最大） 子機、充電台：約 1.6 W（充電中、ACアダプタ含む）
使用環境	温度：10 °C ~ 32.5 °C 湿度：20 % ~ 80 %RH

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

*1：当社 A4 標準原稿を「普通」で送ったときの時間です。これは画像情報のみの転送速度で、通信の制御時間は含まれていません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります。

*2：ニカド電池はリサイクル可能です。使用済みの電池は、お買い上げの販売店までお持ちいただき、リサイクル推進にご協力をお願いいたします。

消耗品／別売品について

キヤノンでは次のような消耗品や別売品を用意しております。本機の故障などを防ぐためにも、キヤノン純正品をお使いください。

■ BJカートリッジ（プリントヘッドユニットとインクタンクで構成されています）

製品名	入り数	内 容
ブラックBJカートリッジ BC-10	1 個	交換用のBJカートリッジです。
カラーBJカートリッジ BC-11e	1 個	交換用のBJカートリッジです。
フォトBJカートリッジ BC-12e フォト*	1 個	交換用のBJカートリッジです。

* 本機のPCプリンタ機能を使うときにのみご使用になれます。

■ インクタンク*1（交換用のインクタンクです。インクがなくなったときはこちらをお買い求めください）

製品名	入り数	内 容
インクカートリッジ BCI-10 Black	3 個／パック	ブラックBJカートリッジBC-10用のインクタンクです。ブラックのインクが入っています。
インクカートリッジ BCI-17 Black	1 個／パック	ブラックBJカートリッジBC-10用の大容量インクタンクです。ブラックのインクが入っています。
インクカートリッジ BCI-11 Color	3 個／パック	カラーBJカートリッジBC-11e用のインクタンクです。シアン、マゼンタ、イエローの3色のインクが入っています。
インクカートリッジ BCI-11 Black	3 個／パック	カラーBJカートリッジBC-11e用のインクタンクです。ブラックのインクが入っています。
インクカートリッジ BCI-12 フォトColor*2	3 個／パック	フォトBJカートリッジBC-12e用のインクタンクです。フォトシアン、フォトマゼンタ、フォトイエロー3色のインクが入っています。
インクカートリッジ BCI-12 フォトBK*2	3 個／パック	フォトBJカートリッジBC-12e用のインクタンクです。ブラックのインクが入っています。

*1 BJカートリッジとの混乱を避けるため、本文中ではインクカートリッジを「インクタンク」と表現しています。

*2 本機のPCプリンタ機能を使うときにのみご使用になれます。

■ 記録用紙

製品名	入り数	内 容
バブルジェット用普通紙 LC-301 A4	100 枚／冊	BJ用の推奨普通紙です。
ニュープリンタペーパー CP-250 (A4)	250 枚 ／冊	
光沢ハガキ KH-201N	50 枚／冊	BJ用の光沢ハガキです。(ハガキサイズ)

■ その他

製品名	入り数	内 容
コードレス子機用バッテリー HBT300	1 個	子機用の電池パックです。
増設子機コードレスキット CL8	1 セット	CF-VL20専用の増設子機です。付属されている子機も含めて4台まで増設できます。
キャリヤシート 5 キャリヤA (A4サイズ)	5 枚／袋	破れた原稿や、反っている原稿など、状態の悪い原稿をはさんで、ファクス送信やコピーに使用します。

2003年3月1日現在

準
備

電
話

留守番電話

ファクス

コピー

ハンドスキャナ

ドアホン

設

定

こんなときは

参
考

区点コード表 - JIS 漢字 第一水準漢字

漢字コードは左列の番号と上横列の番号を組み合わせた4桁の番号です。(例) 亜 漢字コード 1601
 下記の漢字コード表は JIS 区点コード (第一水準漢字) に準じています (一部記号を除く)。

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
記号	010	(SP)、。	:	:	:	?	
	011	!	^	^	^	^	^	^	^	^	^	
	012	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	ˆ	
	013	-	/	\	~			'	'	
	014	“	”	()	{ }	[]	{}					
	015	<	>	<>	「	」	『	』	【	】		
	016	+	-	±	×	÷	=	≠	<	>	≤	
	017	≥	∞	∴	♂	♀	°	'	”	℃	¥	
	018	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	
	019	★	○	●	◎	◇						
	020	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒		
	021	→	←	↑	↓	=						
	022								ε	≡	⊆	
	023	⊂	⊃	∪	∩							
	024	∧	∨	¬	⇒	⇔	∇	∃				
	026	∠	⊥	∩	∅	∇	≡	≠	≪	≫	√	
	027	∞	∞	∴	f	ff						
	028	Å	%	#	b	♪	†	‡	¶			
	029										○	
	数字	031							0	1	2	3
		032							4	5	6	7
	アルファベット	033							A	B	C	D
		034							E	F	G	
		035							H	I	J	K
		036							L	M	N	O
		037							P	Q		
		038							R	S	T	U
		039							V	W	X	Y
									Z			
								a	b	c	d	
								e				
ひらがな	040	あ	い	う	え	お						
	041	か	き	く	け	こ						
	042	さ	し	じ	せ	そ						
	043	た	ち	つ	て	と						
	044	な	に	ぬ	ね	の	は	ば				
	045	ひ	び	ふ	ぶ	へ	べ					
	046	ぼ	ま	み	む	め	も	や	ゆ			
	047	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ			
048	ゐ	ゑ	を	ん								
カタカナ	050	ア	イ	ウ	エ	オ						
	051	カ	キ	ク	ケ	コ						
	052	サ	シ	ス	セ	ソ						
	053	タ	チ	ツ	テ	ト						
	054	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ				
	055	ヒ	ビ	フ	ブ	ヘ	ベ					
	056	ボ	マ	ミ	メ	モ	ヤ	ユ				
	057	ヨ	ラ	リ	ル	ロ	ワ					
	058	キ	エ	ラ	ン	ヴ	カ	ケ				
	059											

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
特殊記号	060	A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I		
	061	K	Λ	M	N	Ξ	O	Π	P	Σ	T	
	062	Τ	Φ	X	Ψ	Ω						
	063			α	β	γ	δ	ε	ζ	η		
	064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	
	065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω				
	070	A	B	B	Γ	Д	E	Ё	Ж	З		
	071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	
	072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	
	073	Ь	Э	Ю	Я							
	074										a	
	075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	
	076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у	
	077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	
	078	ю	я									
	079											
	080	—		Г	Г	┘	┘	┘	┘	┘	┘	
	081	┘	┘	┘	┘	┘	┘	┘	┘	┘	┘	
	082	┘	┘	┘	┘	┘	┘	┘	┘	┘	┘	
	083	┘	┘	┘								
	あ	160	亜	啞	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	
		161	葵	茜	穉	惡	握	渥	旭	葦	蓼	鱒
		162	梓	庠	幹	扱	宛	姐	虵	飴	絢	綾
		163	鮎	或	粟	裕	安	庵	按	暗	案	闇
		164	鞞	杏								
		164	以	伊	位	依	偉	圉	夷	委		
		165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
	166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医	
	167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壹	溢	逸	
168	稻	茨	芋	鯛	允	印	咽	員	因	姻		
169	引	飲	淫	胤	蔭							
170	院	陰	隱	韻	吋							
う	170										右	
	171	迂	雨	卯	鵠	窺	丑	確	白	渦	嘘	
	172	唄	鬱	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	
	173	云	運	雲								
え	173	萑	餌	叡	營	嬰	影	映				
	174	曳	榮	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	
	175	衛	詠	銳	液	疫	益	馱	悅	謁	越	
	176	閎	榎	厭	圀	堰	奄	宴	延	怨		
	177	掩	援	沿	濱	炎	焰	煙	燕	猿	緣	
178	艷	苑	蘭	遠	鉛	鴛	塹					
お	178										於	
	179	凹	央	奧	往	応						
	180	押	旺	横	欧	毆	王	翁	襖	鶯		
	181	鷗	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶	
	182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音			

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
か	182										下
	183	仮	何	伽	伽	佳	加	可	嘉	夏	嫁
	184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
	185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
	186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
	187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	188	介	会	解	回	塊	壞	廻	快	怪	悔
	189	恢	懷	戒	拐	改					
	190	魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	
	191	蟹	開	階	貝	凱	効	外	咳	害	崖
	192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	漚
	193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
	194	拡	攪	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
	195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
	196	顎	掛	笠	檜	櫃	梶	鯨	渴	割	喝
	197	恰	括	活	渴	滑	葛	褐	轄	且	鯉
	198	叶	枕	樺	鞆	株	兜	竈	蒲	釜	鎌
	199	囀	鳴	栢	茅	萱					
	200	粥	刈	苜	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	
	201	勘	勸	卷	喚	堪	姦	完	官	寬	干
	202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
	203	款	歡	汗	漢	澗	灌	環	甘	監	看
	204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	觀
	205	諫	貫	還	鑑	間	閑	閑	陷	韓	館
	206	縮	丸	含	岸	巖	玩	癌	眼	岩	翫
	207	膺	雁	頑	顔	願					
	き	207									
208		基	奇	嬉	奇	岐	希	幾	忌	揮	机
209		旗	既	期	棋	棄					
210		機	婦	毅	氣	汽	畿	祈	季	稀	
211		紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212		鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺
213		犧	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214		吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215		客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216		宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	
218	巨	拒	捩	拳	渠	虚	許	距	鋸	漁	
219	禦	魚	亨	亨	京						
220	供	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡		
221	卿	叫	喬	境	峽	強	彊	怯	恐	恭	
222	挾	教	橋	況	狂	狹	矯	胸	脅	興	
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	堯	曉	
224	業	局	曲	極	玉	桐	籽	僅	勤	均	
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀		

分類	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
く	226									九	
	227	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	軀	驅	駢
	228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
	229	串	櫛	釧	屑	屈					
	230		掘	窟	杏	靴	響	窪	熊	隈	糸
	231	栗	線	桑	歛	勲	君	薰	訓	群	軍
232	郡										
け	232	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	
	233	珪	型	契	形	徑	惠	慶	慧	憩	揭
	234	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系	經	繼
	235	繫	罨	荃	荊	蚩	計	詣	警	輕	頸
	236	鷄	芸	迎	鯨	劇	戟	擊	激	隙	桁
	237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	238	儉	倦	健	兼	券	劍	喧	圈	堅	嫌
	239	建	憲	懸	拳	捲					
	240		檢	權	牽	犬	獻	研	硯	絹	具
	241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	險	顛	驗
242	齷	元	原	巖	幻	弦	減	源	玄	現	
243	絃	絃	言	諺	限						
こ	243					乎	個	古	呼	固	
	244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	
	245	糊	袴	股	胡	葫	虎	誇	跨	鉅	
	246	顧	鼓	五	互	伍	午	吳	吾	娛	
	247	御	悟	梧	檣	瑚	碁	語	誤	護	
	248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倅	光	公	
	249	効	勾	厚	口	向					
	250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	
	251	巧	巷	幸	庾	康	弘	恒	慌	抗	
	252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	
	253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	
	254	紅	絃	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	
	255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	醇	
	256	砧	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	
	257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	趨	克	
	258	告	国	穀	酷	鵠	黑	獄	漉	腰	
	259	忽	忽	骨	狛	込					
	260		此	頃	今	困	坤	壘	婚	恨	
261	昏	昆	根	根	混	痕	紺	良	魂		
さ	261									些	
	262	佐	又	峻	左	差	查	沙	瑳	砂	
	263	詐	鎖	裘	坐	挫	債	催	再	最	
	264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	裁	濟	
	265	災	采	犀	碎	砦	祭	齋	細	菜	
	266	載	際	劑	在	材	罪	財	冴	坂	
	267	堺	柵	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	
	268	咋	榨	咋	朔	柵	窄	策	索	錯	
	269	鮭	筐	匙	冊	刷					
	270		察	撈	撮	擦	札	殺	薩	雜	
	271	鯖	捌	錯	鮫	皿	晒	三	傘	參	
	272	慘	撒	散	棧	燦	珊	產	算	纂	
273	讚	贊	酸	餐	斬	暫	殘				

分類	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
し	273									仕
	274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉
	275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜
	276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私
	277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試
	278	諮	資	賜	雌	鹵	菌	事	似	侍
	279	字	寺	慈	持	時				
	280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示
	281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	氏	識	鳴
	282	軸	穴	零	七	叱	執	失	嫉	室
	283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	俣	柴
	284	屢	蕊	縞	舍	写	射	捨	赦	斜
	285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借
	286	尺	杓	灼	酌	酌	錫	若	寂	弱
	287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠
	288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授
	289	綬	需	囚	収	周				
	290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀
	291	終	繡	習	舟	菟	衆	襲	讐	蹴
	292	輯	週	酋	醜	醜	什	住	充	十
293	從	戎	柔	汁	泚	獸	縱	重	銃	
294	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熟	出	
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	
296	旬	楯	殉	準	準	潤	盾	純	巡	
297	醇	順	処	初	暑	曙	渚	庶	緒	
298	署	書	薯	諸	諸	助	叙	女	序	
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	尚	唱	嘗	
301	妾	娼	宵	將	小	少	尚	庄	床	
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	
303	松	梢	樟	樵	沼	涉	湘	燒	焦	
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	
305	紹	肖	莒	蔣	衡	衝	裳	訟	証	
306	詳	象	賞	醬	鉦	鐘	鐘	障	鞘	
307	丈	丞	乘	冗	剩	城	場	壤	孃	
308	情	擾	条	杖	淨	状	晷	穰	蒸	
309	釀	錠	囑	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	舐	
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	昏	娠	寢	
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	
315	尋	甚	尽	腎	迅	迅	陣	朝		
す	315									筭
	316	須	酢	囃	厨	逗	吹	垂	帥	推
	317	炊	睡	粹	翠	衰	醉	醉	錘	錘
	318	瑞	髓	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据
	319	梟	菅	頗	雀	裾				
	320		澄	摺	寸					
せ	320									世
	321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴

分類	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
せ	322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声
	323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	齊
	324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石
	325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切
	326	接	撰	折	設	窃	節	說	雪	絶
	327	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川
	328	扇	撰	栓	梅	泉	浅	洗	染	潜
	329	煽	旋	穿	箭	線				
	330		織	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤
	331	選	遷	錢	銑	閃	鮮	前	善	漸
そ	332	全	禪	繕	膳					
	332									糰
	333	曾	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗
	334	組	蘇	訴	阻	週	鼠	僧	創	双
	335	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匪	惣
	336	搜	掃	挿	搔	操	早	曹	巢	槍
	337	漕	燥	争	瘦	相	窓	糴	綜	綜
	338	草	莊	葬	蒼	藻	装	走	送	遭
	339	霜	騷	像	增	憎				
	340		臟	藏	贈	造	促	側	則	即
た	341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	
	342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	
	343	他	多	太	汰	詔	唾	墮	妥	
	344	柁	舵	楫	陀	駄	驛	体	堆	
	345	岱	帶	待	怠	態	戴	替	泰	
	346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	
	347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	
	348	宅	托	扱	拓	沢	濯	琢	託	
	349	諾	茸	珮	蛸	只				
	350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	
ち	351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	單	
	352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	
	353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	团	壇	
	354	暖	檀	段	男	談				
	354									值
	355	智	池	痴	稚	置	致	蚰	遲	
	356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	
	357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	
	358	註	耐	鏝	駐	樗	瀦	猪	苧	
	359	丁	兆	凋	喋	寵				
つ	360									帖
	361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聰	腸	
	362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	
	363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳		
	363									津
	364	槌	追	鎚	痛	通	塚	榎	榎	
	365	漬	柘	辻	蔦	綴	鏝	椿	潰	
	366	孀	袖	爪	吊	釣	鶴			
て	366									亭
	367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底		

区点コード表— JIS 漢字 第一水準漢字 (つづき)

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
て	369	艇	訂	諦	蹄	通					
	370	邸	鄭	釘	鼎	泥	擢	敵	滴		
	371	的	笛	適	鎬	溺	哲	徹	撤	轍	迭
	372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
	373	転	顛	点	伝	殿	澗	田	電		
	373										兔吐
と	374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
	375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
	376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
	377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	棹	棟
	378	盜	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	禱	等
	379	答	筒	糖	統	到					
	380	董	蕩	藤	討	膳	豆	踏	逃	透	
	381	鐙	陶	頭	騰	鬪	働	動	同	堂	導
	382	懂	撞	洞	瞳	童	胴	菊	道	銅	峠
	383	鴿	匿	得	德	澆	特	督	禿	篤	毒
	384	独	読	柄	椽	凸	突	楸	届	鳶	苦
	385	寅	酉	滯	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
	386	頓	吞	曇	鈍						
	な	386									
387		謎	灘	捺	鍋	槽	馴	繩	啜	南	楠
388		軟	難	汝							
に	388										二尼式迹匂賑肉
	389	虹	廿	日	乳	入					
	390	如	尿	蕪	任	妊	忍	認			
ぬ	390										濡
ね	390										襦
	391	衾	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
	392	粘									
の	392	乃	廼	之	埜	囊	惱	濃	納	能	
	393	腦	膿	農	覩	蚤					
は	393										巴把播霸杷
	394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廢
	395	拌	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
	396	倍	培	媒	梅	煤	煤	貝	買	壳	賠
	397	陪	這	蠅	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
	399	爆	縛	莫	駁	麥					
	400	函	箱	筈	箸	肇	筓	櫛	幡	肌	
	401	畑	畠	八	鉢	澆	兇	醜	髮	伐	罰
	402	拔	筏	閥	鳩	嗶	塙	蛤	隼	伴	判
	403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	汎	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	采	煩	
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磬	蕃	蚤		
ひ	405										匪
	406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	披	斐	
	407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	408	誹	費	避	非	飛	樋	篋	備	尾	微
	409	枇	毘	毳	眉	美					
	410	鼻	柎	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	
	411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ひ	412	百	謬	俵	彪	標	水	漂	瓢	票	表
	413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	鋤	鋌	蒜
	414	蛭	鱗	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
	415	敏	瓶								
	415										
ふ	416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
	417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	路
	419	伏	副	復	幅	服					
	420	福	腹	複	覆	淵	弗	弘	沸	仏	
	421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
	422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	422										
へ	423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
	424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	篋	偏	變
	425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	婉	弁
	426	鞭									
	426	保	舖	鋪	圃	捕	步	甫	補	輔	
ほ	427	穗	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
	429	抱	捧	放	方	朋					
	430	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	
	431	蜂	褒	訪	豐	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
	432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
	433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
	434	銚	防	吠	頰	北	僕	卜	墨	撲	朴
	435	牧	睦	穆	鉤	勃	沒	殆	堀	幌	奔
	436	本	翻	凡	盆						
ま	436										摩磨魔麻埋妹
	437	味	枚	每	哩	楨	幕	膜	枕	鮪	枉
	438	鱒	枿	亦	僕	又	抹	末	沫	迄	俣
	439	爾	磨	万	慢	滿					
	440	漫	蔓								
み	440										味未魅巳箕岬密
	441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	耗	民	眠	
む	441										務
	442	夢	無	牟	矛	霧	鷓	棕	婿	娘	
め	442										冥
	443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
	444	免	棉	綿	緬	面	麵				
も	444										摸模茂妄
	445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默
	446	目	柰	勿	餅	尤	戾	初	貫	問	悶
	447	紋	門								
	447										
や	448	矢	厄	役	約	葉	訳	躍	靖	柳	藪
	449	鏝									
	449	愉	愈	油	癒						
ゆ	450	論	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	
	451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
よ	452										予
	453	余	与	譽	輿	預	備	幼	妖	容	庸
	454	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	溶	熔	用
	455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謠	踊	遙	陽
	456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら	456										羅
	457	螺	裸	来	萊	賴	雷	洛	絡	落	酪
	458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽		
り	458										利吏
	459	履	李	梨	理	璃					
	460	痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	
	461	葎	掠	略	劉	溜	琉	留	硫	粒	
	462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
	463	兩	凌	寮	料	梁	涼	獺	療	瞭	稜
	464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	綠	倫
465	厘	林	淋	麟	琳	臨	輪	隣	鱗	鱗	
る	466	瑠	罌	淚	累	類					
れ	466										令伶俐冷励
	467	嶺	伶	玲	礼	苓	鈴	隸	零	靈	麗
	468	齡	曆	歷	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
	469	漣	煉	簾	練	聯					
	470	蓮	連	鍊							
ろ	470										呂魯櫓炉路路
	471	露	劣	婁	廊	弄	朗	榔	榔	浪	漏
	472	牢	狼	籠	老	聾	蠟	郎	六	麓	祿
	473	肋	録	論							
わ	473										倭和話歪賄脇惑
	474	梓	鷲	互	巨	鰐	詫	藁	蕨	腕	湾
	475	碗	腕								

区点コード表ー JIS 漢字 第二水準漢字

相手機の仕様によっては、サポートしていない第二水準漢字を使用するとその漢字がプリントされるべき場所はスペース（空白）になる場合があります。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
480	弋	丐	丕	个	卩	丶	井	ノ	父	
481	乖	乘	亂	丿	豫	事	舒	式	于	亞
482	亟	一	亢	京	毫	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仞	仞	价	伉	佚	估	佛
484	佢	佗	佗	佗	佗	佗	佗	佗	佗	佗
485	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑
486	俑	侗	侗	侗	侗	侗	侗	侗	侗	侗
487	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅
488	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃
489	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
490	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
491	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊
492	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊
493	兢	兢	兩	兪	兮	冀	門	回	册	冉
494	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏
495	冫	決	冫	冲	冰	况	冽	涸	涼	凜
496	几	處	几	凭	鳳	口	函	刃	刊	刂
497	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂
498	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊
499	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊
500	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊
501	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛
502	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚
503	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚
504	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮
505	厶	厶	厶	厶	厶	厶	厶	厶	厶	厶
506	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭
507	吩	吩	吩	吩	吩	吩	吩	吩	吩	吩
508	咒	咒	咒	咒	咒	咒	咒	咒	咒	咒
509	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
510	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫
511	唔	唔	唔	唔	唔	唔	唔	唔	唔	唔
512	售	售	售	售	售	售	售	售	售	售
513	咯	咯	咯	咯	咯	咯	咯	咯	咯	咯
514	喻	喻	喻	喻	喻	喻	喻	喻	喻	喻
515	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔
516	嘴	嘴	嘴	嘴	嘴	嘴	嘴	嘴	嘴	嘴
517	啤	啤	啤	啤	啤	啤	啤	啤	啤	啤
518	嚼	嚼	嚼	嚼	嚼	嚼	嚼	嚼	嚼	嚼
519	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹
520	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉
521	坏	坏	坏	坏	坏	坏	坏	坏	坏	坏
522	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩
523	埔	埔	埔	埔	埔	埔	埔	埔	埔	埔
524	堡	堡	堡	堡	堡	堡	堡	堡	堡	堡
525	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟
526	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟
527	壺	壺	壺	壺	壺	壺	壺	壺	壺	壺

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
528	夭	本	夸	夾	竒	奕	奂	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	獎	奩					
530	奸	妁	妝	佞	佞	妣	妣	妣	妣	妣
531	姜	妍	姪	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娉
532	姍	姍	姍	姍	姍	姍	姍	姍	姍	姍
533	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵
534	嬌	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵
535	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀
536	學	孛	孛	孛	孛	孛	孛	孛	孛	孛
537	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔
538	寶	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅
539	尹	屮	屮	屮	屮	屮	屮	屮	屮	屮
540	屮	屮	屮	屮	屮	屮	屮	屮	屮	屮
541	岑	岔	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌	岌
542	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
543	崗	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑
544	嶽	嶽	嶽	嶽	嶽	嶽	嶽	嶽	嶽	嶽
545	嶽	嶽	嶽	嶽	嶽	嶽	嶽	嶽	嶽	嶽
546	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔
547	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑
548	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟
549	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂
550	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂
551	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂
552	彝	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋
553	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎
554	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃
555	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃
556	惠	惠	惠	惠	惠	惠	惠	惠	惠	惠
557	怕	怕	怕	怕	怕	怕	怕	怕	怕	怕
558	協	協	協	協	協	協	協	協	協	協
559	惴	惴	惴	惴	惴	惴	惴	惴	惴	惴
560	惴	惴	惴	惴	惴	惴	惴	惴	惴	惴
561	惠	惠	惠	惠	惠	惠	惠	惠	惠	惠
562	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
563	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
564	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
565	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
566	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
567	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
568	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
569	戊	戊	戊	戊	戊	戊	戊	戊	戊	戊
570	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛
571	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌
572	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌
573	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌
574	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌
575	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
576	掉	掙	掙	掙	掙	掙	掙	掙	掙	掙
577	揉	插	插	插	插	插	插	插	插	插
578	攝	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗
579	撓	撓	撓	撓	撓	撓	撓	撓	撓	撓
580	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據
581	舉	擠	擠	擠	擠	擠	擠	擠	擠	擠
582	擺	攀	攀	攀	攀	攀	攀	攀	攀	攀
583	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸
584	敵	敵	敵	敵	敵	敵	敵	敵	敵	敵
585	斷	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃
586	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃
587	易	易	易	易	易	易	易	易	易	易
588	晟	哲	晰	晔	暎	暎	暎	暎	暎	暎
589	暨	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎
590	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎	暎
591	曳	曷	曷	曷	曷	曷	曷	曷	曷	曷
592	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶
593	枉	杰	杰	杰	杰	杰	杰	杰	杰	杰
594	柳	柯	柯	柯	柯	柯	柯	柯	柯	柯
595	柢	柢	柢	柢	柢	柢	柢	柢	柢	柢
596	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀
597	梟	梟	梟	梟	梟	梟	梟	梟	梟	梟
598	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵
599	桐	榜	榜	榜	榜	榜	榜	榜	榜	榜
600	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮	楮
601	棹	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠
602	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷
603	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭
604	橙	橙	橙	橙	橙	橙	橙	橙	橙	橙
605	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧
606	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧
607	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧
608	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧
609	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧
610	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧
611	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧
612	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧
613	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎
614	殄	殄	殄	殄	殄	殄	殄	殄	殄	殄
615	殄	殄	殄	殄	殄	殄	殄	殄	殄	殄
616	毳	毫	毫	毫	毫	毫	毫	毫	毫	毫
617	氣	氣	氣	氣	氣	氣	氣	氣	氣	氣
618	汾	汜	汜	汜	汜	汜	汜	汜	汜	汜
619	泗	泗	泗	泗	泗	泗	泗	泗	泗	泗
620	泗	泗	泗	泗	泗	泗	泗	泗	泗	泗
621	洽	洗	洗	洗	洗	洗	洗	洗	洗	洗
622	浚	浚	浚	浚	浚	浚	浚	浚	浚	浚
623	涵	淇	淇	淇	淇	淇	淇	淇	淇	淇

準
備
電
話
留
守
番
電
話
フ
ァ
ク
ス
コ
ピ
ー
ハ
ン
ド
ス
キ
ャ
ナ
ド
ア
ホ
ン
設
定
こ
ん
な
と
き
は
参
考

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
777	辭	辯	汜	洄	迢	迪	迓	邇	迥	
778	迨	迹	迳	逯	逦	迨	逞	逖	逋	
779	迳	透	逵	逵	逵					
780		遏	遏	迨	迨	迨	迨	迨	迨	
781	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	
782	邊	邊	邳	邳	邳	邳	邳	邳	邳	
783	邳	邳	邳	邳	邳	邳	邳	邳	邳	
784	酥	醅	醅	醅	醅	醅	醅	醅	醅	
785	醅	醅	醅	醅	醅	醅	醅	醅	醅	
786	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	
787	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	
788	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	
789	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	
790		鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	
791	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	
792	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	
793	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	
794	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	
795	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	
796	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	
797	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	
798	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	
799	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	
800		陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	
801	險	隱	隱	隱	隱	隸	隸	隸	隸	
802	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	
803	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	
804	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	
805	靴	靴	靴	靴	靴	靴	靴	靴	靴	
806	靴	靴	靴	靴	靴	靴	靴	靴	靴	
807	靴	靴	靴	靴	靴	靴	靴	靴	靴	
808	詔	韻	韻	韻	韻	韻	韻	韻	韻	
809	韻	韻	韻	韻	韻	韻	韻	韻	韻	
810		颯	颯	颯	颯	颯	颯	颯	颯	
811	飴	飴	飴	飴	飴	飴	飴	飴	飴	
812	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	
813	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	
814	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	
815	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	
816	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	
817	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	
818	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	
819	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	
820		髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	
821	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	
822	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	
823	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	
824	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	
825	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	
826	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	
827	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
828	馱	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	
829	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	
830		鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	
831	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	
832	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	
833	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	
834	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	
835	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	
836	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	
837	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	
838	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	
839	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	
840		堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	

保証とアフターサービス

保証書と保証期間

- このファクシミリには、保証書が同梱されています。
保証書はお買い上げの販売店で、所定事項を記入してお渡しますので、内容をよくご確認のうえ大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げの日から1年間です。
故障の内容によっては保証期間中でも有料になることがあります。

アフターサービス

修理を依頼されるときは、「故障かな?と思ったら」(9-10ページ)をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも不具合があるときは、使用をやめて電源コードを抜き、修理をご依頼ください。詳しくは、「修理をご依頼いただく場合は」(10-11ページ)をご覧ください。危険ですからご自分での修理は絶対にしないでください。

サービスメニュー

キヤノンでは、お客様のニーズに合ったサービスをご用意しています。以下のサービスメニューからお選びいただき、ご依頼ください。

サービスメニュー一覧

		宅配メンテナンスサービス	送付修理サービス	持込み修理サービス	出張修理サービス
保証期間内	送料(訪問料)	△※3	△※1	-	△※2
	作業料金	○	○	○	○
	部品代	○	○	○	○
保証期間終了後	送料(訪問料)	△※3	△※1	-	△
	作業料金	△	△	△	△
	部品代	△	△	△	△
お問い合わせ/ご依頼先		お客様サポートネット (0570)01-9000	キヤノンテクニカルセンター (0297)35-5000	弊社サービスセンター 10-19ページをご覧ください	お客様サポートネット (0570)01-9000

○印は、弊社負担にてお受けします。△印は、お客様負担となります。

※1 キヤノンテクニカルセンターまでの送料および諸掛かりはお客様の負担となります。

※2 出張料金を申し受けます。

※3 引き取り料金を申し受けます。

●宅配メンテナンスサービス

お客様のご自宅へご希望日に商品を引き取りにお伺いし、修理完了後にお届けいたします。

※宅配メンテナンスサービスは国内のみのお取り扱いとなります。

●送付修理サービス

お客様ご自身で宅配または郵送により以下の宛先にお送りください。修理完了後にお届けいたします。

<ご送付先> キヤノンテクニカルセンター

〒306-0605 茨城県岩井市大字馬立1234 F7棟 (0297) 35-5000

●持込み修理サービス

最寄の弊社サービスセンターもしくはお買い上げの販売店に直接お持ち込みください。

●出張修理サービス

お客様のご希望により、出張修理サービスも手配させていただきます。

補修用性能部品について

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は製品の製造打ち切り後7年間です。

消耗品は

消耗品はお買い上げいただいた販売店、お近くのキヤノン製品取り扱い店およびキヤノン販売（株）販売窓口にてご購入ください。

その他ご不明な点は

アフターサービスについておわかりにならないときは、お買い上げの販売店または最寄りのキヤノンサービスセンター（10-19ページ）までお問い合わせください。

修理をご依頼いただく場合は

修理をご依頼の際は、10-12ページの「パーソナル商品 修理受付票」のコピーをとって必要事項をご記入のうえ、本体と一緒にお買い上げの販売店、または最寄りのキヤノンサービスセンター（10-19ページ）までご持参またはご送付ください。引き取り修理サービスをご利用される場合は、「お客様相談センター全国共通電話番号」（10-19ページ）にお問い合わせください。

保証とアフターサービス (つづき)

(コピーして使用してください。)

パーソナル商品 修理受付票

フリガナ

お客様のお名前 :

ご住所 : 〒

電話番号 :

製品名 : CF-VL20

機番 :

お買い上げ日 : 年 月 日

故障した日 : 年 月 日

保証期間 : 期間中/期間切れ

(保証期間中に修理をご依頼の際は、必ず保証書を商品といっしょにお持ちください)

故障内容 : (どのようにご使用時に)

(どのような不具合がありますか)

お客様からのご連絡 (ご自由にお使いください)

お買い上げいただいた販売店 :

販売店の住所 : 〒

電話番号 :

外出先からのリモート操作早見表

外出先からのリモート操作早見表です。切り取って、定期入れや名刺入れなどに入れてご利用ください。詳しい操作方法については「外出先から操作する」(3-7ページ)をご覧ください。

準備

電話

留守番電話

ファクス

コピー

ハンズキャナ

ドアホン

設定

定

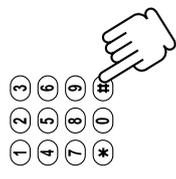
こんなときは

参考

外線リモート操作早見表

■外線リモート操作の手順

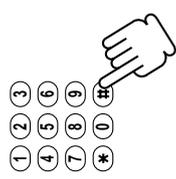
- 1 自宅に電話をかける

 トーン信号の出せる電話機から操作します。
- 2 応答メッセージが流れている間に **#** を押す

- 3 「暗証番号を入れてください」
 →暗証番号(4桁の数字)を入力する
 暗証番号：
- 4 外線リモート操作する
 裏面をご覧ください。
- 5 終わったら電話を切る


外線リモート操作早見表

■外線リモート操作の手順

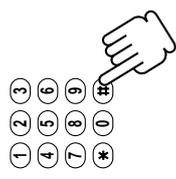
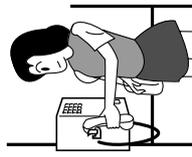
- 1 自宅に電話をかける

 トーン信号の出せる電話機から操作します。
- 2 応答メッセージが流れている間に **#** を押す

- 3 「暗証番号を入れてください」
 →暗証番号(4桁の数字)を入力する
 暗証番号：
- 4 外線リモート操作する
 裏面をご覧ください。
- 5 終わったら電話を切る


外線リモート操作早見表

■外線リモート操作の手順

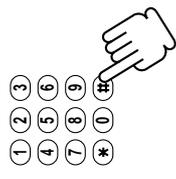
- 1 自宅に電話をかける

 トーン信号の出せる電話機から操作します。
- 2 応答メッセージが流れている間に **#** を押す

- 3 「暗証番号を入れてください」
 →暗証番号(4桁の数字)を入力する
 暗証番号：
- 4 外線リモート操作する
 裏面をご覧ください。
- 5 終わったら電話を切る


外線リモート操作早見表

■外線リモート操作の手順

- 1 自宅に電話をかける

 トーン信号の出せる電話機から操作します。
- 2 応答メッセージが流れている間に **#** を押す

- 3 「暗証番号を入れてください」
 →暗証番号(4桁の数字)を入力する
 暗証番号：
- 4 外線リモート操作する
 裏面をご覧ください。
- 5 終わったら電話を切る


外出先からのリモート操作早見表 (つづき)

■外線リモート操作

用件を聞く
② #

再生中にできること

次の用件を聞く
⑥
聞いている用件を最初から聞く ④
ひとつ前の用件を聞く ④
再生を途中で止める ④
今聞いている用件を消す ④
再生速度を変える ②
通常再生→早聞き→遅聞き

留守モードセット/解除
① #

留守録転送のセット/解除
⑦ #

すべての用件を消去する
① ① ① #

通話録音を聞く
③ #

通話録音再生中にできること

通話録音を最初から聞く ④
再生を途中で止める ⑤
通話録音を消す ⑤
再生速度を変える ②
通常再生→早聞き→遅聞き

外線リモート操作終了
⑨ #

■外線リモート操作

用件を聞く
② #

再生中にできること

次の用件を聞く
⑥
聞いている用件を最初から聞く ④
ひとつ前の用件を聞く ④
再生を途中で止める ④
今聞いている用件を消す ④
再生速度を変える ②
通常再生→早聞き→遅聞き

留守モードセット/解除
① #

留守録転送のセット/解除
⑦ #

すべての用件を消去する
① ① ① #

通話録音を聞く
③ #

通話録音再生中にできること

通話録音を最初から聞く ④
再生を途中で止める ⑤
通話録音を消す ⑤
再生速度を変える ②
通常再生→早聞き→遅聞き

外線リモート操作終了
⑨ #

■外線リモート操作

用件を聞く
② #

再生中にできること

次の用件を聞く
⑥
聞いている用件を最初から聞く ④
ひとつ前の用件を聞く ④
再生を途中で止める ④
今聞いている用件を消す ④
再生速度を変える ②
通常再生→早聞き→遅聞き

留守モードセット/解除
① #

留守録転送のセット/解除
⑦ #

すべての用件を消去する
① ① ① #

通話録音を聞く
③ #

通話録音再生中にできること

通話録音を最初から聞く ④
再生を途中で止める ⑤
通話録音を消す ⑤
再生速度を変える ②
通常再生→早聞き→遅聞き

外線リモート操作終了
⑨ #

■外線リモート操作

用件を聞く
② #

再生中にできること

次の用件を聞く
⑥
聞いている用件を最初から聞く ④
ひとつ前の用件を聞く ④
再生を途中で止める ④
今聞いている用件を消す ④
再生速度を変える ②
通常再生→早聞き→遅聞き

留守モードセット/解除
① #

留守録転送のセット/解除
⑦ #

すべての用件を消去する
① ① ① #

通話録音を聞く
③ #

通話録音再生中にできること

通話録音を最初から聞く ④
再生を途中で止める ⑤
通話録音を消す ⑤
再生速度を変える ②
通常再生→早聞き→遅聞き

外線リモート操作終了
⑨ #

索引

英字

A4 標準原稿	9-6
AC アダプタ	1-2、1-23
AC アダプタ接続端子	1-7
BJカートリッジ	1-2、1-13、10-3
黒インク残量表示	1-5
交換	1-16、1-19
構成	1-13
使用済み BJ カートリッジ回収のお願い	1-18
状態を確認	9-4
セット	1-15
プリントできる枚数	9-6
BJカートリッジの状態を確認	9-4
ノズルチェックパターン	9-4
Eメール	1-34、2-10、8-5
FAX受信動作	4-6
FAX受信同時プリント	4-9
L ボタン	1-4
PC プリンタボタン	1-5
TEL モード	4-6
TEL/FAX モード	4-6
USB インターフェースケーブル接続部	1-3

50音

あ行

アース線	1-12
あなたの名前と TEL	1-43
アフターサービス	10-10
暗証番号	3-7、3-8、3-9
アンテナ	1-3、1-11
インクタンク	1-13、10-3
交換	1-16、1-17
内カバー	1-15、1-17、1-19
英字入力	1-31、1-39
エラー/リセットボタン	1-5
応答メッセージ	3-2、3-7、4-4
応答メッセージ録音	1-8、3-6
応答メッセージを切り替える	3-6
置き場所	9
お客様ご相談窓口	10-19
お手入れ	9-16
お願い	5
親機	1-2、1-3
受ける	2-3
お手入れ	9-16
回線に接続する	1-11
かける	2-2
操作パネル	1-3、1-4
ディスプレイメッセージ	9-12
トラブル	9-10
メニューの使いかた	1-9
親機正面	1-3
親機背面	1-3
おやすみタイマー	3-5
おやすみタイマー設定	3-5
おやすみモード	3-5
音階・休符入力表	2-17
音階範囲	2-17
音声ガイダンス	1-27、4-10
音声ガイダンスの速さ	8-2
音声読上げ辞書	8-2
音符・休符長さ入力表	2-17
オンフックボタン	1-4、2-2
音量調節	1-25
親機	1-25

子機	1-26
音量ボタン	1-4、1-25

か行

カートリッジ交換ボタン	1-15、1-17、1-19、9-5、9-12
カートリッジ保管箱	1-2、1-16
カートリッジホルダ	1-15、1-19
外出先から操作する	3-7
操作早見表	10-13
できること	3-7
回線種別	1-12
外線ボタン	1-6
「回線」モジュラージャック	1-11
外線リモート操作	3-7、3-9
操作早見表	10-13
できること	3-7
画質	4-3、5-3
画像が汚ないときは	9-3
カタカナ入力	1-31、1-39
壁掛け用ねじ	1-23
紙づまり	9-7
画面表示の明るさ	8-4
カラーBJカートリッジ	1-2、1-13、10-3
カレンダーをプリントする	1-44
漢字入力	1-30、1-38
キータッチ音	8-2
キータッチ確定時間	8-2
危険	5、6
記号	1-29、1-32、1-37、1-39
記号入力	1-32、1-39
機能設定リスト	8-5、8-6
キャッチホン	2-6
キャノンFAX情報サービス	1-27
キャリヤシート	1-22、10-3
切ボタン	1-6
記録用紙	1-20、10-3
一度にセットできる枚数	1-20
サイズとセットの方向	1-20
種類	1-20
セットする	1-21
つままったときは	9-7
プリント可能範囲	1-20
プリントできる枚数	9-6
記録用紙入口	1-3
記録用紙解除レバー	1-3、9-7
記録用紙ガイド	1-3、1-21
記録用紙カバーユニット	1-2、1-3、1-21、5-2
取り付け	1-21
記録用紙排出口	1-3
クイック通話	2-20
区点コード	1-33、10-4
クリア/キャッチボタン	1-6、2-6、9-15
クリーニングブレード	1-2、9-8
黒インク残量確認	9-4
黒インク残量表示	1-5
黒インク節約	8-3
警告	5、6
原稿	1-22
厚さ	1-22
一度にセットできる枚数	1-22
サイズ	1-22
つままったときは	9-7
読み取り可能範囲	1-22
原稿入口	1-3
原稿ガイド	1-3、1-22、4-2、5-2
原稿セットマーク	1-22
原稿排出口	1-3
原稿読み取り部	6-2、9-3、9-16

準

備

電

話

留守番電話

ファクス

コピー

ハンドスキャナ

ドアホン

設

定

こんなときは

参

考

索引 (つづき)

原稿を読み取る	6-3
コードレス子機	9、1-2、1-6
バッテリーカバー	1-2、1-7、1-23、1-24
子機	1-2、1-6
受ける	2-3
お手入れ	9-16
かける	2-2
充電	1-23
設置	1-23
操作パネル	1-6
増設子機	10-3
トラブル	9-14
名前を表示	8-7
バッテリー	1-2、1-23、1-24、10-3
メニューの使いかた	1-10
子機壁掛け用ねじ	1-2、1-23
子機充電台	1-2、1-7、1-23、2-2、2-3
子機に使う人の名前を表示	8-7
子機背面	1-7
子機番号	2-4、2-14
コピー	9、5-2
画質	5-3
カラー	5-3
トラブル	9-11
濃度	5-3
範囲	5-4
部数を指定	5-3
コピー範囲	5-4
コピーボタン	1-5、5-2

さ行

再生ボタン	1-4、3-4
時刻登録	1-41、2-19
時刻を合わせる	1-40
親機	1-40
子機	1-41
自作応答メッセージ	3-6
自作定型文	1-34
自作メロディ	2-16
自動 (TEL / FAX) モード	4-6
充電時間	1-23、10-2
充電台	1-7、1-23、2-2、2-3
お手入れ	9-16
充電端子	1-7
お手入れ	9-16
修理受付票	10-12
修理受付窓口	10-19
受信	1-27、4-4
受話器	1-2、1-3、2-2、2-3
受話器コード	1-11
受話器用モジュージャック	1-3、1-11
受話口	1-6
仕様	10-2
消去ボタン	1-4
上下左右ボタン	1-4、1-6
使用者表示	8-7
使用済み BJ カートリッジ回収のお願い	1-18
消耗品	10-3
新規登録	2-11
数字入力	1-31、1-39
ストップボタン	1-4
スピーカ	1-3、1-7
スピーカホン	2-7
スピーカホンボタン	1-6、2-7
セットボタン	1-4
全角文字	1-29
全件消去	2-12
全消去	8-8

操作パネル	1-3、1-4、1-6
増設子機	10-3
送話口	1-6

た行

待機画面 OFF タイマー	8-4
待機画面選択	1-42
待機画面表示	8-4
待機中	4-7、8-8
ダイヤル回線	1-12、2-2
ダイヤルボタン	1-4、1-6、2-2
大容量インクタンク	1-13
縦のコピー範囲	5-4
チェックボックス	1-9
チェックマーク	1-9
着信メロディ	2-16
着信履歴	2-3
確認する	2-3
着信履歴 / キャッチボタン	1-4、2-3、2-6
着メロ設定	1-8、2-15
注意	5、8、9
通信結果リスト	8-5、8-6
エラー表示	8-6
通話時間	2-2
通話録音	2-2
消去	2-2、8-8
つまった記録用紙を取り除く	9-7
つまった原稿を取り除く	9-7
定型文	1-29、1-34
ディスプレイ	1-5、1-28、1-36、4-3、4-4、4-7、5-3
ディスプレイコントラスト	8-3
ディスプレイメッセージ	9-12、9-15
停電	9-9
停電時用電話機	9-9
「停電用電話機」モジュージャック	1-3、9-9
電源コード	1-3
電源プラグ	1-11
電話回線の種類	1-12
電話回線用モジュージャック	1-3
電話機コード	1-2、1-11
電話線コンセントのタイプ	1-12
電話帳	2-8
親機	2-8
子機	2-11
電話帳ダイヤル	2-13
電話帳プリセット	2-10、2-12
電話帳リスト	8-5
ドアホン	7-2
応答する	7-3
接続する	7-2
接続できる機種	7-2
ターミナルボックス	7-2
テレビドアホン	7-2
トラブル	9-12
呼出音	7-3
トールセーバー	3-2、3-7、3-10
トーン回線	1-12
トーンボタン	2-2、4-10

な行

内線通話	2-4
内線ボタン	1-6、2-4、2-14
内線リモート操作	3-8
用件を再生	3-8
留守モードの解除	3-8
留守モードのセット	3-8
内蔵リチウム電池	9-9

名前と電話番号を登録	1-43
ナンバー・ディスプレイ	9、9-9、9-10、9-13、9-14
ニカド電池	1-23、1-24
入力モード	1-29、1-37
濃度	4-3、5-3、6-5、6-6
ノズルチェック	9-4、9-6
ノズルチェックプリント	9-4

は行

ハガキ	1-20、1-22、9-3、10-3
白紙が出るときは	9-2
白色板	9-3、9-16
発信番号履歴	2-5
バッテリー	1-24
交換	1-24
バッテリーカバー	1-7、1-23、1-24
半角文字	1-29
ハンズキャナ	1-3、6-2
コピー	6-6
トラブル	9-12
取り外す	6-2
ファクスで送信	6-5
戻す	6-2
読み取り画像確認	6-5
読取幅	6-4、6-5、6-6
読み取り範囲	6-4
読み取る	6-3
日付時刻設定	1-40
親機	1-40
子機	1-41
表示コントラスト	8-3
ひらがな入力	1-30、1-38
「開く」レバー	1-3、1-15、1-17、1-19、9-7
ファクス受信	1-27、4-4
親機	4-4
子機	4-5
消去	4-8
全消去	8-8
ディスプレイで確認／プリント	4-7
電話に出なかった場合	4-4
トラブル	9-11
プリント	4-7
メモリに記憶されているファクス	4-7
ファクス受信同時プリント	4-9
ファクス受信／プリントボタン	1-5、4-4、4-7、4-8
点滅	4-7
ファクス受信モード	4-6
ファクス情報サービス	4-10、9-12
ファクス送信	4-2
画質	4-3
トラブル	9-11
濃度	4-3
ファクス送信ボタン	1-5、4-2
ファクスボタン	1-6、4-5
フィルムケーブル	1-14
普通紙	1-20、9-3
プッシュ回線	1-12、3-7
プッシュホンサービス	2-2
ブラックBJカートリッジ	1-2、1-13、10-3
プリセット	2-10、2-12
プリント	4-7、8-5
プリントできる枚数	9-6
プリントヘッド	1-15
プリントヘッドユニット	1-13
プルダウンメニュー	1-9
別売品	10-3
ヘッドクリーニング	9-5
ヘッドリフレッシュ	9-5

ポーズ	2-10、2-12
ホームページ読上げ	8-2
保護キャップ	1-15、1-17
保護テープ	1-15、9-2
保証期間	10-10
保証書	1-2、10-10
ホットライン番号	8-2
保留	2-6
保留転送	2-14
保留／内線ボタン	1-4、2-4、2-6、2-14

ま行

マルチボタン	1-5
メールアドレス	1-34、2-10、8-5
メニュー項目一覧	1-8、1-10
メニュー／セットボタン	1-6、1-10
メニューボタン	1-5、1-8
メモ	5
メモリー一括消去	8-8
メモリがいっぱいときは	3-2
メモリ残量表示	1-5
メモリに記憶されている受信ファクス	4-7
確認する	4-7
消去	4-8
プリント	4-7
メロディ選択	2-19
モーニングコール	2-19
文字／サブメニュー 保留ボタン	1-6、1-37、2-6
文字入力	1-28
親機	1-28
子機	1-36
文字リスト	1-29、1-37
モデムダイヤルインサービス	9-9、9-10、9-14

や行

優先呼出	2-7
用件	3-2、3-3、3-4、3-7、3-8、3-9
再生	3-3、3-4、3-7、3-8、3-9
再生中の操作	3-3、3-4、3-7、3-8
消去	3-4、3-7、3-8
全消去	3-7、3-8、8-8
用件再生	3-8
呼出音	2-15
呼出音選択	2-15
呼出音量	1-25、1-26

ら行

ライフサポート設定	8-2
音声ガイダンスの速さ	8-2
音声読上げ辞書	8-2
キータッチ音	8-2
キータッチ確定時間	8-2
ホームページ読上げ	8-2
ホットライン番号	8-2
らくらくFAX	4-9
らくらくファクス機能	4-4、4-5、4-9
ラジオボタン	1-9
リストプリント	8-5
機能設定リスト	8-5、8-6
通信結果リスト	8-5、8-6
電話帳リスト	8-5
リダイヤル	2-5
リダイヤルボタン	1-4、2-5
リチウム電池	9-9
リモート暗証番号	3-8

索引 (つづき)

リモート操作	3-7、3-8
操作早見表	10-13
留守セット／解除	3-8
留守電操作	3-8
留守ボタン	1-4、3-2、3-3
消灯	3-5
点灯	3-5
点滅	3-3、3-4
留守モード	3-2
解除	3-3、3-7、3-8
子機から操作	3-8
再生	3-3、3-4、3-7、3-8、3-9
セットする	3-2、3-7、3-8
動作	3-2
トラブル	9-10
メモリがいっぱいするとき	3-2
録音件数	3-2
録音時間	3-2
留守録転送	3-9
設定	3-9
転送先から用件を聞く	3-9
留守録保存	3-10
レンタル電話機	9
ローラークリーニング	9-8